嘉 麻 市 嘉 穂 隣 保 館 改 修 工 事

建 築 工 事

図 面 リ ス ト

図面番号	図面名称	縮　尺	図面番号	図面名称	縮　尺	図面番号	図面名称	縮　尺	図面番号	図面名称	縮　尺	図面番号	図面名称	縮　尺
A－00	図面リスト	―			―			―						
A－01	特記仕様書 (1)	―												
A－02	特記仕様書 (2)	―												
A－03	特記仕様書 (3)	―												
A－04	特記仕様書 (4)	―												
A－05	配置図・付近案内図	1/200												
A－06	1階平面図	1/200												
A－07	2階平面図	1/200												
A－08	1階天井伏図	1/200												
A－09	2階天井伏図	1/200												
A－10	1階建具配置図	1/125												
A－11	2階建具配置図	1/125												
A－12	建具表図面 (1)	1/85												
A－13	建具表図面 (2)	1/85												
A－14	展開図	1/100												
A－15	仮設計画図 (1)	1/100												
A－16	仮設計画図 (2)	1/100												

工事名		管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘				図面リスト	A-00
備考	福岡県嘉麻市上西郷　244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺	

改　修　建　築　工　事　特　記　仕　様　書

1）　工　事　概　要

1．工事名称　嘉麻市嘉穂隣保館改修工事

2．工事場所　嘉麻市大隈町722番地

3．工事概要は別紙（仕上表）による。

4．別途工事　・　　・

・　　・

5．その他（○印のついたものを適用する。）

・ 週休２日促進工事　　・快適トイレ設置対象工事

・ 入札時積算数量書活用方式対象工事　　・余裕工期設定工事（１章８項参照）

2）　建　築　工　事　仕　様

1．標　準　仕　様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下「改修標仕」）及び「建築改修工事監理指針（令和４年版）」による。

ただし、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」及び「建築工事監理指針（令和4年版）」による。

2．特　記　仕　様

（１）項目は番号に○印のついたものを適用する。

（２）特記事項は　○印のついたものを適用する。

　　○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。

　　○印と　⊗印のついた場合は、共に適用する。

（３）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書の当該項目、当該図、または当該表を示す。

（４）特記事項に記載の「　　」内表示番号は、公共建築工事標準仕様書の当該項目、当該図、または当該表を示す。

（５）形状寸法の単位は特記なきかぎり、ミリメートルとする。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	図面もしくは特記仕様書に記載なき場合は、以下の仕様書による。 （１）「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（以下「標準仕様書」又は「標仕」という。）による。 （２）「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 （３）「公共木造建築工事標準仕様書　令和４年版」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 （４）「建築物解体工事共通仕様書　令和４年版」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	② 補足基準等	適用仕様等、図面、特記仕様書に記載なきものについては、以下の基準、指針、要領、標準図等による。 （１）「建築構造設計基準 令和３年版」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 （２）「建築工事標準詳細図　令和４年版」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 （３）「建築工事監理指針　令和４年版」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 （４）「建築改修工事監理指針　令和４年版」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 （５）「建築工事安全施工技術指針・同解説　平成27年版」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 （６）「建設廃棄物処理指針」 厚生労働省生活衛生局 （７）「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び　厚生労働省労働基準局 　石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」　環境省水・大気環境局 （８）「建築物等の解体等工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル（新版）」 　建設業労働災害防止協会 （９）「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」国土交通省告示第468号 （10）「官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説(平成８年版)」建設大臣官庁営繕部監修 （11）「建築工事標準仕様書・同解説」　日本建築学会 （12）「建築工事の手引き」　福岡県建築都市部編集 （13）「解体工事の手引き」　福岡県建築都市部編集 （14）「植栽工事の手引き」　福岡県建築都市部編集 （15）「黒板、畳、襖工事の手引き」　福岡県建築都市部編集
	③ 適用範囲等	全ての設計図書は相互に補完する。ただし設計図書間に相違がある場合、適用の優先順位は、次の（１）から（５）までのとおりとする。 （１）質問回答書　　（（２）から（５）に対するもの） （２）工事仕様書（嘉麻市所定） （３）特記仕様書 （４）別冊の図面 （５）改修標準仕様書
	④ 現場に常備する図面等	上記の「１.適用基準等」及び「２.補足基準等」のうち、当該工事に係る図書等については現場事務所に常備し監督員の確認を得ること。
	⑤ 工事実績サービス(CORINS)への登録	受注者は、工事請負額が５００万円以上の工事について、受注時は契約締結後１０日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から１０日以内に、工事完成時は完成後１０日以内に、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、「建設情報実績」を作成し、嘉麻市教育委員会生涯学習課の確認を受けた後に（一財）日本建設情報総合センターに提出しなければならない。 また、同センター発行の「登録内容確認書」の写しを嘉麻市教育委員会生涯学習課に提出する ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める 行政機関の休日は含まない。 問い合わせ先　〒812-0013　福岡市博多区博多駅東3-11-28博多サンシティビルⅡ6F （一財）日本建設情報総合センター九州地方センター TEL　092-411-3664　FAX　092-411-3486　(1.1.4)
	⑥ 施工体制台帳	※現場説明書による。受注者は下請け契約を行う全ての工事で施工体制台帳を作成し、工事現場に据え置くとともに、その写しを監督員に提出すること。
	⑦ 実施工程表	・概成工期（令和　　年　　月　　日）　　※概成工期　設けない
	8．余裕期間	方式　　・発注者指定方式　　・任意着手方式 （余裕期間内は、受注者の責により現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、実工事期間には、準備・後片付け期間を含む。詳細は、契約特記による。）
	⑨ 工事の記録	工事日報は、工事記録を兼ねることができる。 下記要領により撮影し、写真帳に説明を記入のうえ提出する。（原版は撮影業者が保管する。） (1.2.4)

区　分	分　類	規　格	部数	原版の大きさ	備考
着工前	カラー	※サービス版 ・（　　）	※１部 ・（　）	24×36以上又はﾃﾞｼﾞﾀﾙ画像	撮影箇所は監督員との協議による
施工中	カラー	※サービス版 ・（　　）	※１部 ・（　）	24×36以上又はﾃﾞｼﾞﾀﾙ画像	撮影箇所は監督員との協議による
完成時	カラー	※サービス版 ・（　　）	※２部 ・（　）	24×36以上又はﾃﾞｼﾞﾀﾙ画像	撮影箇所は監督員との協議による
注　記	撮影者は建築完成写真の撮影実績がある者で、監督員が承諾する撮影者(着工前、施行中)、監督員の承諾する専門業者(完成時)とする。 電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式としCD-Rで提出する。（200万画素以上300dpi以上）				

各工程ごとに作業時の状況がわかるように黒板(工事名、撮影箇所等記入)、スケール等をあて撮影する。このほか、写真の撮影、整理等については国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編」による。

	⑩ 電気保安技術者	※適用する（工事用電力設備の保安責任者が兼ねる。　）　・適用しない　(1.3.3)
	⑪ 施工条件	※現場説明書による　(1.3.5)
	⑫ 施工中の安全確保	建築基準法、労働安全衛生法、その他関係法令等に定めるところによるほか、　(1.3.7) 建設工事公衆災害防止対策要綱に従うとともに、建築工事安全施工技術指針を参考に、常に工事の安全に留意して現場管理を行い、施工に伴う災害及び事故の防止に努める。
	⑬ 建設リサイクル法	「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)の対象となる工事に該当(※現場説明書による　・する　⊙しない)
	⑭ 建設副産物の処理について	※参考受入場所は現場説明書による　(1.3.12)

建　設　副　産　物　の　処　理　に　つ　い　て
資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。 現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別し指定された場所へ集積すること。 また、施工区分表に積み込み・運搬・処分までの指示がある工事については、現場内に分別保管場所を設置するとともに、再生資源の利用の促進に関する法律、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。 工事に際しては、工事着手時に建設副産物処理計画書、再生資源利用計画書等を、工事竣工時に建設副産物の処理結果報告書、再生資源利用実施書等を提出すること。

指　定　副　産　物（原則として再資源化施設へ持込むもの）	
がれき類 （コンクリート塊） （アスファルト塊） 木くず 建設発生土 汚泥	指定副産物の工事現場からの搬出、再生資材等の利用等については、「リサイクル原則化ルール（平成１８年６月１２日策定）」により実施する。 建設汚泥については、「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン（平成１８年６月１２日　事務次官通知）」に従い、建設汚泥の再生利用を推進する。

その他の廃棄物				
廃プラスチック	ガラス、陶磁器くず	廃石膏ボード	金属くず	繊維くず

特　別　管　理　産　業　廃　棄　物	
廃石綿等	「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル(環境省水・大気環境局大気環境課)」及び「石綿障害予防規則(平成17年7月1日施行)」に従い、収集、運搬、処分を行う。
廃ＰＣＢ等	「電気事業法：電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・届出を行うとともに、適正に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

	⑮ 施工中の環境保全等	建築基準法、建設リサイクル法、環境基本法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、廃棄物処理法、土壌汚染対策法、資源有効利用促進法その他関係法令等に定めるところによるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、工事の施工の各段階において、騒音、振動、粉じん、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺環境の保全に努める。 (1.3.11)

排　出　ガ　ス　対　策　型　建　設　機　械　に　つ　い　て
「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき、指定された建設機器を使用すること。 （対象機種：ﾊﾞｯｸﾎｳ、ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ、ﾄﾗｸﾀｰｼｮﾍﾞﾙ（車輪式）、空気圧縮機（可動式）、油圧ﾕﾆｯﾄ（油圧ﾊﾝﾏｰ･ﾌｧｰｽﾄｵｰｶﾞ油圧式鋼管圧入引抜機･油圧式杭圧入引抜機・ﾌｧｰｽﾄｵｰｶﾞ･ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機ﾘﾊﾞｰｰｻｰｷｭﾚｰｼｮﾝﾄﾞﾘﾙ・ﾌｧｰｽﾄﾄﾞﾘﾙ・地下連続壁施工機・全回転型ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機の基礎工事用機械のうちﾍﾞｰｽﾏｼﾝとは別に独立したﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動の油圧ﾕﾆｯﾄを搭載しているもの）、ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗｰ、ﾀｲﾔﾛｰﾗ、振動ﾛｰﾗ、ﾎｲｰﾙｸﾚｰﾝ、発電発動機（可動式（溶接兼用機を含む））但し、以上はﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ（ｴﾝｼﾞﾝ出力7.5Ｋｗ以上260Ｋｗ以下）を搭載したものに限る。）

・工事における振動被害防止要領の適用　振動計の設置については現場説明書による

	⑯ 再資源利用(促進)	※ 提出する　　・提出しない
	⑰ 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。 ただし、「同等のものとする場合は、監督員の承諾を得る。」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」による。福岡県認定リサイクル製品の使用製品名及び使用部位については、現場説明書によること。標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承諾を受け、当該製品の指定工法によることができる。　(1.4.1)

環　境　へ　の　配　慮　に　つ　い　て
国による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）により、環境負荷の低減できる材料を選定すること。 使用する材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮すること。 工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。 指定品目、判断基準は「福岡県環境物品等調達方針」によること。

	⑱ 施工数量調査	調査項目	調査範囲	調査方法	報告書・数量書
		屋根	補修部分	全面打診	※２部
					※２部
					※２部
					※２部

※既存部分の破壊を行った場合の補修方法は図面図示による。　(1.5.2)　(1.5.3)

※調査結果を監督員に報告し設計図書と異なる場合は、監督員と協議する。(1.6.2)(1.6.3)

	⑲ 技能士	適用工事

工　事　種　別	技　能　検　定　職　種	備　考
・鉄筋工事	鉄筋施工	
・コンクリート工事	型枠施工	
・木工事	建築大工	
・左官工事	左官	
・塗装工事	塗装	
・屋根及び樋工事	建築板金	
⊙内装工事	内装仕上げ施工	
・内装工事	表装	
⊙金属工事	内装仕上げ施工（鋼製下地）	
⊙植栽工事	造園	請負額　300万以上

	20．施工の検査等	見本施工の実施箇所（　　）　工種（　　）　(1.7.5)
	21．ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定	室内空気中化学物質の濃度測定　　・行う　　・行わない ホルムアルデヒド測定の検体数　　・　　カ所 VOC測定の検体数　　・　　カ所 測定対象室 ※現場説明書による　　・図示 測定時期、測定位置、方法については、測定前に監督員に確認する。 測定方法等は「揮発性有機化合物の室内測定要領」参照 ※学校施設については、文部科学省「学校環境衛生基準」 （平成２１年４月１日告示第60号）に基づきVOC等の測定を行う。　(1.7.9)
	㉒ 完成図	種類及び提出形式は下記による　(1.9.2)

種　類	提　出　形　式	部　数
完成図 ※設計図一式	⊗二つ折り白焼き製本（Ａ３） ⊗ＣＡＤデータ（ＪＷＷ又はＤＸＦ） ⊗ＰＤＦデータ（竣工図電子データ作成要領による）	※１部 ・（　）部
総合図 ※一式	※二つ折り白焼き製本（適宜Ａ１又はＡ３） ※ＣＡＤデータ（ＪＷＷ）	※１部 ・（　）部
施工図 ※構造躯体 ※平面図 ※建具 ※屋根及び樋 ・（　　）	※二つ折り白焼き（適宜Ａ１又はＡ３） ※ＣＡＤデータ（ＪＷＷ）	※１部 ・（　）部
工作図 ※家具図 ・（　　）	※二つ折り白焼き（適宜Ａ１又はＡ３） ※ＣＡＤデータ（ＪＷＷ）	※１部 ・（　）部

（注）データの提出はCD-R、DVD-Rまたは USBフラッシュメモリーに保存して提出すること。

	㉓ 保全に関する資料	「改修標仕」1.8.3（１）の他、下記について必要事項を記入のうえ監督員に提出する。 建設大臣官房官庁営繕部監修の「管理者のための建築物保全の手引き」 提出部数　　※２部　・（　）部 保全に関する説明書　※建物概要及び内部仕上げ表　※施工者一覧表 ※取り扱い説明書、メンテナンスについての注意事項　(1.9.3)
	24．設計ＧＬ	※図示による　　・現状地盤の平均高さとし、監督員の指示による
	㉕ 過積載の防止	ダンプトラック等による工事用資機材等の過積載を行わないこと。さし枠の装置又は物品積載装置の不正改造をしたダンプトラックは工事現場内に出入りさせないこと。
	㉖ 解体等工事の範囲	解体等工事にかかる範囲は以下のとおり。 ⊙建築物　⊙地上部　・地下部　・杭　・（　　） ・付属構造物　・浄化槽　・貯油槽　・杭　・（　　） ⊙電気設備　・建物内配管配線　⊙電気設備機器　・（　　） ・建物への引込線　・敷地への引込線（廃止）　・（　　） ⊙給排水設備　・建物内配管配線　⊙衛生設備機器　・（　　） ・建物への引込管　・敷地への引込管（玉下ろし）　・（　　） ⊙空調設備　⊙建物内配管　⊙空調設備機器　・建物内風道　・（　　） ・ガス設備　・建物内配管　・ガス設備機器　・（　　） ・建物への引込管　・敷地への引込管（廃止）　・（　　） ・屋外付帯　・門、門塀　・塀、フェンス　・舗装（　　） ・植栽（　　）・（　　） ・有害廃棄物の処理　・廃PCB　・特定フロンガス　・廃石綿等　・（　　） ・什器、備品類等の撤去 ・各種残留物等の撤去は下表による。　※を標準とする。

区　分	建物管理者	工事受注者
アスベスト含有建材		※
オイルタンク内のオイル	※	
ピット（浄化槽、便槽）汚泥	※	
使用されていた酸、アルカリ、薬品等	※	
医療系特別管理産業廃棄物、放射性廃棄物	※	
フロン、ハロン使用機器		※
ＰＣＢ使用機器		※

	27．敷地に関する調査	・敷地内障害物の調査　　・敷地内配管、配線の調査　　・地下水位の調査
	㉘ 原形復旧	工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損が生じた場合は原形に復する。
	㉙ 設備工事との取合い	※施工区分表による ・施工範囲は下記による ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ※図示した壁、天井の仕上げ材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※駆動装置が電動による建具類の２次配線及び操作スイッチ ※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・（　　）
	30．風速及び地表面粗度区分	風速　　（・　32 m/秒　　・　34 m/秒　　） 地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ　）　(各章共通)
	31．接着剤	ホルムアルデヒド放散等級（※Ｆ☆☆☆☆　・Ｆ☆☆☆　・Ｆ☆☆　）　(各章共通)
	32．総合図での調整	各工事の着工に先立ち、各施工図の基準となる総合図を作成し、監督員の承諾を受ける。 総合図は施工図作成に先立ち、建築・設備・その他別途発注工事業者の情報などをすべて盛り込んだ図面とし、それらの接点の細部調整を行う。 総合図の調整は、建築工事の受注者が行い、設備工事・その他の受注者がそれに協力する。
	33．参考図の取り扱い（ﾒｰｶｰ仕様の図面）	参考図の製品等の使用にあたっては、参考図以外の形状等に多少相違がある製品等でも同等品以上であれば使用できる。
	㉞ 竣工後の調査	竣工後(※２　・１)年以内に当該工事範囲に関する経年変化の状況を調査し、報告すること。
2 仮設工事	① 足場その他	

手　す　り　先　行　足　場　に　つ　い　て
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体、変更の作業時及び使用時には、両面に常時、手すり、中桟及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。 なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」の２の（１）手すり据置方式又は（２）手すり先行専用足場方式により行うこと。

内部足場　⊗脚立、足場板等　・（　　）　(2.2.1)

外部足場　・枠組足場　・くさび緊結式足場　・単管足場　・（　　）

防護シートによる養生　※行う　・行わない

材料、撤去材等の運搬　・A種　※B種　・C種　・D種　・E種　(表2.2.1)

	② 養生	既存部分の養生　⊗ビニールシート等　⊙合板　・（　　）　(2.3.1) 固定家具の養生　・行わない　・行う（図示） 既存家具の養生　※ビニールシート等　・（　　）
	3．仮設間仕切	仮設間仕切等の種別　(2.3.2)（表2.3.1）

種別	下地	仕上材　（厚さ）	充てん材	塗装	設置箇所
・Ａ種	・軽量鉄骨	・合板（※9.0・12.0）	厚さ　mm	※無し	図示による
・Ｂ種	・木下地	・石こうボード（※9.5　・　）		・片面	
・Ｃ種	単管下地	防湿シート			
仮設扉	※ 木製扉 ・ 鋼製扉	※合板張り程度 ・（　　）程度		※無し ・片面	

3 防水改修工事	4．監督員事務所	※設ける　・設けない　(2.4.1) ※構内に新設する。（　　㎡程度） ・既存建物内の一部を使用する。 監督員事務所に設ける設備、備品については監督員との協議による。
	⑤ 工事用水	構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　⊗利用できない
	⑥ 工事用電力	構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　⊗利用できない
	⑦ 総合仮設計画書	⊗要する　・要しない
	8．危険防止	仮囲い等　※設ける　・設けない 設置方法　※ 木製仮囲い（Ｈ＝ 2.5m）・ シート張り ・ ロープ張り　・（　　） ゲート　・ シート（Ｗ=4.5m）　・ パネル（Ｗ=　　m） ・ ハンガー（Ｗ=　　m） 垂直防護施設　・ メッシュシート（・防炎Ⅰ類 ・防炎Ⅱ類）・防音シート（防炎Ⅰ類同等） ・ 枠付き金網　・アルミ防音パネル　・（　　） 水平防護施設　・ 防護棚（朝顔）　・ ダブルネット 防護施設等取付足場　・ 単管一本足場　・ 枠組本足場（Ｗ=　　m）　・（　　） 設置範囲　※図示による　・ 監督員の指示による 設置期間　※工事期間中　・ 監督員の指示による
	9．構台	養生構台　・ 設置する（図示による）　・ 設置しない 乗入れ構台　・ 設置する（幅　　m、長さ　　m）　・ 設置しない
	10．工事表示板等	監督員の指示による
	11．工事車両の出入口	工事用車両の出入口では、一般通行人及び一般車両の安全確保に努めること。 交通誘導員　・ 配置する（　　名以上）　・ 配置しない
	1．改修方法の種類及び工程	防水改修方法の種類及び工程については「改修標仕」表３．１．１による。　(表3.1.1) シーリング改修工法の種類及び工程については「改修標仕」表３．１．２による。　(表3.1.2) (3.3.2,3)（表3.1.1）（表3.3.3～10）

	防水改修工法種別	新規防水層の種別	施工箇所
保護防水	・ P1B工法	・B-1　※　B-2	
	・ P1BI工法　・ T1BI工法	・BI-1　※　BI-2	
	・ P2AI工法	・AI-1　※　AI-2	
	・ P2A工法	・A-1　※　A-2	
露出防水	・ M4C工法	・C-1　※　C-2	
	・ M3D工法　・ P0D工法	・D-1　※　D-2	
	・ P0DI工法　・M3DI工法	・DI-1　※　DI-2	
	・ M4DI工法		
屋内防水	・ P1E工法　・P2E工法	・E-1　※　E-2 （保護層は図示による）	

アスファルトの種類　※3種　(3.2.2)(3.3.2)

M3D、P0D、P0DI、M3DI、及びM4DI工法の脱気装置　※設ける　・設けない　(3.3.3)

断熱工法の断熱材　(3.3.2)

※押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種ｂＡ（スキン層付き）　厚さ(mm)　※25　・（　）

・図示による

立上り部の保護材　(3.3.2)

・乾式保護材　※押出成型セメント版(厚さ15mm)

・れんが　※JIS　R　1250によるもの

・市販品のれんが又は市販品のれんが形コンクリートブロック

（見え隠れ部分）

・コンクリート　仕上りの平たんさ　※ａ種　・ｂ種　・ｃ種　(表8.1.5)

	3．改質アスファルトシート防水	(3.4.2,3)（表3.1.1）（表3.4.1～3）

防水改修工法の種別	新規防水層の種別	厚さ(mm)	施工箇所
・ M4AS工法	・AS-T1　・AS-T2　・AS-J2		
・ M3AS工法	・AS-T3　・AS-T4　・AS-J1		
・ P0AS工法	・AS-J3		
・ M3ASI工法	・ASI-T1　・ASI-J1		
・ M4ASI工法			
・ P0ASI工法			

M3ASI、M4ASI及びP0ASI工法の防湿用シート　・設ける　・設けない　(表3.4.3)

M3AS、P0AS、M3ASI、M4ASI及びP0ASIの脱気装置　※設けない　・設ける　(3.4.3)

	4．合成高分子系ルーフィングシート防水	(3.5.2,3)（表3.1.1）（表3.5.1,2）

防水改修工法の種別	新規防水層の種別	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・ P0S工法 ・ S4S工法	・S-F1　・S-F2 ・S-M1　・S-M2 ・S-M3		・ シルバー ・ カラー ・ 製造メーカー仕様	※非歩行
・ P0SI工法 ・ S4SI工法	・SI-F1　・SI-F2 ・SI-M1　・SI-M2			
・ S3S工法	・S-F1　・S-F2			
・ S3SI工法	・SI-F1　・SI-F2			
・ M4S工法	・S-M1　・S-M2 ・S-M3			
・ M4SI工法	・SI-M1　・SI-M2			

仕上げ塗料の使用量等　※シートの製造所の仕様による　・（　　）

脱気装置　・設ける　・設けない　(3.5.3)

目地処理　※図示による　・（　　）　(3.5.4)

	5．塗膜防水	(3.6.3)(表3.6.1)(表3.6.2)

施工箇所	改修工法種別	新規防水層種別	仕上げ塗料塗り
屋上	・ P0X	※　X-1	※ カラー　・ シルバー
	・ L4X	※　X-2	※ カラー　・ シルバー

脱気装置　※図面図示による　・ 種類（　　）　・ 設置数量（　　）

	⑥ シーリング	シーリング改修工法の種類　(3.1.4)（表3.1.2) ・シーリング充填工法　⊙シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類 「改修標仕」表3.7.1による。　(表3.7.1) 接着性試験　※ 簡易接着性試験　(3.7.8) ・ 引張接着性試験（部位　　）

備考	承認覧	工事名称	図面名称
		嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	改修工事特記仕様書（１）
		嘉麻市　人権・同和対策課	尺度 / 日付 / 図面番号 A-01

3 防水改修工事

7. とい

といの材種等　・（　　）　(3.8.2)
防露材のホルムアルデヒド放散量　※　F☆☆☆☆のもの　・（　　）
鋼管製といの防露巻きは改修標仕(表3.8.4)による。　(3.8.3)

8. アルミニウム製笠木

部材の種類　・250形　・300形　・350形　・（　　）　(3.9.2)
表面処理　※ ＡＢ－１種又はＢＢ－１種　・（　　）
棟上避雷導体システム　※ 無　・ 有

9. 施工

次表のとおりとする。

（１）延べ面積が５００㎡以上の建築物 （２）特殊な用途等に係る建築物で、高度な防水技術を要するものと監督員が承諾する場合	防水施工業者は、建設業法第３条の許可（防水工事業）を受けている者で、（一社）福岡県防水工事業協会会員又は、これと同等以上の施工責任が認められる者から選ぶこと。
（３）　（１）、（２）以外の場合	防水施工工事業者は、建設業法第３条の許可（防水工事業）を受けている者から選ぶこと。

10. 保証年限

防水保証年限は、引渡の日から次表のとおりとする。
保証については防水工事業者が、（一社）福岡県防水工事業協会会員の場合は、受注者、防水工事業者、（一社）福岡県防水工事協会の連名保証とする。
その他の場合は、受注者、防水工事業者、製造メーカーの連名保証とする。

保証年限（年）	防水の種類
10	アスファルト防水（A-1,2,3、AI-1,2,3、B-1,2,3、BI-1,2,3、D-1,2,3,4、DI-1,2） 改質アスファルトシート防水（AS-T1,2,3,4、AS-J1、ASI-T1、ASI-J1） 合成高分子系ルーフィングシート防水（S-F1,2:ｼｰﾄ(F)1.5mm及び2.0mm、S-M1,2、SI-F1,2、SI-M1,2）　、　塗膜防水（X-1,2）
7	合成高分子系ルーフィングシート防水（S-F1:ｼｰﾄ(F)1.2mm）

11. その他の防水

施工箇所	種別・工法	保証年限（年）	備考

4（1）外壁改修工事コンクリート打放し仕上げ

1. 施工調査数量

調査範囲　※図示　・（　　）　(1.6.2)
調査項目　※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
調査方法　・図示　※目視及ぶ打診　・（　　）
調査報告書　※（　　）部を監督員に提出する。

2. 調査のための破壊部分の補修

補修方法　・図示　・（　　）　(1.6.3)

3. ひび割れ部改修方法

・樹脂注入工法　(4.1.4)(4.2.4)(4.2.5)

材　料	製　造　所
※エポキシ樹脂 （・低粘度形　・中粘度形）	JIS　A6024の規格品
・軟質形エポキシ樹脂	・（　　）

注入工法の種類
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入口間隔　※200～300mm間隔　・（　　）
エポキシ樹脂の注入量　・（　　）
・手動式エポキシ樹脂注入工法
・機械式エポキシ樹脂注入工法
注入口間隔

ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)
0.3以下	50～100
0.3～0.5	100～200
0.5～1.0	150～200

エポキシ樹脂の注入量　・（　　）
コア抜き取り確認　・実施する　※実施しない
コア抜き取り個数　ひび割れ長さ　（　　）
ひび割れ長さ　500m毎及びその端数につき１個
コアの形状　径50mm　深さ70mm
抜き取り部の補修方法　・（　　）

・Ｕカットシール材充填工法　(4.1.4)(4.2.4)(4.2.6)

材　料	種　別	備　考
・シーリング用材料 JIS　A5785	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・（　　）	・ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う　・行わない 製造所　・（　　）
・可とう性エポキシ樹脂 JIS　A6024		製造所　・（　　）

・シール工法　(4.1.4)(4.2.4)(4.2.7)

材　料	製　造　所
・パテ状エポキシ樹脂　JIS　A6024	・（　　）
・可とう性エポキシ樹脂　JIS　A6024	・（　　）

4. 欠損部改修方法

・充填工法　(4.1.4)(4.2.4)(4.2.8)

材　料	製　造　所
・エポキシ樹脂モルタル　JIS　A6024	・（　　）
・ポリマーセメントモルタル	・（　　）
	・（　　）

4（2）外壁改修工事モルタル塗仕上げ

1. 施工調査数量

調査範囲　※図示　・（　　）　(1.6.2)
調査項目　※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
※モルタルのはがれ及び剥離部を壁面に表示する。
※浮き部分を壁面に表示する。
調査方法　・図示　※目視及ぶ打診　・（　　）
調査報告書　※（　　）部を監督員に提出する。

2. 調査のための破壊部分の補修

補修方法　・図示　・（　　）　(1.6.3)

3. ひび割れ部改修方法

・樹脂注入工法　(4.1.4)(4.3.5)(4.3.6)

材　料	製　造　所
※エポキシ樹脂 （・低粘度形　・中粘度形）	JIS　A6024の規格品
・軟質形エポキシ樹脂	・（　　）

注入工法の種類
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入口間隔　※200～300mm間隔　・（　　）
エポキシ樹脂の注入量　・（　　）
・手動式エポキシ樹脂注入工法
・機械式エポキシ樹脂注入工法
注入口間隔

ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)
0.3以下	50～100
0.3～0.5	100～200
0.5～1.0	150～200

エポキシ樹脂の注入量　・（　　）
コア抜き取り確認　・実施する　※実施しない
コア抜き取り個数　ひび割れ長さ　（　　）
ひび割れ長さ　500m毎及びその端数につき１個
コアの形状　径50mm　深さ70mm
抜き取り部の補修方法　・（　　）

・Ｕカットシール材充填工法　(4.1.4)(4.2.4)(4.2.6)

材　料	種　別	備　考
・シーリング用材料 JIS　A5785	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・（　　）	・ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う　・行わない 製造所　・（　　）
・可とう性エポキシ樹脂 JIS　A6024		製造所　・（　　）

・シール工法　(4.1.4)(4.2.4)(4.2.7)

材　料	製　造　所
・パテ状エポキシ樹脂　JIS　A6024	・（　　）
・可とう性エポキシ樹脂　JIS　A6024	・（　　）

・充填工法　(4.1.4)(4.2.4)(4.2.8)

材　料	製　造　所
・エポキシ樹脂モルタル　JIS　A6024	・（　　）
・ポリマーセメントモルタル	・（　　）
	・（　　）

4（2）外壁改修工事モルタル塗仕上げ

4. 欠損部改修方法

・充填工法　(4.1.4)(4.3.5)(4.3.9)
既存モルタル面の欠損部

改修工法の種類	材　料	品質・規格等
・充填工法	・ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(9)による既製目地材 ・適用する （形状　※図示　・　）	塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う　・行わない　・図示

・モルタル塗替え工法　(4.1.4)(4.3.5)(4.3.10)
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
※図示　・（　　）

5. 浮き部改修方法

(4.1.4)(4.3.11～16)(表4.3.5.6)

改修工法の種類 （モルタルを撤去しない場合）	アンカーピンの本数 （本/m²）		注入口の箇所数 （箇所/m²）		充填量 又は注入量 （箇所/ml）
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	－	－	※25 ・
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	－	－	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・

アンカーピン　(4.3.5)
材質　※ステンレス鋼（SUS304）、呼び径4mmの丸棒で全ねじ切り加工したもの
注入口付アンカーピン　(4.3.5)
材質　※ステンレス鋼（SUS304）、呼び径外径6mm

(4.3.5)

材　料	注入量(ｍｌ/箇所)	製造所
・固定用エポキシ樹脂高粘度形	・25　・（　　）	JIS　A6024の規格品
・注入用エポキシ樹脂	・25　・（　　）	JIS　A6024の規格品
・ポリマーセメントスラリー	・50　・（　　）	

・浮き部分撤去モルタル塗替え工法
厚さ　※10　・（　　）

※検査
テストハンマーによる打診により確認を行い、その結果を監督員に提出し、承諾を受ける。

4（3）外壁改修工事タイル張り仕上げ

1. 施工調査数量

調査範囲　※図示　・（　　）　(1.6.2)
調査項目　※漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
※タイルの剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。
※浮き部分を壁面に表示する。
調査方法　・図示　※目視及ぶ打診　・（　　）
調査報告書　※（　　）部を監督員に提出する。

2. 調査のための破壊部分の補修

補修方法　・図示　・（　　）　(1.6.3)

3. ひび割れ部改修方法

・樹脂注入工法　(4.1.4)(4.4.5)(4.4.6)

材　料	製　造　所
※エポキシ樹脂 （・低粘度形　・中粘度形）	JIS　A6024の規格品
・軟質形エポキシ樹脂	・（　　）

注入工法の種類
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入口間隔　※200～300mm間隔　・（　　）
エポキシ樹脂の注入量　・（　　）
・手動式エポキシ樹脂注入工法
・機械式エポキシ樹脂注入工法
注入口間隔

ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)
0.3以下	50～100
0.3～0.5	100～200
0.5～1.0	150～200

エポキシ樹脂の注入量　・（　　）
コア抜き取り確認　・実施する　※実施しない
コア抜き取り個数　ひび割れ長さ　（　　）
ひび割れ長さ　500m毎及びその端数につき１個
コアの形状　径50mm　深さ70mm
抜き取り部の補修方法　・（　　）

・Ｕカットシール材充填工法　(4.1.4)(4.4.5)(4.2.6)

材　料	種　別	備　考
・シーリング用材料 JIS　A5785	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・（　　）	・ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う　・行わない 製造所　・（　　）
・可とう性エポキシ樹脂 JIS　A6024		製造所　・（　　）

4（3）外壁改修工事タイル張り仕上げ

4. 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法　(4.1.4)(4.4.7)

材　料	製　造　所
※ポリマーセメントモルタル	・（　　）
・変形シリコーン樹脂　・エポキシ樹脂 ・ポリウレタン樹脂　・シリコン樹脂	・（　　）

・タイル張替え工法　(4.1.4)(4.4.8)
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置　(表4.4.2)

形式 方向	外部側に柱形のない場合	外部側に柱形のある場合
垂直方向	柱の両側又は開口端部上下及び中間3～4m程度	柱形の両端及び3～4m程度
水平方向	各階ごと打継ぎ目地の位置	

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の寸法　(4.4.8)

コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地	幅20mm以上、深さ10mm以上
上記以外の箇所の目地	幅10mm以上、深さ10mm以上

目地等の形状は、凹凸、広狭等のないものとする。

タイル張り工法と張付け材料の塗厚　(表4.4.4)(表4.4.5)

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	張り付け材料		備考
			種類	塗厚(mm)	
外装壁タイル	小口タイル 二丁掛けタイル以下	密着張り	モルタル	5～8	１枚ずつ張り付ける
		改良積上げ張り		4～7	
		改良圧着張り		下地側4～6 タイル側3～4	
ユニットタイル	25mm角を越え小口未満	マスク張り	モルタル	3～4	ユニットごとに張り付ける
	小口未満	モザイクタイル張り		3～5	

タイルの種類　(4.2.4)(4.4.7)(4.4.8)

施工箇所	形状・寸法	きじの質			うわぐすり		役物		色		見本焼き	備考
		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	無ゆう	施ゆう	有	無	標準	特注		

役物　標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う
タイルの試験張り　※行わない　・行う

5. 浮き部改修方法

(4.1.4)(4.4.9～15)（表4.3.5.6）

改修工法の種類 （モルタルを撤去しない場合）	アンカーピンの本数 （本/m²）		注入口の箇所数 （箇所/m²）		充填量 又は注入量 （箇所/ml）
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	－	－	※25 ・
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	－	－	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・

アンカーピン　(4.3.5)
材質　※ステンレス鋼（SUS304）、呼び径4mmの丸棒で全ねじ切り加工したもの
注入口付アンカーピン　(4.3.5)
材質　※ステンレス鋼（SUS304）、呼び径外径6mm

(4.3.5)

材　料	注入量(ｍｌ/箇所)	製造所
・固定用エポキシ樹脂高粘度形	・25　・（　　）	JIS　A6024の規格品
・注入用エポキシ樹脂	・25　・（　　）	JIS　A6024の規格品
・ポリマーセメントスラリー	・50　・（　　）	

※検査
テストハンマーによる打診により確認を行い、その結果を監督員に提出し、承諾を受ける。

6. 目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法　(4.1.4)(4.4.16)
既製調合モルタル（目地材料）　製造所（　　）
・伸縮調整目地改修工法　(4.1.4)(4.4.16)
シーリング用材料　種類　※改修標仕(表3.7.1)による。

4（4）外壁改修工事塗り仕上げ

1. 施工調査数量

調査範囲　※図示　・（　　）　(1.6.2)
調査項目　※仕上げ塗材等の劣化部分、剥落部分等を壁面に表示する。
※既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。
調査方法　・図示　※目視及ぶ打診　・（　　）
調査報告書　※（　　）部を監督員に提出する。

2. 調査のための破壊部分の補修

補修方法　・図示　・（　　）　(1.6.3)

3. 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法　(4.5.4)(表4.5.4～4.5.7)

工法	処理範囲	下地処理
※高圧水洗工法（３０ＭＰａ程度以上）	※既存仕上げ面全体・図面図示	
・サンダー工法（１０ＭＰａ程度以上）	※既存仕上げ面全体・図面図示	
・塗膜剥離剤工法	※既存仕上げ面全体・図面図示	
・集じん装置併用手工具ケレン工法 ・集じん装置付き超高圧水洗工法 ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法	※既存仕上げ面全体・図面図示 ・（　　）	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存面全面 ・（　　）	

塗膜剥離剤　製造所（　　）
下地調整材
※下地調整塗材
・防水形仕上塗材主材を使用
・ポリマーセメントモルタル　製造所（　　）

4. 仕上塗材仕上げ

(4.1.5)(4.5.2)(表4.4.1)(表4.5.1)(表4.5.2)(表4.7.1)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	備考
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状	・吹付け ・ローラー ・こて	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・ひき起こし ・かき落とし ・凹凸状	・吹付け ・ローラー ・こて	上塗材 ・外装厚塗材C ※適用 ・ｾﾒﾝﾄｽﾀｯｺ以外の塗材の場合 （　　） ・外装厚塗材Si,E ・適用　・適用しない
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形復層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・凸部処理 ・凹凸模様 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー	上塗材 ※水系アクリルつやあり ・水系ポリウレタンつやあり ・（　　）
・可とう形改修用	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー	上塗材 ※水系アクリルつやあり ・（　　） ・溶剤系 ・（　　）
・外装用塗膜防水材	※外壁用アクリルゴム系	・凹凸状 ・凸部処理 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー	下地等勾配緩衝材 ・適用する ・（　　）

※ホルムアルデヒドの放散量　Ｆ☆☆☆☆等級のもの　・（　　）
防火材料の指定　※屋内の壁及び天井の仕上げ材は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた防火材料とする。
その他の材料
セメント系下地調整材　JIS　A6916規格品
ポリマーセメントモルタル　※監督員の承諾する製造所
・製造所（　　）
剥離剤　・製造所（　　）

5 建具改修工事

1. 改修工法

既存建具を新規金属製建具に改修する場合の工法　(5.1.3)
⊙　かぶせ工法　・　撤去工法

2. アルミニウム製建具

(5.2.2～4)（表5.2.1）（表5.2.2）

種別	外部に面する建具	内部建具
※ 普通サッシ	・Ａ種　⊙ Ｂ種　・Ｃ種　・（　　）	
・ 防音サッシ	性能　（　　）	
・ 断熱サッシ	性能　（　　）	

表面処理　※図示による
枠の見込み寸法　※図示による
ステンレス鋼板　※SUS304

3. 網戸

※ 外面納まりの可動式　・（　　）　(5.2.3～4)
網の材種　※ 合成樹脂製　・ ガラス繊維入り合成樹脂製　・ ステンレス製

4. 樹脂製建具

(5.3.1)（表5.3.1）

種別	外部に面する建具	内部建具
※ 普通サッシ	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・（　　）	
・ 防音サッシ	性能　（　　）	
・ 断熱サッシ	性能　（　　）	

枠の見込み寸法　※図示による

5. 鋼製建具

簡易気密型ドアセットの性能値　(5.4.2)
※適用する　（※Ａ－３　・　　）　・ 適用しない
亜鉛めっき鋼板のめっき付着量　※Ｚ１２又はＦ１２　・（　　）　(5.4.3)
鋼板の厚さ　※「改修標仕」表５．４．２による　・ 建具表による　(5.4.4)

6. 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの性能値 ※適用する（※A-3　・　　）・ 適用しない　(5.5.2)
ビニル被覆鋼板　・ 適用する　・ 適用しない　(5.5.3)
カラー鋼板　・ 適用する　・ 適用しない
召合わせ、縦小口包み板などの材質 ※鋼板　・ ステンレス鋼板　・（　　）

7. ステンレス製建具

材質 ※SUS304　・（　　）表面仕上げ　※HL　・（　　）　(5.6.2～5)
曲げ加工 ※普通曲げ　・ 角出し曲げ

8. 木製建具

（表5.7.5～7）（表5.7.8～11)(5.7.2～5.7.4)

9. 建具用金物

見本品を監督員に提出して承諾を受ける。　(表5.8.1)(5.8.2～4)
マスターキー　※製作する（※新規　・ 既存に合わせる）　・ 製作しない
建具金物の種類

種　類	品　質　・　規　格
シリンダー箱錠 本締り錠 ドアクローザ	評価名簿による
ピボットヒンジ	
ヒンジクローザ フロアヒンジ	評価名簿による

10. 自動ドア開閉装置

駆動装置の性能値　(5.9.2～3)
引き戸用　※「改修標仕」表5.8.1による　・（　　）
引き戸（多機能トイレ）用　※「改修標仕」表5.8.2による　・（　　）
検出装置　※「改修標仕」表5.8.3による　・（　　）
戸の開閉方式　※図示による　・（　　）
検出装置の種類　・光線（反射）センサー　・熱線センサー　・音波センサー
・光電センサー　・電波センサー
・タッチスイッチ　・押しボタンスイッチ　・多機能トイレスイッチ
工事範囲　一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

備考	承認覧	工事名称	図面名称
		嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	改修工事特記仕様書（２）
		嘉麻市　人権・同和対策課	尺度 / 日付 / 図面番号 A-02

5 建具改修工事

11. 重量シャッター
機能による種類　(5.11.2～4)
・管理用　・防火（・外壁用　・屋内用）　・防煙
シャッターケース（防火・防煙以外の場合）　・設ける　・設けない　(5.11.2)
開閉機能による種類　(表5.11.1)
※上部電動式（手動併用）　電源 ※　　V　　kw以下（過電流保護装置付）
・上部手動式
耐風圧強度　・（　　）
屋内用防火、防煙シャッターの危害防止機構　※障害物感知装置　・シャッター二段降下方式
落下防止装置　・二重チェーン　・急降下制動装置　・急降下停止装置
設置個所は図示による
工事範囲　一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

12. 軽量シャッター
開閉機能による種類　(5.12.2～4)（表5.12.1）
※手動式
・上部電動式（手動併用）　電源※　　V　　kw以下（過電流保護装置付）
耐風圧強度　・（　　）
スラットの形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形
工事範囲　一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

13. オーバーヘッドドア
セクション材料　※スチールタイプ　・アルミニウムタイプ　(5.13.2)
・ファイバーグラスタイプ
開閉方式　※バランス式　・チェーン式　・電動式
収納方式　・スタンダード形　・ローヘッド形　・ハイリフト形　・バーチカル形
ガイドレール　※溶融亜鉛めっき鋼板(めっきの付着量Z27)　・ステンレス鋼板(SUS304)
耐風圧機能　・（　　）

14. ガラス
建具に取り付けるガラス及びガラスブロックは図面図示（建具表）による。　(5.14.2)
ガラス留め材　(5.14.2.(2)) (5.14.3)

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材(SR-1)　・グレイジングガスケット
鋼製、ステンレス製	※シーリング材(SR-1)　・（　　）
樹脂製	※グレイジングガスケット　・（　　）

ただし、防火戸は建築基準法に基づく個別認定品とする。

6 (1) 内装改修工事

1. 既存床の撤去
並びに下地補修
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法　・目荒し工法　(6.2.2)

2. 接着剤
壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。壁紙用の接着剤は、フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　　）(6.8.2)

3. ビニル床シート張り　(6.8.2)(6.8.3)

材　種	種　類	記号	色柄	厚さ	工法	特殊機能	備　考
ビニル床シート	※発砲層のないもの ・発砲層のあるもの	※ＦＳ ・（ ）	※無地 ・模様	※2.5 ⊙2.0 ・（ ）	※熱溶接 ・突付け	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防滑性 ・耐薬品性	

4. ビニル床タイル張り　(6.8.2)(6.8.3)

材　種	種　類	形状	厚さ	色柄
ビニル床タイル	※コンポジションビニル床タイル（半硬質） ・コンポジションビニル床タイル（硬質） ・ホモジニアスビニル床タイル	※300角 ・（　）	※2.0 ・3.0 ・（　）	図示による
	・帯電防止ビニル床タイル（置敷タイプ）	※500角	※2.0	
	・ホモジニアスビニル床タイル（パネル一体タイプ）	・（　）	・（　）	

帯電防止ビニル床タイル（置敷タイプ）の接着剤は粘着剥離形とし、製造所の指定する製品とする。
・防滑性床タイル　※図示による　・（　　）

5. ビニル幅木
材種　※軟質　・硬質　(6.8.2)
厚さ　※1.5　・（　　）
高さ　※６０　・７５　・１００　・（　　）

6. カーペット敷き
織りじゅうたん　(6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)(表6.9.2)

種別	織り方	パイルの形状	色柄	備　考
・A種 ・B種 ※C種	・ウィルトン ・ダブルフェース ・アキスミンスター	※カットパイル ・ループパイル ・（　）	※無地 ・模様	・防虫加工品 人体帯電圧 ※3kw以下　・（　）

下敷き材　※反毛フェルト(JIS L 3204)第２種２号（厚８）

タフテッドカーペット　(6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2)

パイル形状	パイル長	工　法	備　考
・カットパイル	※5～7　・（　）	※全面接着工法	人体帯電圧
・マルチレベルループ	※4～6　・（　）	・グリッパー工法	※3kw以下　・（　）
・レベルループパイル	※４　・（　）		
・カット、ループ併用	・（　）		

タイルカーペット　(6.9.2)(6.9.3)(6.9.4)(表6.9.2)

種別	パイルの形状	寸法	総厚さ	色柄	電気抵抗
※一種 ・二種	※ループパイル ・カットパイル	※５００角 ・（　）	※６．５ ・（　）	※無地 ・模様	※適用しない ・１０^{7} Ω以下

7. 合成樹脂塗床　(6.10.2)(6.10.3)(表6.10.3～7)

種　別	仕　上　げ　の　種　類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	※薄膜流しのべ仕上げ　・厚膜流しのべ仕上げ（※平滑・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑）　・薄膜型床塗仕上げ

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　　）

8. フローリング張り　(6.11.2～7)(表6.11.1～6)

類　別		樹種	工法及び寸法	厚さ・大きさ（mm）	塗　装
複合	※複合フローリング ・（　　）	※なら ・（　）	※釘留め工法 ・A種　・B種　※C種 ・接着工法	厚さ　・15 幅　・75　・90 長さ　・　以上	※塗装品 ・無塗装品 ※図示による
単相	・（　　）	・（　）	・（　　）		

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　　）

9. 体育館用
フローリング張り
樹　種　・（　　）
接着剤　・エポキシ樹脂系　・ウレタン樹脂系
表面塗装　・ポリウレタン樹脂塗料３回塗り　・（　　）
張り付け　・下張り板に接着剤で接着し、隠し釘と脳天釘で止める
下張り板　・１２mm以上（木製根太）　※１５mm以上（鋼製根太）
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　　）
厚さ　※1.8　　幅　・

10. 畳敷き
※別添畳工事特記仕様書による　(表6.12.1)

6 (1) 内装改修工事

11. せっこうボード
その他ボード
及び合板張り　(6.13.2)(6.13.3)

材　種	種　別	張り方		厚　さ	備　考
・せっこうボード		・下地張り ・上張り	・突付け ・目透し ・継目処理工法	・9.5 ・12.5 ・15	
⊙化粧せっこうボード	・トラバーチン模様	・直張り	※突付け	※9.5	寸法 ※450*910 ・910*910
	⊙木目模様（裏桟付）	・直張り	※目透し	※9.5	専用軽鉄 下地材付き
・けい酸カルシウム板			・目透し ・継目処理	※6　・8 ・10　・12 ・（　）	タイプ２ （無石綿）
・木質ｾﾒﾝﾄ板	・硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板 ・普通木毛ｾﾒﾝﾄ板	・打込み ・張付け ・敷込み		・20　※25 ・30	
・繊維板 ・ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ					
・天然木化粧合板					・福岡県産材

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　　）
遮音シール材　※アクリル系シーリング材　・ウレタン系シーリング　・ジョイントコンパウンド

(6.13.2)(6.13.3)

材　種	表　面　の　品　質	厚　さ	工　法
・普通合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ※ラワン程度　・（　　）	・5.5　・9　・12	※Ａ種 ・Ｂ種
	不透明塗料塗りの場合 ※しな程度　・（　　）	・5.5　・9　・12	
・天然木化粧合板	・（　　）	・（　　）	

壁又は天井に使用する合板は、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたもの。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆　・（　　）

パーティクルボード及びＭＤＦのホルムアルデヒド放散量　(6.13.2)
※F☆☆☆☆　・（　　）

12. 壁紙張り
壁紙はJIS A 6921により、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　　）(6.14.2)

施工箇所	品質	程度	防火性能の種類
和室・壁			・不燃　⊙準不燃　・（ ）
小会議室・壁			・不燃　⊙準不燃　・（ ）
			・不燃　・準不燃　・（ ）
			・不燃　・準不燃　・（ ）

素地ごしらえの種別　(6.14.3)
モルタル及びプラスター面　・Ａ種　※Ｂ種
コンクリート面　・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボード面　・Ａ種　※Ｂ種

13. タイル張り
施工業者　※内装専門業者とする　・（　　）(6.16.3)

施工箇所	形状・寸法	きじの質			うわぐすり		役物		色		見本焼き	備考
		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	無ゆう	施ゆう	有	無	標準	特注		

14. 断熱材
・打込み断熱材　「19.9.3」

材　種	種　類	厚　さ
※押出法ポリスチレンフォーム断熱材	※2種b-A・（　　） ・3種b-A（接地部分）	・25　・（　　）
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・2種（ ）号　・（　）	・（　　）

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　　）
施工箇所
※現場発泡工法に示された施工箇所以外の箇所
・（　　）

・現場発泡断熱材（吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材）　「19.9.4」
燃焼性　※評価名簿による
厚　さ　・25　・（　　）
施工箇所　※窓回り等の断熱補修部分

15. 吸音材

材　種	品質・規格	厚さ
⊙ロックウール吸音材	ロックウール吸音ボード１号(60K)　RW-B ロックウール化粧吸音板　DR	・25　・（　　） ※9　・（　）
・グラスウール吸音材	グラスウール吸音ボード２号32K　GW-B グラスクロス(JIS R3414)額縁張	※25

ガラスクロス張りグラスウール吸音ボード(910*1820)の取付け工法
ポリプロピレン及びプラスチックファスナー留め　４本／㎡程度以上

16. ポリスチレン
フォーム床下地材
畳下地　厚さ　※４０　・６５　・８０
フローリング類　厚さ　※８０　・９５

6 (2) 内装改修工事金属工事

1. ステンレスの表面仕上げ
建築工事監理指針「14.2.3」「表14.2.6」

種類	施工箇所	備考
※ヘアライン程度	・下記以外の見え掛かり全て	
・No.２B程度		
・鏡面仕上げ		
・		

2. アルミニウム及び
アルミニウム合金の
表面処理　「14.2.1」「表14.2.1」

種類	施工箇所	備考
・BB-1種		無着色
・BB-2種		・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ
・		

3. 鉄鋼の亜鉛メッキ　「14.2.2」「表14.2.2」

施工箇所	亜鉛めっきの種別	備考
	溶融・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種	JIS H 8641
	電気・Ｄ種　・Ｅ種　・Ｆ種	JIS H 8610

4. 軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類　(6.6.2)(表6.6.1)
屋内　⊗　１９形　・２５形　・（　　）
屋外　・１９形　・（　　）
屋外における野縁等の間隔　（　　）(6.6.3)

5. 軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナの種類　(6.7.3)(表6.7.1)
※「改修標仕」表６．７．１による　・図示による

6. 金属成形板張り　「14.6.2」

材種	製法	材種	寸法（mm）	厚（mm）	表面処理
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ系	・押出し ・ロール	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ ・（　）			・ＢＢ－１種 ・ＢＢ－２種（　）
・ｽﾃﾝﾚｽ系	※プレス				

伸縮調整継手　・設ける　・設けない

6 (3) 内装改修工事ユニット及びその他工事

1. フリーアクセス
フロア　「20.2.2」

施工箇所	構　法	寸　法（mm）	高　さ（mm）	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備　考
	・支柱調整式 ・置敷式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

帯電防止性能（U値）　・0.6　・1.2
感電防止性能（漏えい抵抗　R≧1×10^{6} Ω
構成材の材質　・アルミニウム　・鋼製　・（　　）
品質　評価名簿による

2. 可動間仕切
（既製間仕切）　「20.2.3」

構造形式	パネル部の総厚さ	表面材種(厚さ)	仕上げ
※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・（　　）以上	※鋼板　・（　） ※0.6　・（　） ・（　　）	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼き付け ・（　　）

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆
品質JIS A 6512によるもの又は評価名簿によるもの

3. 移動間仕切
（スライディングドア）　「20.2.4」

表面板	仕上げ	パネル厚	遮音性
・鋼板 ・（　）	・焼付け ・（　）	※６０　・８０　・１００ ・（　）	・一般タイプ ・遮音タイプ

品質　評価名簿による

4. トイレブース
仕様　「20.2.5」
パネル　・ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板　・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板　・（　　）
ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆
部　材　・アルミ製　・ステンレス製　・（　　）
附属金物　※ステンレス製　・（　　）
足形状　※幅木型　・足金物型
形　式　・丁番吊　・中心吊

5. 手すり　「20.2.6」

種類	材料の種別	表面処理
・手すり	※ステンレスSUS304	※ HL程度　・鏡面仕上げ　・（　　）
	・鉄	亜鉛めっき　外部　※Ｃ種 内部　※Ｅ種

6. 階段滑り止め
・金属製　材　種　※ステンレス製(SUS304)　・真鍮製　「20.2.7」
形　式　※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り　・タイヤなし
幅　※３５　・（　　）
取　付　※接着工法　・（　　）
・磁器製　幅　※６０　・（　　）

階段手すり

材　種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所
※集成材	※クリアラッカー	・60　・45	
・ステンレスパイプ	・HL		
・鋼製パイプ	・EP-G		
・ビニル製			

※図示による

7. 床目地棒
床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。　「20.2.8」
※ステンレス製６×１２　・ステンレス製４×１２　・黄銅製４×１２

8. 黒板及びホワイトボード
※福岡県黒板工事特記仕様書の項目を適用する。　「20.2.9」
・図示による

9. 鏡　「20.2.10」
縁　※なし　・あり（　　）
ガラス厚　※５mm　・（　　）

10. 表示
※図示による　「20.2.11」
・下記による

種　類	材　種	寸　法	取付方法
・衝突防止表示	・ステンレス製市販品　・（　　）		
・非常用進入口の表示	・市販品　・（　　）		
⊙室名札	⊙ステンレス製　・（　） ・（　） ・（　）	⊙面付　⊙特出し	
・ピクトグラフ	・ステンレス製　・（　） ・（　） ・（　）		
・案内板	・ステンレス製　・（　） ・（　） ・（　）		
・（　　） ・（　　）	・（　　） ・（　　）	・（　） ・（　）	・（　） ・（　）

11. タラップ　「20.2.12」

種類	材料の種別	表面処理
・タラップ	※ステンレスSUS304	※ 研磨なし
	・鉄	亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種 ・（　　）

12. 煙突ライニング
・煙突用成形ライニング材　「20.2.13」
適用安全使用温度　※６５０℃　・（　　）℃
・キャスタブル耐火材
製造所　※監督員の承諾する製造所　・（　　）同等以上

13. ブラインド　「20.2.14」

形　式	※横型ブラインド(JIS A 4801)	・縦型ブラインド
スラットの材種	※アルミニウム合金	・アルミニウム合金　・クロス
開閉方式	※ギヤ式　・コード式　・操作棒式	・1本操作コード ※2本操作コード
スラットの幅	※25　・35	・80　・100

14. ロールスクリーン
材種、品質等（　　）　「20.2.15」

6 (3) 内装改修工事ユニット及びその他工事

15. カーテン及び
カーテンレール　「20.2.16」「表20.2.1」

施工箇所	きれ地名称品質	ひだの種別	形　式	開閉装置
1階和室	ドレーブ　エコ　1.5倍防炎		・片引き　⊙引分け	・有　⊗無
2階　小会議室	ドレーブ　エコ　1.5倍防炎		・片引き　⊙引分け	・有　⊗無
			・片引き　・引分け	・有　※無
			・片引き　・引分け	・有　※無

※暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重掛けは３００mm以上とする。
カーテンレール　(JIS A 4802)
材種　※ステンレス型　・アルミニウム製　・鋼製
形状　※Ｃ型　・角型

16. ブラインドボックス及び
カーテンボックス
材種　※アルミニウム製（既製品）　・鋼製　・（　　）
色彩　※シルバー　・着色　・（　　）
形状　※溝幅９０×深さ１５０　・溝幅（　　）×深さ（　　）

17. コーナービード
材種　※ステンレス製　・（　　）

18. 天井見切縁
材　種　※アルミニウム押出型材　・塩化ビニル製
施工箇所　※仕上表による　・（　　）

19. 点検口

施工箇所	材　種	寸　法
天井	⊗アルミニウム　・（　　）	⊙450×450　・600×600
床	・アルミニウム　・ステンレス	・450×450　・600×600
	形式　・一般型　・簡易密閉型　・密閉型　・（　　）	

20. くつふきマット
材種　※塩化ビニル製又はゴム製（受枠ステンレス製）SUS304
・硬質アルミニウム製（受枠硬質アルミニウム合金製）
・ステンレス製（受枠ステンレス製）SUS304

21. 鋼製書架及び
物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種　・2種　・3種 ・4種　・5種　・6種

22. 旗ざお
材種　※アルミニウム製　・（　　）
形状　・テーパー式　・同一断面
形式　・ロープ式　・ハンドル式
寸法　・（　　）

23. 旗ざお受金物
材種　※ステンレス製（市販品）　SUS 304　・（　　）

24. 流し台ユニット
ステンレス流し台　仕様・寸法（　　）
コンロ台　（　　）
吊戸棚　（　　）
水切棚　（　　）

25. 視覚障害者用
誘導床材

施工箇所	材　質	寸　法	備　考
	・セラミックタイル	・300角・（　）	無ゆう　黄色
	・ビニル床タイル	・300角	黄色
	・点字鋲		真鍮製
	・コンクリート製	・300角　厚60	黄色

26. 既製フェンス
・ビニル被覆エキスパンドフェンス　・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス　・（　　）

27. かぎ箱
※鋼製市販品　・３０組用　・６０組用　・１２０組用

28. 敷地境界線
種類　※コンクリートブロック製（市販品）
・花こう岩類の石材（文字記号等入り）

29. 屋外掲示板
照明器具　※あり　・なし
施　錠　※あり　・なし

30. 車止め支柱
材種　※ステンレス製（上下式鎖内蔵型）　・（　　）
形状　※スプリング付き　・スプリングなし

31. 新聞受・郵便受
・（　　）

32. 木製家具
家具専門メーカーの製作品とする。

33. 収納・収納家具
合板類
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　　）
ミディアムデンシティファイバーボード（ＭＦＤ）及びパーティクルボード
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　　）

34. 施工中の安全管理
接着剤及び塗料の配付にあたっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間を取るものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させる。

7 塗装改修工事

1. 材料
屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたものとする。　(7.1.3)
塗料は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　　）

2. 塗装業者
・（一社）日本塗装工業会の会員　※監督員の承諾する塗装業者

3. 下地調整　(表7.2.1)～(表7.2.7)

素地	種別	備考
・木部	・RA種（新規不透明塗料塗りの場合） ※RB種　・RC種	
・鉄鋼面	・RA種（新規不透明塗料塗りの場合） ※RB種　・RC種	
・亜鉛めっき鋼面	・RA種（新規不透明塗料塗りの場合） ※RB種　・RC種	
・モルタル面及び プラスター面	・RA種（新規不透明塗料塗りの場合） ※RB種　・RC種	
⊙コンクリート面及び ＡＬＣパネル面	・RA種（新規不透明塗料塗りの場合） ※RB種　⊙RC種	
・押出成形セメント板面	・RA種（新規不透明塗料塗りの場合） ※RB種　・RC種	
・ボード面	・RA種（新規不透明塗料塗りの場合） ※RB種　・RC種	

備考	承認覧	工事名称	図面名称
		嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	改修工事特記仕様書（３）
		嘉麻市　人権・同和対策課	尺度 / 日付 / 図面番号 A-03

7 塗装改修工事

4. 錆止め塗料塗り

塗料種別　(7.4.2)(表7.4.1)～(表7.4.2)

塗装面	種別	備考
・鉄鋼面	※Ａ種（屋外）　Ｂ種（屋内） ※Ｂ種（ＥＰ－Ｇの場合）・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種	
・亜鉛めっき鋼面	※Ａ種　※Ｂ種（その他） ※Ｃ種（ＥＰ－Ｇの場合）	

錆止め塗料塗り　(7.4.3)(表7.4.3)～(表7.4.5)

塗装面	種別	備考
・鉄鋼面	・ A種　・ B種　※ C種	
・亜鉛めっき鋼面	・ A種　・ B種　※ C種	
・新規鋼製建具等亜鉛めっき鋼面	※ A種　・ B種　・ C種	

5. 合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）　(7.5.2)(表7.5.1)～(表7.5.3)

塗装面		種別	塗装の種類	備考
・木部	新規	※ A種(屋外)　※ B種(屋内)　・ C種	※ １種　・２種	
	塗替	・ A種　※ B種　・ C種	※ １種　・２種	
・鉄鋼面	新規	・ A種　※ B種	※ １種　・２種	
	塗替	・ A種　※ B種　・ C種	※ １種　・２種	
・亜鉛めっき鋼面	新規	・ A種　※ B種	※ １種　・２種	
	塗替	※ A種(鋼製建具)※ B種(その他)・ C種	※ １種　・２種	鋼製建具面Ａ種

6. クリヤラッカー塗り（ＣＬ）　(7.6.2)(表7.6.1)

塗装面	種別	備考
・木部(屋内)	・ A種　※ B種	

7. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）　(表7.7.1)

塗装面	種別	備考
・モルタル面(屋内)	・ A種　※ B種	
	・ A種　※ B種	

8. 耐候性塗料塗り（ＤＰ）　(表7.8.1)～(表7.8.3)

塗装面	種別	塗料の種類	備考
・鉄鋼面(屋外)	・ A種　・ B種　・ C種	※上塗1級	
・亜鉛めっき鋼面	・ A種　・ B種　・ C種	※上塗1級	
・コンクリート面 その他	・ A種　・ B種　・ C種	※上塗1級	

9. つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）　(表7.9.1)～(表7.9.4)

塗装面		種別	備考
・木部	新規	※ A種　・ B種　・ C種	
	塗替	・ A種　※ B種　・ C種	
・鉄鋼面	新規	・ A種　・ B種	
	塗替	・ A種　※ B種　・ C種	
・亜鉛めっき鋼面	新規	・ A種　・ B種	
	塗替	・ A種　※ B種	
⊙コンクリート面 その他（　）	新規	・ A種　・ B種	
	塗替	⊙ A種　※ B種　・ C種	

10. 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）　(表7.10.1)

塗装面		種別	備考
・	新規	・ A種　・ B種	
	塗替	・ A種　※ B種　・ C種	

11. ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）　(表7.11.1)

塗装面		種別	備考
・木部(屋内)	新規	・ A種　※ B種	
	塗替	・ A種　※ B種	

12. ステイン塗り　(表7.12.1)

塗装面		種別	備考
・木部	新規	・ A種　・ B種	
・	塗替	・ ＲＡ ・ＲＢ　・ＲＣ	

13. 木材保護塗装塗り（ＷＰ）　(表7.13.1)

塗装面	種別	備考
・木部(屋外)	・ A種　※ B種	
・	・ A種　※ B種	

8 耐震改修工事

1. 鉄筋の種類　材質 ※JIS G 3112 ・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの　(8.2.1)

種類	・ SD295	・ SD345	・ SD390	
径				

2. 鉄筋の継手　(8.3.4)

接合方法	部位	径	備考
・ガス圧接・重ね継手・溶接継手 ・機械式継手　・（　）	柱・梁の主筋	※D19以上 ・（　）	
※重ね継手　・（　）	その他	※D16以下　・（　）	

3. 溶接金網　※JIS G 3551規格品　(8.2.2)
形状（　）　寸法（　）　径（　）

4. 帯筋　※図示による

5. 壁の配筋　シアコネクタ　(8.3.7)
・種類（　）・径（　）・長さ（　）
・彫込み深さ（　）・間隔（　）

6. 圧接完了後の試験　※外観試験　※超音波探傷試験　(8.3.8)

7. 特殊な鉄筋継ぎ手　・機械式継手の種類（　）・溶接継手　(8.4.2)(8.4.3)

8. 割裂補強筋　(8.21.6)(8.22.7)

種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
・スパイラル筋					※図示
					※図示

8 耐震改修工事

9. コンクリートの強度　(8.1.3)

設計基準強度(Fc) N/mm²	類別	18	21	24			
普通コンクリート	部位						
軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ ・１種・２種	部位						

10. コンクリートの種類　※Ⅰ類　・Ⅱ類　(8.1.3)

11. スランプ　(8.1.4)

打込み箇所	基礎、基礎梁	柱、梁、スラブ、壁
所要スランプ	・１５　※１８	・１５　※１８

12. 普通コンクリートの調合　(8.1.4)
※単位水量の上限値　185 kg/m3
※単位セメント量の下限値　270 kg/m3
※水セメント比の上限値　65%　（高炉セメントB種　60%）
※所要空気量の目標値　4.5%
※塩化物の含有量　0.30 kg/m3　以下
気温によるコンクリート強度の補正　※監督員の指示による

13. セメントの種類　※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　(8.2.5)
・ 高炉セメントＢ種（・　・　）
・（　）

14. 打放し仕上げの種別　※合板せきを用いる場合　(表8.1.4)(8.2.7)

種別	適用箇所
・Ａ 種	
・Ｂ 種	
・Ｃ 種	

15. ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上りの平たんさ　(表8.1.5)

種別	適用箇所 柱・梁・壁	適用箇所 床
a 種	・化粧打放しｺﾝｸﾘｰﾄ　・塗装仕上げ ・壁紙張り　・ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ張り（接着剤） ・（　）	・合成樹脂塗床　・ﾋﾞﾆﾙ系床材張り ・床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ　・ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ ・（　）
b 種	・仕上げ塗材塗り ・（　）	・ｶｰﾍﾟｯﾄ張り　・防水下地 ・ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り ・（　）
c 種	・ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ張り（ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ） ・ﾓﾙﾀﾙ塗り ・（　）	・ﾀｲﾙ張り　・ﾓﾙﾀﾙ塗り ・二重床 ・（　）

16. モルタル及びグラウト材
・構造体用モルタル　（圧縮強度　）　(8.2.12)
・柱底均しモルタル　（※無収縮モルタル　・　）
・グラウト材　（※無収縮グラウト材　）

17. 鉄骨製作工場　※監督員の承諾する工場　(8.1.5)
・ Sグレード　・ Hグレード　・ Mグレード　・ Rグレード　・ Jグレード
加工能力条件　（　）

18. 鋼材の種類　材質　※JIS等の規格品　(8.2.8)
・ 建築基準法に基づき指定又は認定を受けた構造用鋼材及び鋳鋼
種類　・ SS４００
・（　）・（　）・（　）
寸法　※図示

19. 高力ボルト　※トルシア形高力ボルト　指定、認定品　セットの種類　※S10T　(8.2.9)
・JIS形高力ボルト　JIS B 1186　セットの種類　※２種（F10T）
・溶融亜鉛メッキ高力ボルト　指定、認定品　セットの種類　※１種（F8T相当）

20. 溶接部の検査　※外観試験　(8.15.12)
試験箇所　※全数試験　・図示による　・（　）
（参考）「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
独立行政法人　建築研究所　監修
※超音波探傷試験（完全溶け込み溶接）
・工場溶接　AOQL　※4.0%　・2.5%
検査水準　※第６水準　・（　）
・現場溶接　※全数試験

21. スタッド　※JIS B 1198（頭付きスタッド）　(8.2.11)
軸径　※図示による
長さ　※図示による

22. スタッド溶接後の試験　※外観試験　※仕上がり高さ及び傾きの試験　(8.16.6)
※打撃曲げ試験

23. 耐火被覆の種別及び性能　(8.18.3)

種別	性能		使用箇所
耐火材吹付け ・吹付けロックウール	・１時間	・３０分	※図示
・	・１時間	・３０分	※図示

24. 耐震スリット　耐震スリットの種類　(8.25.2)
・完全スリット　・部分スリット
・幅（　50　mm）　深さ（・図示　・　）
・耐火材　（仕様　）（仕様箇所　※図示　・　）
・遮音材　（仕様　）（仕様箇所　※図示　・　）

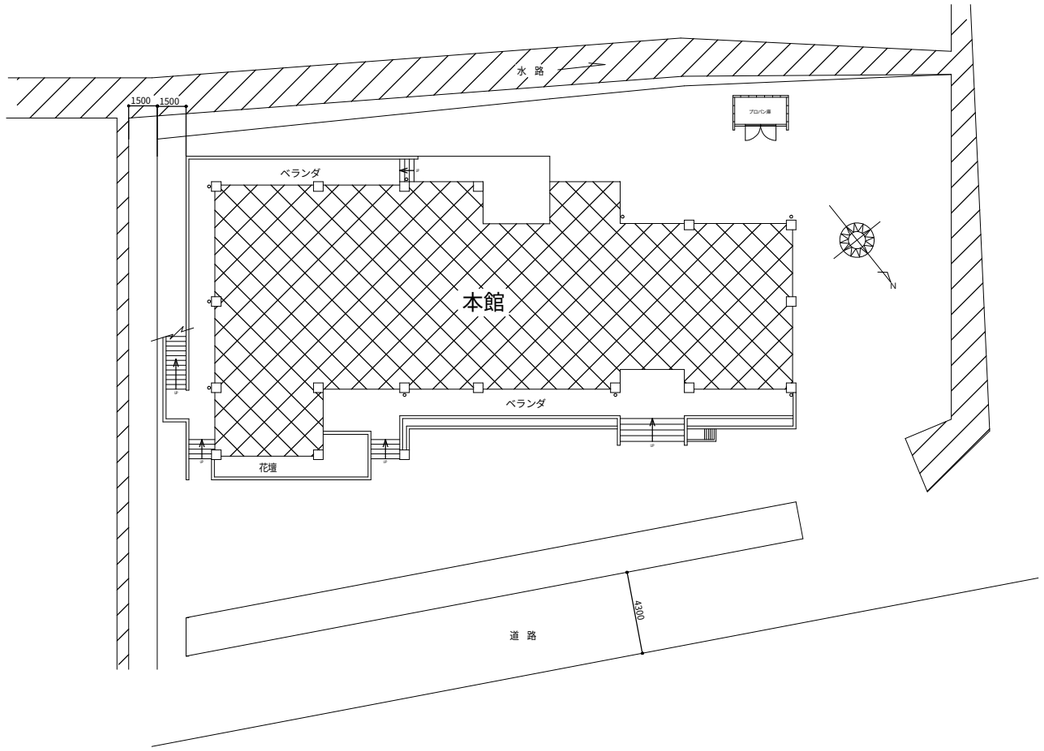
25. あと施工アンカー　種類　・金属系アンカー　(8.2.4)
引っ張り耐力　（　）せん断耐力　（　）
径　（　）埋込み長さ　（※図示　・　）
セット方式（※本体打込み式　・　）
接合筋（種類　径　長さ　）
・接着系アンカー　（※カプセル型　・　）
引っ張り耐力　（　）せん断耐力　（　）
径　（　）埋込み長さ　（※図示　・　）
アンカー筋の種類（※異形棒鋼　・　）
性能確認試験
・適用する　※適用しない
穿孔前の埋込配管等の探査　(8.12.4)
範囲　※全て　・図示
方法　※鉄筋探査機
施工確認試験　(8.12.7)
※引張り試験（確認強度　）

施　工　区　分　表

（○印を適用する）

工事内容				建築	外構	植栽	電気	電話	昇降	給衛	空調	ガス	黒板畳	備考
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内											電気と十分協議すること
			屋外											
			屋上											
		自家発電機の基礎　（アンカーボルトを除く）												
		テレビアンテナの基礎（　〃　）												
		避雷針の基礎　（　〃　）												
	機械関係	屋内設備												機械と十分協議すること
		屋外設備（架台、アンカーボルト含む）									○			
		屋上設備（架台、アンカーボルト除く）									○			
	特記した基礎													
開口部	梁、床、壁	補強を要するもの												
	貫通スリーブ	補強を要しないもの									○			
	梁、床、壁	補強を要するもの												
	貫通部型枠	補強を要しないもの												
	軽量鉄骨下地、	補強を要するもの		○										
	壁・天井ボード類の切込み	補強を要しないもの		○										
	埋込型分電盤、	補強を要するもの												
	端子盤等の型枠	補強を要しないもの												
	上記開口部の補強													
	上記開口部の墨出し										○			
	スリーブの穴埋め（型枠の穴埋めを含む）										○			
	ＯＡフロア器具取付用													
点検口	床、壁、天井													
ガラリ	外壁面（ダクト、チャンバーの接続用含む）													
	建具取付													
	空調用リターン													
排気フード	厨房													
	上記以外										○			
換気扇の取付枠及びアルミパネル														
換気扇	壁換気扇（ウェザーカバー含む）										○			
	天井換気扇（ベントキャップ含む）										○			
流し台	排水トラップ含む													
防油提	オイルサービスタンクの防油提		自火発電用											
			空調用											
床下水槽のマンホール蓋	タラップ含む													
屋外配水管	雨水													
	汚水、雑配水管													
雨水竪樋	ルーフドレイン含む													
身障者用便所手すり														
はめ込み形洗面器用カウンター（前板共）														
ガスボンベ転倒防止用の鎖														
電気配管配線	機械設備機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）										○			
	機械設備機器付属の制御盤と電源供給及び配管配線						○							
	機械設備自動制御と電気設備盤との電源供給						○							
	機械設備自動制御と電気設備盤との操作回路の渡り配管配線										○			
	天井吊り型ＦＣＵ、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチとの渡り配管						○							
	天井吊り型ＦＣＵ、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチとの渡り配線										○			
	天井吊り型ＦＣＵ、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチ										○			
	天井吊り型ＦＣＵ、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチ埋込ボックス						○							
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパー及び排煙口に至る配管配線													
	小便器用節水装置制御盤以降の配管配線													
	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部への電源供給													
	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部													
	自動ドア及び電動シャッターなどの操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ													
	防火扉レリーズ													
	電極棒（フロートスイッチ含む）													
	配線ピット及び蓋													
	別途機器などへの接続						○				○			
パッケージエアコンの配線	室外機・室内機間の伝送線										○			
	室外機・室内機間の電源渡り線										○			
	室内機・リモコン間の配線										○			
	室内機・リモコン間の配管						○							
	リモコン埋込ボックス						○							
	室内機・集中リモコン間の渡り伝送線						○				○			
ガス漏れ探知機（遮断弁連動）														
ＯＡフロア用配線器具														
電気錠	電気錠及び通電金具													
	ＴＥＮキー及び制御盤													
エレベーター出入口三方枠（金属製）														
シャワーユニット（バスユニット）														
ガス給湯器リモコン用ケーブル														
ガス給湯器電線管及びボックス														
消火栓始動器（起動装置）														
畳工事													○	
黒板工事	下地補強													
	黒板・白板・掲示板			○									○	
植栽工事														

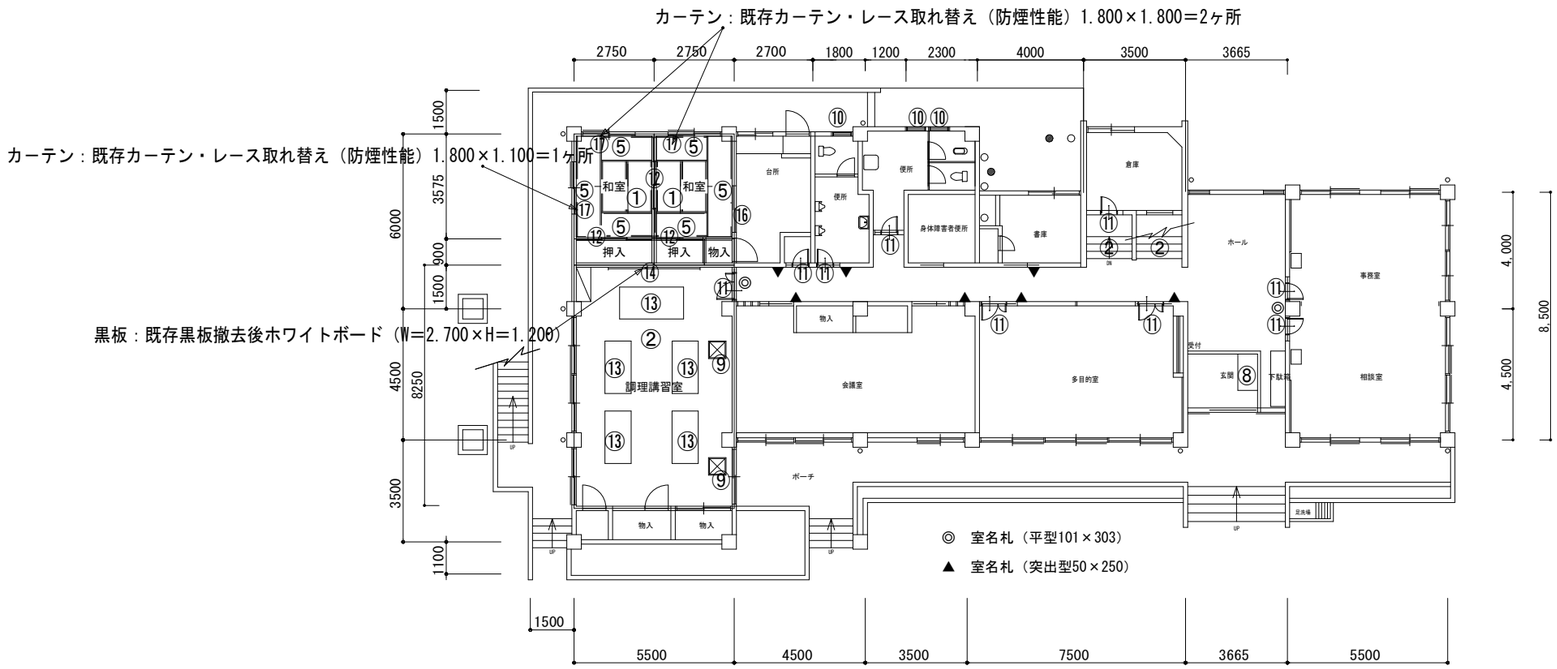
備考	承認覧	工事名称	図面名称
		嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	改修工事特記仕様書（４）
		嘉麻市　人権・同和対策課	尺度 / 日付 / 図面番号 A-04



配置図 S:1/200

付近案内図

工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面NO
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士 大臣 207655 松村一弘				配置図・付近案内図	A-05
備考	福岡県嘉麻市上西郷 244-3 TEL ・FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺 1/200	

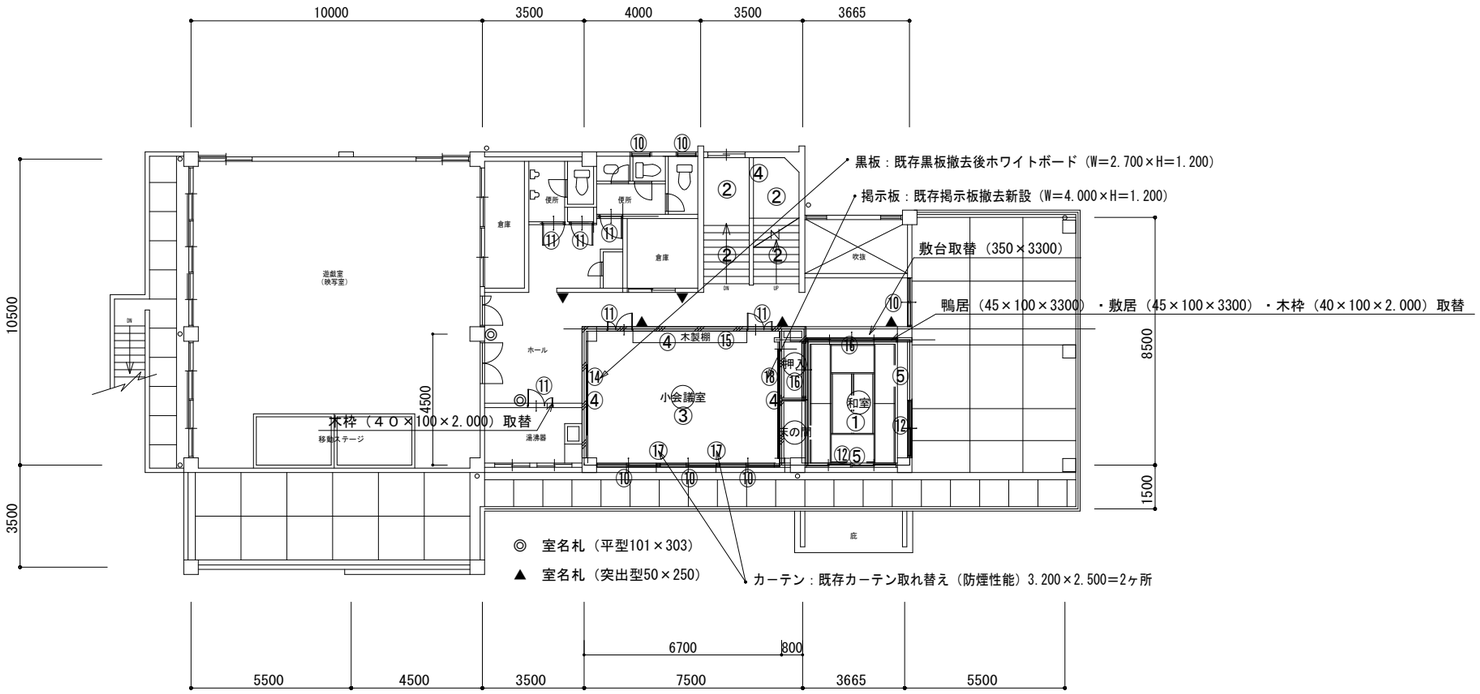


1階 平面図 S:1/200

補修工事概要（内部）

①	床：畳撤去処分後新畳新設	⑥	天井：既存撤去処分後化粧石膏ボード（和風調）張り	⑪	木建具：既存建具撤去の上ドア新設（1200・800×2000）	⑯	木建具：既存襖撤去の上襖新設
②	床：既存床Pタイル撤去処分ビニル床シート（t＝2.0）貼	⑦	天井：既存撤去、ジプトーン張り新設	⑫	木建具：既存襖の襖張替・障子紙張替	⑰	カーテン：既存カーテン・レース取れ替え（防煙性能）
③	床：Pタイル撤去処分の上、タイルカーペット新設	⑧	床スロープ：ポータブルスロープ新設（アルミ製680×1250）	⑬	調理台：既存調理台撤去後調理台新設	⑱	掲示板：既存掲示板撤去新設（W＝4.000×H＝1.200）
④	壁：下地撤去後、内装厚塗材セメンコトスタッコ仕上げ	⑨	床：床点検口取替新設	⑭	黒板：既存黒板撤去後ホワイトボード（W＝2.700×H＝1.200）		
⑤	壁：下地処理後、薄付け仕上塗装Eスキン仕上げ	⑩	アルミ建具：既存サッシｶﾊﾞ-工法新設	⑮	棚：木製棚解体撤去		

工事名	嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士 大臣 207655 松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名 1 階 平 面 図	図面ＮＯ
備考		福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺 1/200	A-06

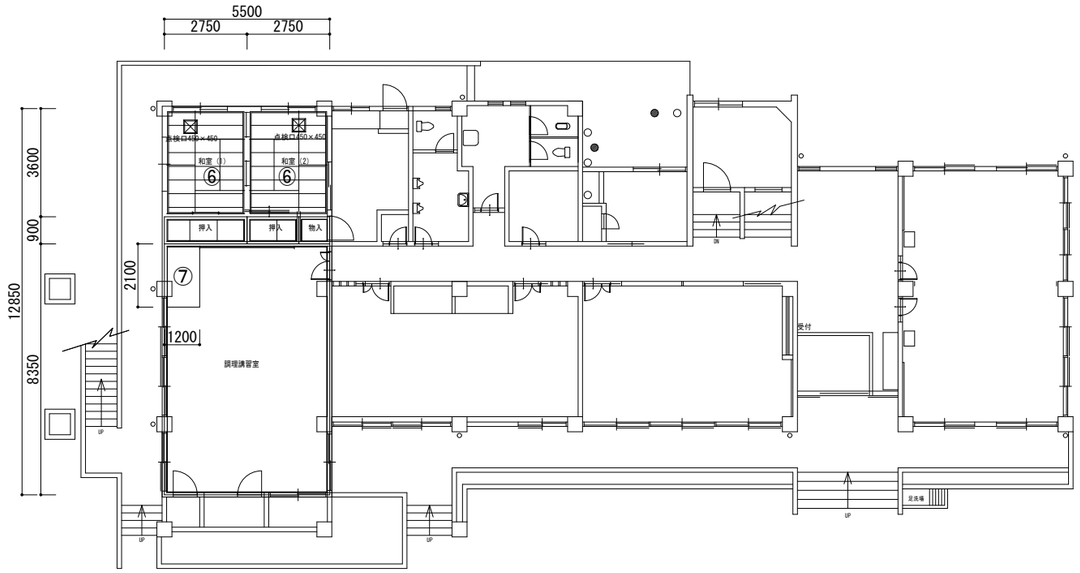


2階　平面図　S:1/200

補修工事概要（内部）

①	床：畳撤去処分後新畳新設	⑥	天井：既存撤去処分後化粧石膏ボード（和風調）張り	⑪	木建具：既存建具撤去の上ドア新設（1200・800×2000）	⑯	木建具：既存襖撤去の上襖新設
②	床：既存床Pタイル撤去処分ビニル床シート（ｔ=2.0）貼	⑦	天井：既存撤去、ジプトーン張り新設	⑫	木建具：既存襖の襖張替・障子紙張替	⑰	カーテン：既存カーテン・レース取れ替え（防煙性能）
③	床：Pタイル撤去処分の上、タイルカーペット新設	⑧	床スロープ：ポータブルスロープ新設（アルミ製680×1250）	⑬	調理台：既存調理台撤去後調理台新設	⑱	掲示板：既存掲示板撤去新設（W=4.000×H=1.200）
④	壁：下地撤去後、内装厚塗材セメンコトスタッコ仕上げ	⑨	床：床点検口取替新設	⑭	黒板：既存黒板撤去後ホワイトボード（W=2.700×H=1.200）		
⑤	壁：下地処理後、薄付け仕上塗装Eスキン仕上げ	⑩	アルミ建具：既存サッシｶﾊﾞｰ工法新設	⑮	棚：木製棚解体撤去		

工事名 嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名 ２階平面図	図面ＮＯ A-07
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　1/200	

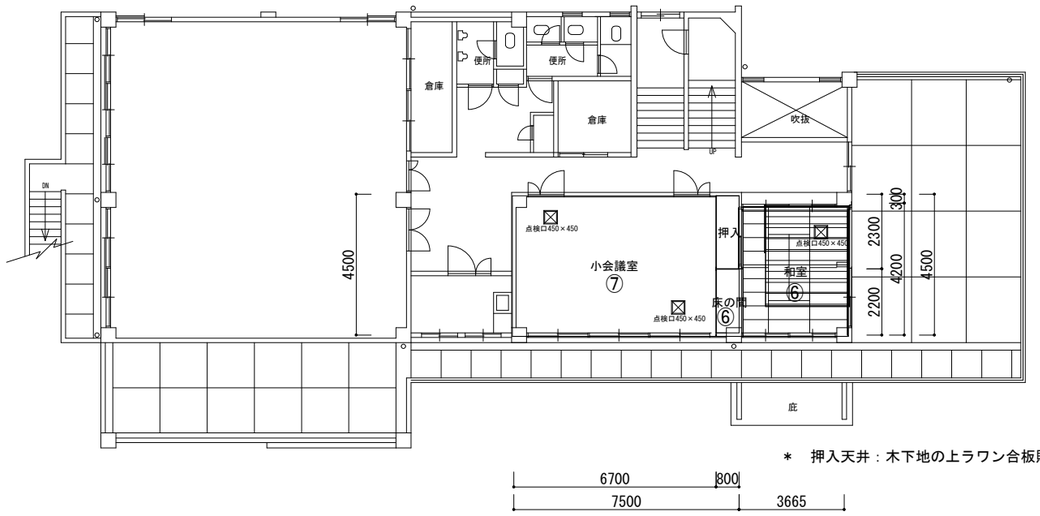


1階　天井伏図　S:1/200

補修工事概要（内部）

①	床：畳撤去処分後新畳新設	⑥	天井：既存撤去処分後化粧石膏ボード（和風調）張り	⑪	木建具：既存建具撤去の上ドア新設（1200・800×2000）	⑯	木建具：既存襖撤去の上襖新設
②	床：既存床Pタイル撤去処分ビニル床シート（ｔ＝2.0）貼	⑦	天井：既存撤去、ジプトーン張り新設	⑫	木建具：既存襖の襖張替・障子紙張替	⑰	カーテン：既存カーテン・レース取れ替え（防煙性能）
③	床：Pタイル撤去処分の上、タイルカーペット新設	⑧	床スロープ：ポータブルスロープ新設（アルミ製680×1250）	⑬	調理台：既存調理台撤去後調理台新設	⑱	掲示板：既存掲示板撤去新設（W＝4.000×H＝1.200）
④	壁：下地撤去後、内装厚塗材セメンコトスタッコ仕上げ	⑨	床：床点検口取替新設	⑭	黒板：既存黒板撤去後ホワイトボード（W＝2.700×H＝1.200）		
⑤	壁：下地処理後、薄付け仕上塗装Eスキン仕上げ	⑩	アルミ建具：既存サッシｶﾊﾞｰ工法新設	⑮	棚：木製棚解体撤去		

工事名 嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名 1階 天井伏図	図面ＮＯ A-08
備考	福岡県嘉麻市上西郷　244-3 TEL ・FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　1/200	



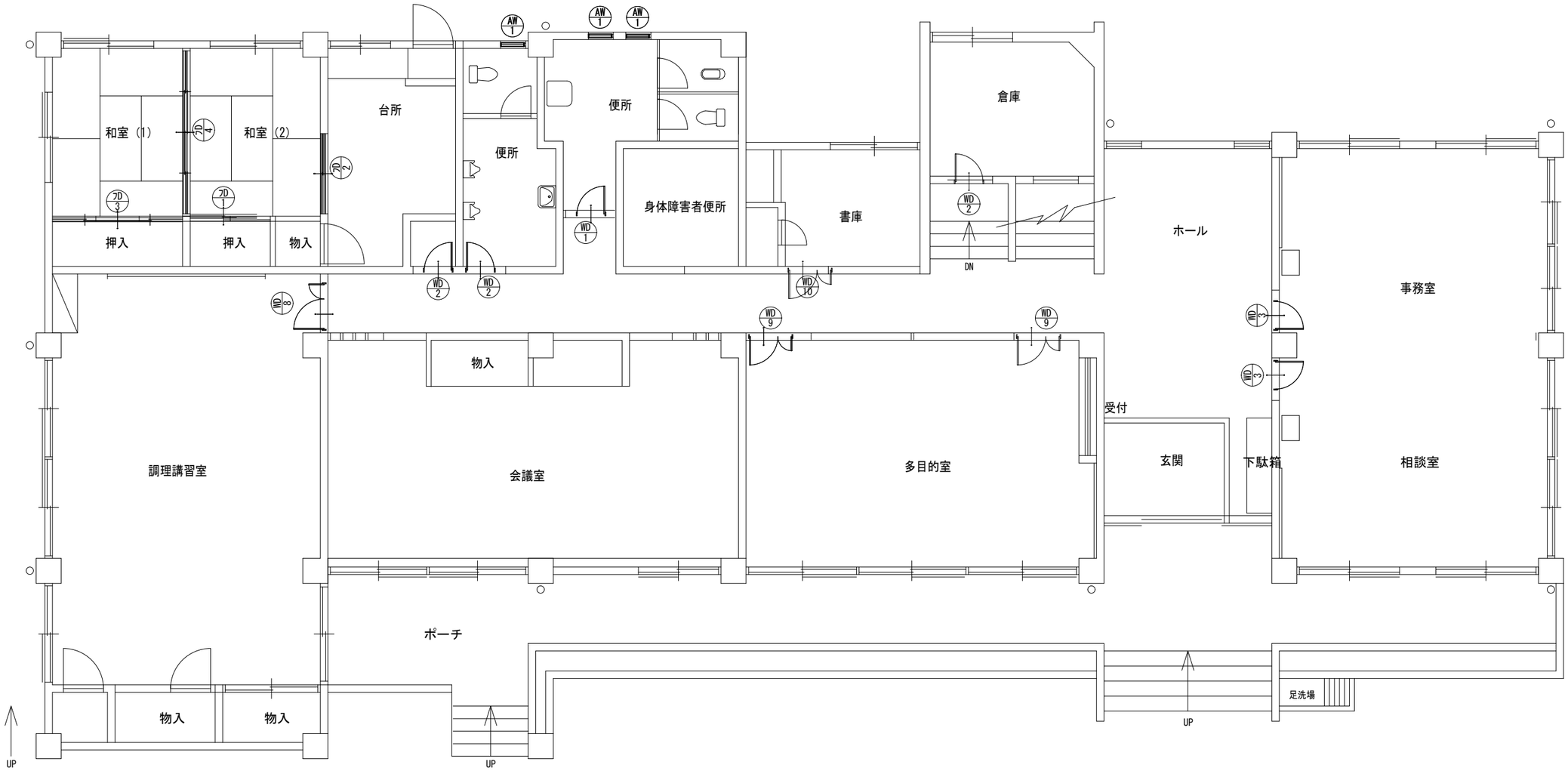
＊　押入天井：木下地の上ラワン合板貼り（T＝4.0）

2階　天井伏図　S:1/200

補修工事概要（内部）

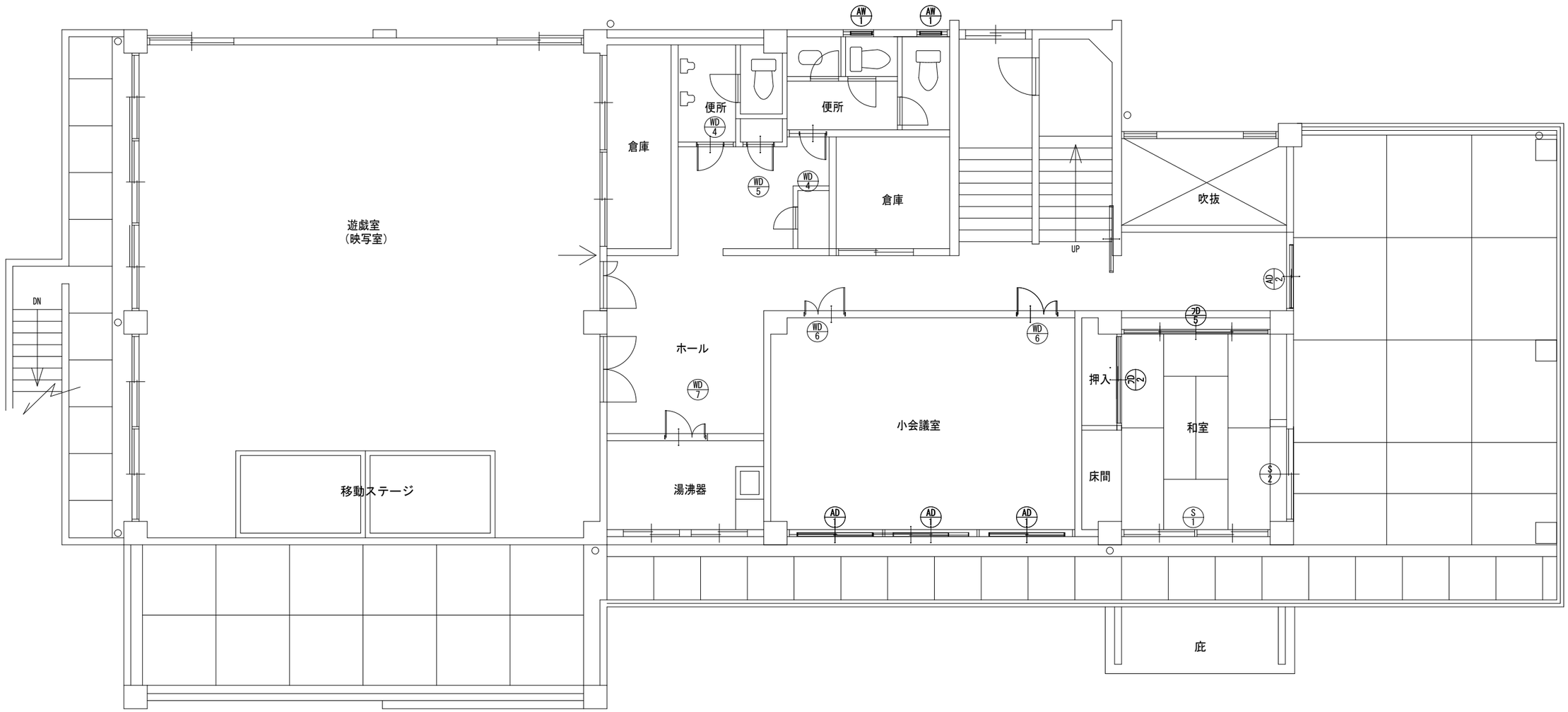
①	床：畳撤去処分後新畳新設	⑥	天井：既存撤去処分後化粧石膏ボード（和風調）張り	⑪	木建具：既存建具撤去の上ドア新設（1200・800×2000）	⑯	木建具：既存襖撤去の上襖新設
②	床：既存床Pタイル撤去処分ビニル床シート（t＝2.0）貼	⑦	天井：既存撤去、ジプトーン張り新設	⑫	木建具：既存襖の襖張替・障子紙張替	⑰	カーテン：既存カーテン・レース取れ替え（防煙性能）
③	床：Pタイル撤去処分の上、タイルカーペット新設	⑧	床スロープ：ポータブルスロープ新設（アルミ製680×1250）	⑬	調理台：既存調理台撤去後調理台新設	⑱	掲示板：既存掲示板撤去新設（W＝4.000×H＝1.200）
④	壁：下地撤去後、内装厚塗材セメンコトスタッコ仕上げ	⑨	床：床点検口取替新設	⑭	黒板：既存黒板撤去後ホワイトボード（W＝2.700×H＝1.200）		
⑤	壁：下地処理後、薄付け仕上塗装Eスキン仕上げ	⑩	アルミ建具：既存サッシｶﾊﾞｰ工法新設	⑮	棚：木製棚解体撤去		

工事名 嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名 2階 天井伏図	図面NO A-09
備考	福岡県嘉麻市上西郷　244-3 TEL ・FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　1/200	



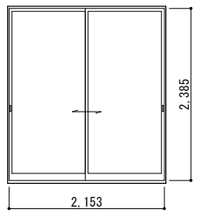
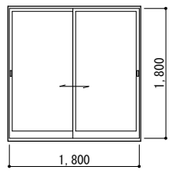
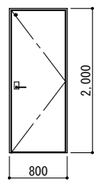
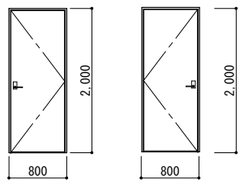
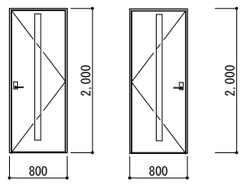
1階　建具配置図　S:1/125

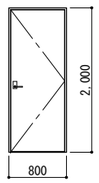
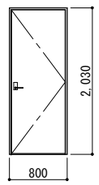
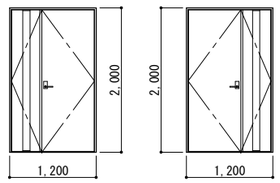
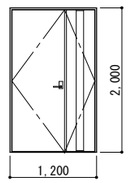
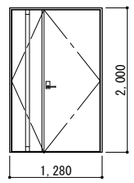
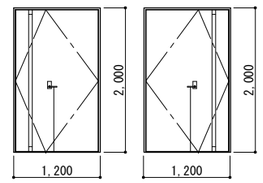
工事名 嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名 1階 建具配置図	図面NO A-10
備考	福岡県嘉麻市上西郷　244-3 TEL ・FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　1/125	

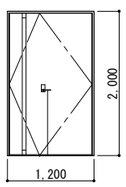
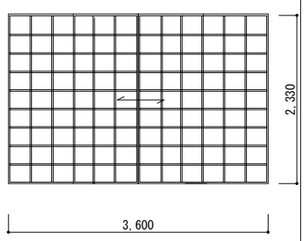
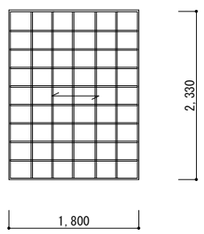
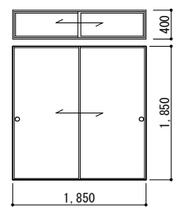
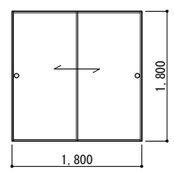
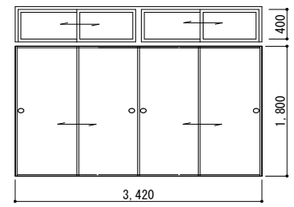


2階 建具配置図 S:1/125

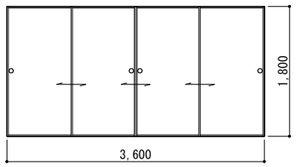
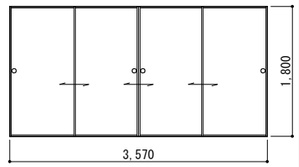
工事名 嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士 大臣 207655 松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名 2階 建具配置図	図面NO A-11
備考	福岡県嘉麻市上西郷 244-3 TEL ・FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺 1/125	

記号	AD 1 3ヶ所	AD 2 1ヶ所	AW 1 5ヶ所	WD 1 1ヶ所	WD 2 3ヶ所	WD 3 2ヶ所
姿図					 2ヶ所 1ヶ所	
部屋名	2階小会議室	2階廊下～バルコニー	1・2階便所	1階女子便所	1階男子・台所・倉庫	1階　事務所・相談室
型式	2枚引違い(半外)	2枚引違い(半外)	倒し(半外)	片開(内芯)	片開(内芯)	片開(内芯)
材質	ｱﾙﾐ製	ｱﾙﾐ製	ｱﾙﾐ製	木製	木製	木製
見込	70	70	70	190	190	190
仕上	複合被膜標準品	複合被膜標準品	複合被膜標準品	エクルベージュ	エクルベージュ	エクルベージュ
ガラス	強化ガラス　T=6	強化ガラス　T=6	FL=4			
金物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式、網戸	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備考	ｶﾊﾞｰ工法	ｶﾊﾞｰ工法	ｶﾊﾞｰ工法			

記号	WD 4 2ヶ所	WD 5 1ヶ所	WD 6 2ヶ所	WD 7 1ヶ所	WD 8 1ヶ所	WD 9 2ヶ所
姿図						
部屋名	2階便所	2階便所倉庫	2階小会議室	2階給湯室	1階　調理実習室	1階　会議室
型式	片開(内芯)	片開(内芯)	親子(内芯)	親子(内芯)		
材質	木製	木製	木製	木製	木製	木製
見込	190	190	190	190	190	190
仕上	エクルベージュ	エクルベージュ	エクルベージュ	エクルベージュ	エクルベージュ	エクルベージュ
ガラス						
金物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備考						

記号	WD 10 1ヶ所	S 1 1ヶ所	S 2 1ヶ所	2D 1 1ヶ所	2D 2 2ヶ所	2D 3 1ヶ所
姿図						
部屋名	1階　書庫	2階　和室	2階　和室	1階　和室 (2)	1階　和室　・２階押入れ	1階　和室 (1)
型式	親子(内芯)	４枚引き違い障子	2枚引き違い障子	2枚引違い(内芯)・天袋2枚引き違い	2枚引違い(内芯)	4枚引違い(内芯)・天袋２枚引き違い×2ヶ所
材質	木製	木製	木製	ふすま	戸ふすま・取替新設	ふすま
見込	190	40	40			
仕上	エクルベージュ	障子紙張替	障子紙張替	襖紙張替		襖紙張替
ガラス						
金物	附属金物一式					
備考						

工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面NO
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				建具表図面　(1)	A-12
備考	福岡県嘉麻市上西郷　244-3 TEL ・FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　1/85	

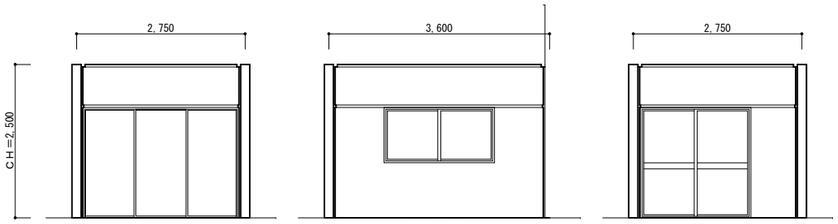
記号	7D/4 1ヶ所	7D/5 1ヶ所			
姿図					
部屋名	1階　和室（1）	2階　和室			
型式	4枚引違い(内芯)	4枚引違い(内芯)			
材質	ふすま	戸・ふすま取替新設			
見込					
仕上	襖紙張替				
ガラス					
金物	引手	引手			
備考					

記号						
姿図						
部屋名						
型式						
材質						
見込						
仕上						
ガラス						
金物						
備考						

記号						
姿図						
部屋名						
型式						
材質						
見込						
仕上						
ガラス						
金物						
備考						

工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面NO
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				建具表図面　（2）	A-13
備考	福岡県嘉麻市上西郷　244-3 TEL ・FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　1/85	

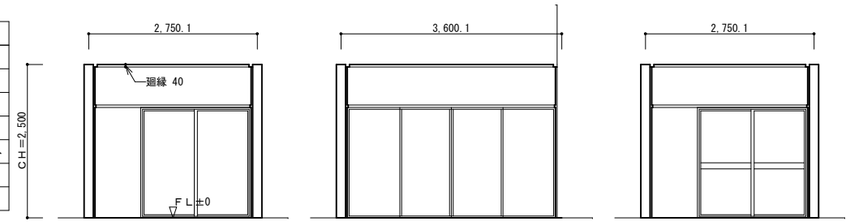
部屋名	改修前：和室（1）
床	畳中級品
巾木	畳寄せ
壁	プラスター塗
腰壁	
天井	杉柾敷目地天井 ラミネート
廻縁	木製
備考	



1面　2面　3面

和室

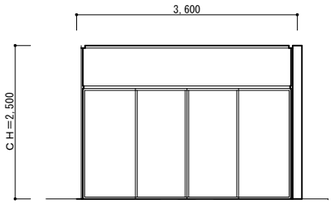
部屋名	改修前：和室（2）
床	畳中級品
巾木	畳寄せ
壁	プラスター塗
腰壁	
天井	杉柾敷目地天井 ラミネート
廻縁	木製
備考	



1面　2面　3面

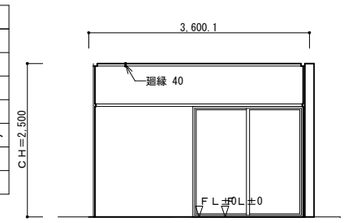
和室

部屋名	改修後：和室（1）
床	畳中級品
巾木	畳寄せ
壁	薄付け仕上げ塗装E
腰壁	薄付け仕上げ塗装E
天井	杉柾敷目地天井 ラミネート
廻縁	木製
備考	



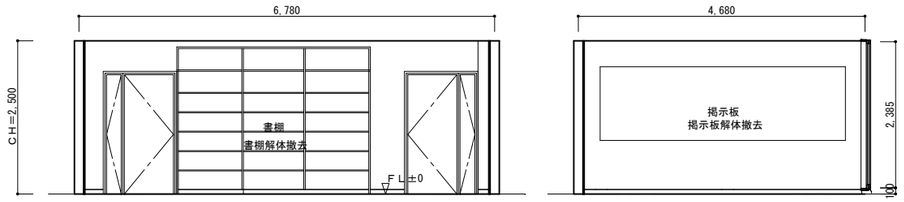
4面

部屋名	改修後：和室（2）
床	畳中級品
巾木	畳寄せ
壁	薄付け仕上げ塗装E
腰壁	薄付け仕上げ塗装E
天井	杉柾敷目地天井 ラミネート
廻縁	木製
備考	



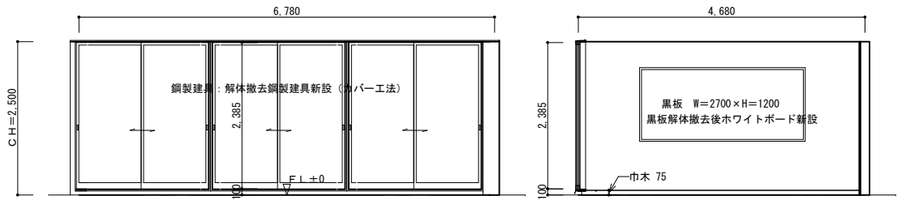
4面

部屋名	改修前：小会議室
床	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ ﾘﾉﾘｭｰﾑ
巾木	ｿﾌﾄ巾木　H=100
壁	ﾓﾙﾀﾙ塗AEP
腰壁	ﾓﾙﾀﾙ塗AEP
天井	化粧吸音板
廻縁	
備考	



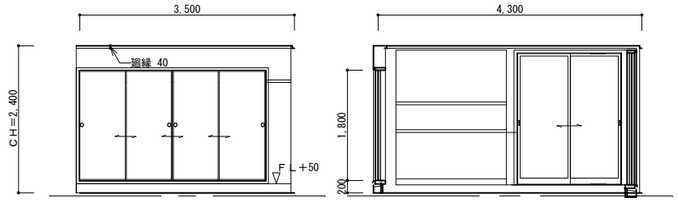
1面　2面

部屋名	改修後：小会議室
床	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ ﾘﾉﾘｭｰﾑ
巾木	ｿﾌﾄ巾木　H=100
壁	厚塗材セメントスタッコ仕上げ
腰壁	厚塗材セメントスタッコ仕上げ
天井	軽天下地化粧吸音板
廻縁	塩ビ制
備考	防煙カーテン新設



3面　4面

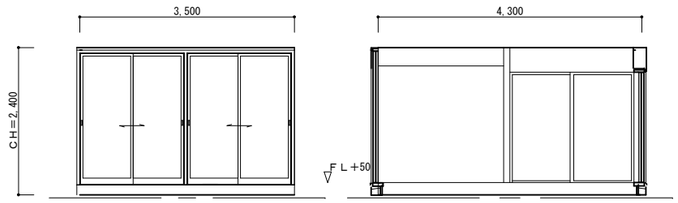
部屋名	改修前：和室
床	畳中級品
巾木	畳寄せ
壁	ジュラクサテン吹付
腰壁	ジュラクサテン吹付
天井	杉柾敷目地天井 銘木貼天
廻縁	木製
備考	



1面　2面

和室

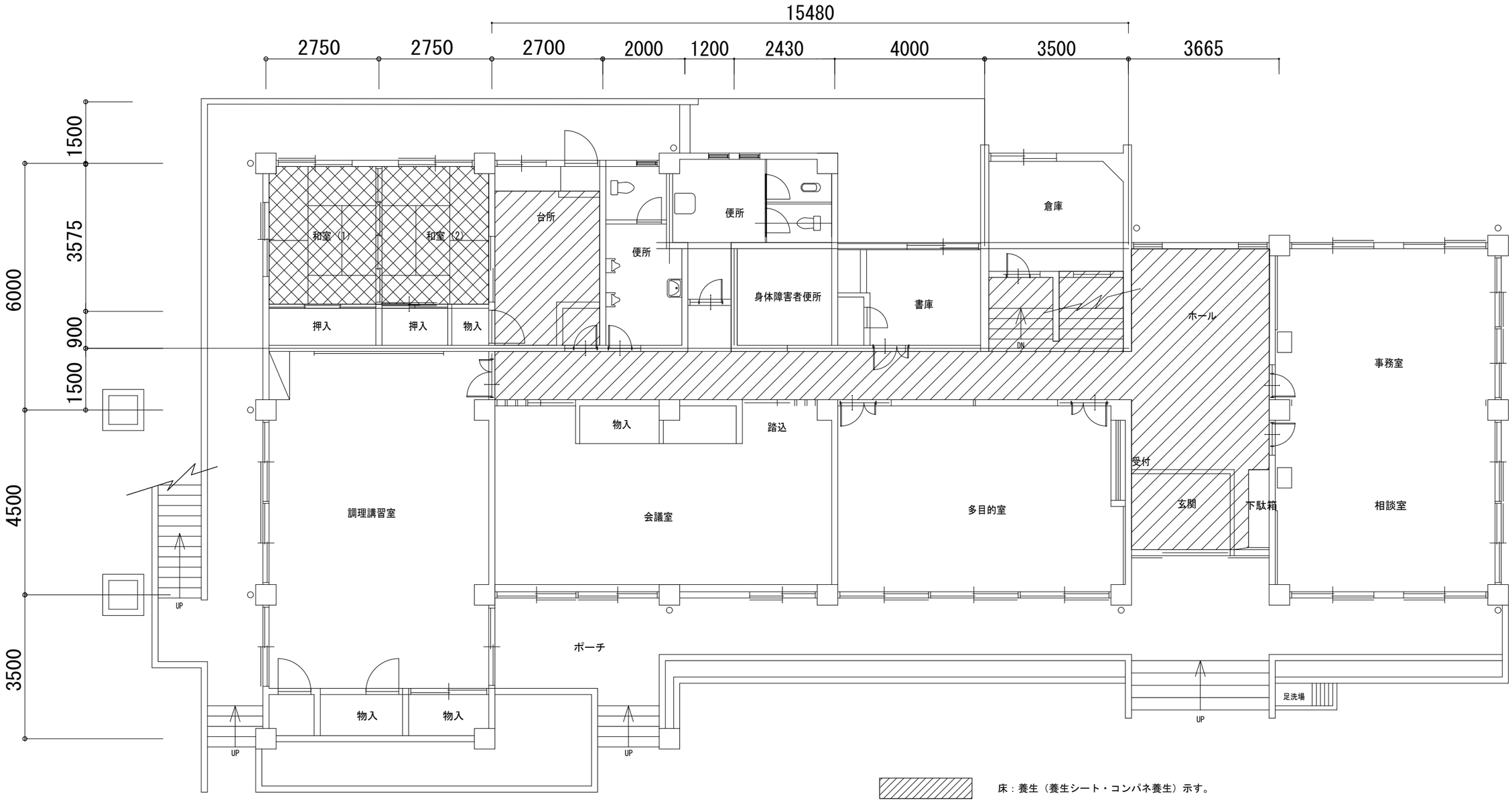
部屋名	改修後：和室
床	畳中級品 新設
巾木	畳寄せ 新設
壁	薄付け仕上げ塗装E
腰壁	薄付け仕上げ塗装E
天井	杉柾敷目地天井 銘木貼天
廻縁	木製
備考	



3面　4面

和室

工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面NO
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				展開図,	A-14
備考	福岡県嘉麻市上西郷　244-3	日付	日付	日付	縮尺　1/100	
	TEL ・FAX 0948-57-3887					

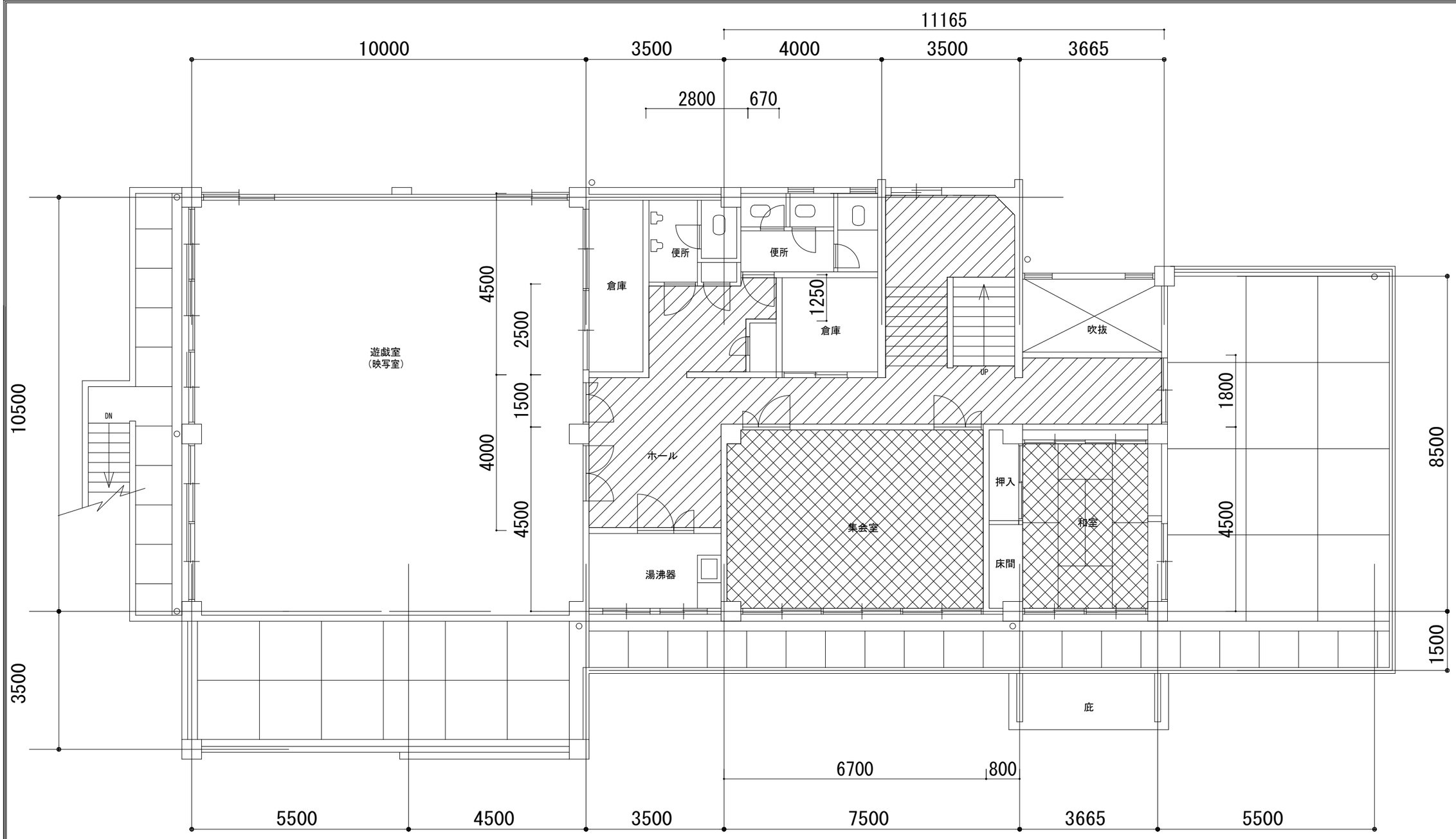


床：養生（養生シート・コンパネ養生）示す。

床：脚立足場（並列H＝900）示す。

3面　配置図　S:1/400

工事名	嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名	仮設計画図（1）	図面ＮＯ
備考		福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付		縮尺　1/100	A-15



床：養生（養生シート・コンパネ養生）示す。

床：脚立足場（並列H＝900）示す。

工事名	嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名	仮設計画図（2）	図面ＮＯ
備考		福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付		縮尺　1/100	A-16

嘉　麻　市　嘉　穂　隣　保　館　改　修　工　事

電気設備　工　事

図　面　リ　ス　ト

図面番号	図　面　名	縮　尺	図面番号	図　面　名	縮　尺
Ｅ－００	図面リスト				
Ｅ－０１	電気設備特記仕様書				
Ｅ－０２	照明姿図				
Ｅ－０３	照明改修１階平面図				
Ｅ－０４	照明改修２階平面図				
Ｅ－０５	照明撤去１階平面図				
Ｅ－０６	照明撤去２階平面図				
Ｅ－０７	配線器具１階改修平面図				
Ｅ－０８	配線器具２階改修平面図				
Ｅ－０９	空調・換気電気設備改修１階平面図				
Ｅ－１０	空調・換気電気設備改修２階平面図				
Ｅ－１１	１階調理台電気改修平面図				
Ｅ－１２	弱電機器１階改修平面図				
Ｅ－１３	弱電機器２階改修平面図				

工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				図面リスト	E-00
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3　TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　NoScale	

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ. 工 事 名 称　嘉麻市嘉穂隣保館改修（電気設備）工事

Ⅱ. 工 事 概 要

1. 総合発注の有無

2. 工 事 場 所　福岡県嘉麻市大隈町722

3. 建 物 概 要

建物名称	構造	階数	延面積（m^2）	防火対象物の種別	備考
嘉穂隣保館	ＲＣ造	2階			

4. 工 事 種 目（○印を付けたものを適用する）

工事種目 ＼ 建物別	工事種別				
	嘉穂隣保館				備考
⊙電灯設備	改修　一式	一式	一式		
⊙動力設備	改修　一式	一式	一式		
・避雷設備	一式	一式	一式		
・受変電設備	一式	一式	一式		
・静止形電源設備	一式	一式	一式		
・発電設備	一式	一式	一式		
○構内情報通信網設備	改修　一式	一式	一式		
・構内交換設備	一式	一式	一式		
・情報表示設備	一式	一式	一式		
・映像　音響設備	一式	一式	一式		
○拡声設備	改修　一式	一式	一式		
・誘導支援設備	一式	一式	一式		
・呼出し設備	一式	一式	一式		
⊙テレビ共同受信設備	一式	一式	一式		
・防犯設備	一式	一式	一式		
○自動火災報知設備	改修　一式	一式	一式		
・中央監視制御設備	一式	一式	一式		
・遠隔量水器設備	一式	一式	一式		
・	一式	一式	一式		
・	一式	一式	一式		
・構内配電線路	一式	一式	一式		
・構内通信線路	一式	一式	一式		
・	一式	一式	一式		
・	一式	一式	一式		

Ⅲ 工 事 仕 様

1. 共 通 仕 様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の電気設備工事共通（標準）仕様書（平成２８年版）　電気設備改修工事共通（標準）仕様書（平成２８年版）　電気設備工事標準図（平成２８年版）・電気設備工事監理指針（平成２８年版）　国土交通省住宅局住宅総合整備課監修の公共住宅建設工事共通仕様書（平成２８年度版）

2. 特 記 仕 様

(1) 項目は、○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の ついたものを適用する。

項目	特記事項
①機材	この工事に使用する機材は、 監督職員 の承諾を受ける。 なお、材料及び製品については、 地域産材の使用に努めること。
②電気工作物	⊙ 一般用電気工作物　・ 事業用電気工作物
3. 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、 電気保安技術者を置くものとする。
④施工従事者	法令で定める電気工事士とする。
⑤官公署その他への手続	本工事に必要な官公署その他の関係機関への諸手続等は請負者の負担にて速やかに行い、その検査に合格すること。
⑥工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力（仮設電力及び試運転調整用電力等を含む）・水及び諸手続等の費用は、すべて請負者の負担とする。
⑦発生材の処理等	建設副産物の処理は「表１　施工区分表」による。
8. 残土処分	・ 構内指示の場所に敷均し　・ 構内指示の場所に堆積　・ 構外搬出適切処理
⑨工事写真	建設大臣官房官庁営繕部監修の工事写真の撮り方（改訂第２版）による。
⑩完成図等	完成図等は、請負者の負担において指定の記録媒体に記録する。
⑪他工事との取合い	⊙ 施工区分表による　・ 図面詳細による
⑫工事実績情報の登録（工事カルテ）	請負者は、工事請負額が500 万円以上の工事について、受注時は契約後 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10 日以内に、竣工時は竣工後 10 日以内に、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、 「工事カルテ」 を作成し、福岡県建築都市部建築都市管理課契約係係員の確認を受けた後に、(財)日本建設情報総合センター(JACIC)にフロッピーディスクにより提出しなければならない。また、(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督職員及び建築都市管理課契約係に提出しなければならない。ただし、工事請負額が 500 万円以上 2,500 万円未満の工事については、受注時の登録手続きのみでよい。 問い合わせ先 〒812－0016福岡市博多区博多駅南1-3-11　博多南ビル 8 階 (財)日本建設情報総合センター　九州地方センター TEL　092-411-3473　FAX　092-411-3486
⑬再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃並びに絶縁抵抗測定を行った後、取り付けること。 但し、絶縁劣化等使用に耐えない場合は、監督職員に報告すること。
⑭ＥＭケーブル	1) 本工事においては、次の電線類（ＥＭケーブル）の規格を追加する。

呼称	規格		名称
ＥＭ－低圧電力用ケーブル	JCS	418B 600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平型	EM-EEF
ＥＭ－制御用ケーブル	JCS	419 制御用耐燃性ポリエチレンシースケーブル	EM-CEE-S
ＥＭ－屋内用通信電線	JCS C	72 準拠 耐燃性ポリエチレン絶縁屋内用平型通信電線	EM-TIEF
	JCS C	74 ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシース屋内用通信電線	EM-TIEE
ＥＭ－通信用構内ケーブル	JCS C	耐燃性ポリエチレンシース通信用構内ケーブル	EM-TKEE
ＥＭ－屋内用ボタン電話ケーブル	JCS C	耐燃性ポリエチレンシース屋内用ボタン電話ケーブル	EM-BTIEE
ＥＭ－通信ケーブル	JCS C	着色識別耐燃性ポリエチレンシースケーブル	EM-CCP-P
	JCS C	市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル	EM-CPEE
	JCS C	着色識別ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル	EM-FCPEE
ＥＭ－高周波同軸ケーブル	JCS	4 耐燃性ポリエチレンシース高周波同軸ケーブル	ＥＭ－ΔＣ－２Ｅ
ＥＭ－テレビジョン受信用同軸ケーブル	JCS	423 テレビジョン受信用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシース同軸ケーブル	EM－Ｓ－ΔＣ－ＦＢ
	JCS	381 準拠 テレビジョン受信用発泡ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシース同軸ケーブル	ＥＭ－ΔＣ－ＦＢ
ＥＭ－ＵＴＰケーブル	TIA/EIA	568A 準拠 ＵＴＰケーブル （耐燃性ポリエチレンシース）	EM-UTP
ＥＭ－マイクロホン用コード	JCS	271 マイクロホン用耐燃性ポリエチレンコード	EM-MEE-S
ＥＭ－警報用ケーブル	JCS	396 警報用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル	EM-AE
ＥＭ－耐火ケーブル	平成９年消防庁告示第１０号	６００Ｖ耐火ケーブル（耐燃性ポリエチレンシース）	EM-FP
	平成９年消防庁告示第１０号	６．６ｋＶ耐火ケーブル（耐燃性ポリエチレンシース）	
ＥＭ－耐熱電線	平成９年消防庁告示第１１号	小勢力回路用耐熱電線（耐燃性ポリエチレンシース）	EM-HP

2) ＥＭケーブルの配線にあたっては、その材質の特性を充分理解のうえ施工を行うこと。

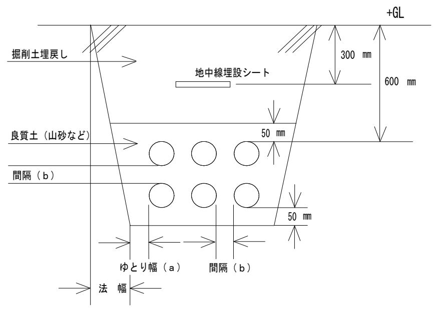
3) シースをはぎ取った後の絶縁体に、直射日光又は紫外線が当たるおそれのある場合は、黒色テープ又は収縮チューブ等で保護するか、ＪＣＭＡ技資第１３０号に適合したケーブルを使用するなど、適切な紫外線対策を行うこと。

4) ケーブルの他、テープ類等の「接続材料」や「ハンダ」等においても、ハロゲン及び鉛を含まない部材を使用すること。

項目	特記事項
⑮合成樹脂製可とう電線管	合成樹脂製可とう管（PF 管） の一重管とする。　なお、打込配管として使用する場合、原則として呼び径を２２までとする。
⑯プレートの材質	○ 金属製（防水形配線器具を除く）　・ 樹脂製（住戸内）
17. フロアプレート	ベースは、水平高低調整付　空転防止リング付　とする。　・ 砲金製　・ アルミ製
18. ハイテンション	・ 上下動形　・ 回転形　・ 外部固定形　・ 内部固定形
19. 蛍光灯器具	蛍光灯器具（誘導灯を除く）の安定器の回路方式は、図面に特記なき場合は下表による。 また、器具の選定に当たっては、グリーン購入法に適合したものを優先すること。

蛍光灯の種類		回路方式
環形		GH
直管形	15W　以下	GL
	20W（防雨形・防湿形及び電池内蔵非常用照明器具）	GL
	20W（上記以外のもの）及び　30W	GH
	40　及び　110W	RH
コンパクト形	１３・１８　及び　２７W	EL
	１６・２４・３２・３６・４２及び　５５W	PN
Ｈｆ形	16/22　及び　32/45（グレア対策・連続調光機器を除く）	PH

項目	特記事項
20. 露出配管の塗装	素地ごしらえの後、調合ペイント２回塗り　（・ 屋内　○ 屋外）
21. 呼び線	長さ1m 以上の入線しない電線管には電線太さ1.2mm 以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。
㉒表示	スイッチ・コンセント及びプルボックスで用途の判別し難いものは、表示する。 ハンドホール・マンホールの蓋は、中央に県章及び用途別に「電気」「電話」等と刻印する。
23. 地中線埋設シート	地下埋設の線路には、標識シートを　２倍長以上重ね合わせて布設するものとする。
24. 地中埋設標	電力用（矢指色：赤色）　・ 樹脂製　・ コンクリート製　⊙ 鉄製 通信用（矢指色：黄色）　・ 樹脂製　・ コンクリート製　⊙ 鉄製
25. 地中埋設配管（ＧＬ－６００の場合）	



・根切り深さが１．５ｍ未満の場合は直堀工法とし、１．５ｍ以上の場合には法付工法とする。

法付工法の法幅は、根切り深さに０．３を乗じたものとする。

・床堀幅は、埋設管類などの外径（底面）の寸法にゆとり幅×２を加えたものとする。

ゆとり幅（ａ）及び埋設管相互の間隔（ｂ）は、下表を参照のこと。

ゆとり幅（ａ）	根切り深さ 1ｍ未満	根切り深さ 1以上1．5ｍ未満	根切り深さ 1．5ｍ以上
地中電線管類	0.2m	0.4m	0.3m
地下埋設物	0.5m	0.5m	0.5m

埋設管の呼び径	間隔（ｂ）（左右・上下）
５０以下	50mm
１５０ 〃	70mm
２００ 〃	100mm

強電配線・弱電配線・その他配管等について、定められた離隔を考慮すること。

26. 接地極

接地極の材料は下表による。 接地極の近くに接地極 埋設標90 ×140 ×（1.5t 黄銅製・刻印）を設置すること。なお、接地棒ＥＢ（14 ）φの長さは1,500mm 以上とし、10 φ・14 φは、W=40として差し支えない。

接地の種別		記号	接地抵抗値	接地極
・	共同	Ａ・Ｃ・Ｄ	Ω以下	
・	共同	ＥA・D	Ω以下	
・	Ａ種	ＥＡ	10 Ω以下	
・	Ｂ種	ＥＢ	Ω以下	
・	Ｃ種	ＥＣ	10 Ω以下	EB(14) φ ×６(L=1,500mm)
・	Ｄ種	ＥＤ	100 Ω以下	EB(10) φ ×１(L=1,500mm)
・	避雷設備	ＥＬ	10 Ω以下	
・	高圧避雷器	ＥLH	10 Ω以下	
・	低圧避雷器	ＥLL	10 Ω以下	
・	交換機用	Ｅｔ	10 Ω以下	
・	通信用	ＥAt	10 Ω以下	
・	通信用	ＥCt	100 Ω以下	EB(10) φ ×１(L=1,500mm)
・	測定用	Ｅ０		EB(10) φ ×１(L=1,500mm)

避雷設備の接地抵抗値は、総合抵抗とする。

項目	特記事項
27. 構内交換設備工事範囲	本工事における構内交換設備の工事範囲は、以下のとおりとする。 ・ 構内交換装置　・ 電話機取付け（　台） ・ 配管配線まで本工事　・ 配管のみ本工事
28. 電話機への配線	電話機１台につき次のものを見込む。 ・ＴＩＶＦ(TIVE)　０．６５－2Ｃ　・ EM－TIEF(TIEE)　０．６５m2Ｃ ・ ＥＢＴ 0.4-2P　m　・ EM－BTIEE 0.4-2P　m ・ ２号ワイヤプロテクタ　m
29. 構内情報通信網設備工事範囲	本工事における構内情報通信網設備の工事範囲は、以下のとおりとする。 ・ 構内情報通信網装置　・ ネットワーク管理装置　・ 配管配線まで本工事 ・ 配管のみ本工事
30. 機器と配線の接続	拡声設備において、増幅器などの入出力路と配線との接続は、コネクタなどを取付けて行うこと。
31. インターロック	自動火災報知設備において、感知器が作動した場合に受信機及び連動制御機と連動して空調機並びに送排風機を停止させる。
32. ガス漏れ警報装置受信機	・ 単独（　・ 自立形　・ 壁掛形）
33. ガス漏れ警報装置検知器	・ 液化石油ガス用　・ 都市ガス用
34. 防犯設備工事範囲	・ 配管のみ本工事　・ 機器取付調整まで本工事
35. その他	

建設副産物の処理について

資源の有効利用・環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制・再利用適正処理を推進する。

現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別し指定された場所へ集積すること。

また、施工区分表に積込み・運搬・処分までの指示がある工事については、現場内に分別保管場所（他業者の分別したものを含む）を設置するとともに、「再生資源の利用の促進に関する法律」・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。

工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。

指定副産物 （原則として、再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物
・がれき類 （コンクリート塊） （アスファルト コンクリート塊） ・木くず ・建設発生土 ・汚泥	・廃プラスチック ・ガラス・陶磁器くず ・廃石こうボード ・金属くず ・繊維くず

特別管理産業廃棄物

・廃石綿等

「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」（環境省大気保全局）に従い、収集・運搬・処分を行うこと。

・廃ＰＣＢ等

「電気事業法：電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・届出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※ 参考受入場所は、現場説明書による。

表１　施工区分表（該当するものに○印をつける。）

工事内容	建築	電気	機械	別途	備考
建設副産物の処理について					
現場内における分別		●			
現場内分別保管場所の設置		●			
現場内分別保管場所までの運搬		●			
分別保管場所からの積込み・運搬・処分		●			
「建設副産物の処置計画書」の作成		●			
「建設副産物の処理結果報告書」の作成		●			
「再生資源利用計画書」の作成					
「再生資源利用実施書」の作成					

工事名	嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名	電気設備特記仕様書	図面ＮＯ	E-01
備考		福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付		縮尺　1/100（Ａ2）		

A　ｉＤシリーズ直付型４０形　Ｄスタイル　Ｗ１５０

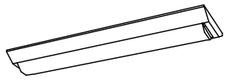
2階踊り場　×　1

一般タイプ、２５００ｌｍタイプ
消費電力１６．３Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　直付ＸＦＸ４２０ＡＥＮＬＥ９

B　ｉＤシリーズ直付型２０形　Ｄスタイル　Ｗ１５０

3階踊り場　×　1



一般タイプ、１６００ｌｍタイプ
消費電力１１．６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　直付ＸＦＸ２１０ＡＥＮＬＥ９

C　ｉＤシリーズ直付型４０形　Ｄスタイル　Ｗ２３０

小会議室　×　6
湯沸室　×　1

一般タイプ、５２００ｌｍタイプ
消費電力３１．９Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　直付ＸＦＸ４５０ＤＥＮＬＥ９

D　ｉＤシリーズ直付型２０形　Ｄスタイル　Ｗ２３０

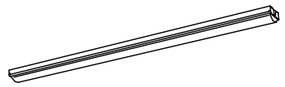
1Ｆ台所　×　2

一般タイプ、３２００ｌｍタイプ
消費電力２０．１Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　直付ＸＦＸ２３０ＤＥＮＬＥ９

E　ｉＤシリーズ直付型４０形　ｉスタイル

1Ｆ倉庫　×　1
1Ｆ書庫　×　1



一般タイプ、２５００ｌｍタイプ
消費電力１６．３Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　直付ＸＦＸ４２０ＮＥＮＬＥ９

F　ｉＤシリーズ直付型４０形　黒板灯

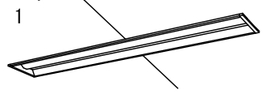
2Ｆ小会議室　×　1

集光プリズムタイプ・一般タイプ、３２００ｌｍタイプ
消費電力２０．６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（プリズム）
光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　直付ＸＦＸ４３０ＢＳＮＬＥ９

G　ｉＤシリーズ埋込型４０形　下面開放型　Ｗ１９０

1Ｆ男子トイレ　×　1
1Ｆ女子トイレ　×　1
2Ｆ女子トイレ　×　1
2Ｆ手洗い　×　1
2Ｆ倉庫　×　1

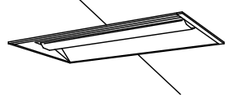


一般タイプ、２５００ｌｍタイプ
消費電力１６．６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　埋込ＸＦＸ４２０ＲＥＮＬＥ９

H　ｉＤシリーズ埋込型２０形　下面開放型　Ｗ３００

1Ｆ身障者トイレ　×　1
2Ｆ男子トイレ　×　1
2Ｆ書庫　×　1

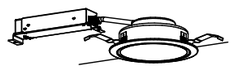


一般タイプ、３２００ｌｍタイプ
消費電力２０．１Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　埋込ＸＦＸ２３０ＶＥＮＬＥ９

I　ダウンライト　６０形

1Ｆ女子トイレ　×　1
1Ｆ廊下　×　1



ＬＥＤ内蔵くワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
５０００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ
光源遮光角１５度、光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
器具光束：６１５ｌｍ、消費電力：４．２Ｗ、電圧：１００－２４２Ｖ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１５０

パナソニック　ダウンライトＸＮＤ０６６９ＷＮＬＥ９

J　シーリングライト

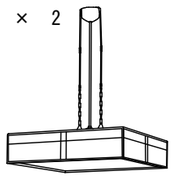
2Ｆ和室　×　1

昼光色（６５００Ｋ）、Ｒａ８３／電球色（２７００Ｋ）、Ｒａ８３
器具光束３８００ｌｍ、消費電力３２Ｗ、電圧１００Ｖ
ＬＥＤ内蔵、電源ユニット内蔵、回転金具方式、カチットＦ
光源寿命４００００時間（光束維持率７０％）
下面パネル：アクリル（乳白つや消し）
側面強化和紙張り、木製（白木）
リモコンで（１００％～５％）調光、専用リモコン送信器同梱

パナソニック　ＬＧＣ３５８３１

K　ＬＥＤペンダント

1Ｆ和室　×　2



昼光色（６５００Ｋ）、Ｒａ８３／電球色（２７００Ｋ）、Ｒａ８３
器具光束３５００ｌｍ、消費電力３２Ｗ、電圧１００Ｖ
吊下型、引掛シーリング方式、丸型フランジ付
下面パネル：アクリル（乳白つや消し）
側面強化和紙張り
木製（白木）
リモコンで（１００％～５％）調光、専用リモコン送信器同梱

パナソニック　ＬＧＢＺ６２１０Ｋ

L　ＬＥＤペンダント

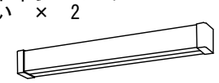
吹抜　×　2

ランプ別売（口金ＧＸ５３－１）
吊下型、半埋込タイプ
セード：ガラス（透明）
埋込穴φ７０

パナソニック　ＬＧＢ１５１０９

M　ＬＥＤブラケット　２０形直管蛍光灯１灯器具相当

1Ｆ男子トイレ　×　1
1Ｆ女子トイレ　×　1
2Ｆ手洗い　×　2



昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
器具光束１１００ｌｍ、消費電力１２Ｗ、電圧１００Ｖ
拡散タイプ、天井直付型・壁直付型
カバー：プラスチック（乳白）
両面化粧タイプ
Ｗ＝５８０　Ｈ＝６５　出しろ６４

パナソニック　ＬＧＢ８５０３２ＬＥ１

N　ＬＥＤウォールライト　２０形

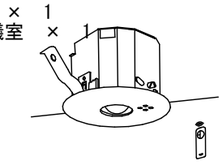
1Ｆ外灯　×　3
2Ｆ外灯　×　1

ＬＥＤ内蔵、電源ユニット内蔵
防湿型・防雨型
５０００Ｋ、Ｒａ８３、光束維持時間４００００時間（光束維持率８５％）
器具光束９９０ｌｍ、消費電力１０Ｗ、電圧１００～２４２Ｖ
本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白）
天井直付型・壁直付型、保護等級：ＩＰ２３

パナソニック　ＮＮＦＷ２１８００ＫＬＥ９

a　ＬＥＤ非常灯専用型リモコン自己点検機能付

2Ｆ和室　×　1
2Ｆ小会議室　×　1



φ１００低天井用（～３ｍ）、３０分間タイプ
ＬＥＤ内蔵、非常時・非常灯用ＬＥＤ点灯／常時消灯
非常灯評定番号：ＬＡＬＥ－００４
レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイトつや消し仕上）
電圧：１００～２４２Ｖ、蓄電池：ニッケル水素電池
点検スイッチ付、自己点検スイッチ付
充電モニタ（緑）付、リモコン：ＦＳＫ９０９１０Ｋ（別売）

パナソニック　ＮＮＦＢ９１６０５Ｃ

工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				照明姿図	E-02
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　1/100（A2）	

凡例	
	電灯分電盤(既設)
	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄLED照明器具
	直付LED照明器具
	埋込LED照明器具
●	LEDﾌﾞﾗｹｯﾄ(防水)
◎	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ
	直付LED照明器具
	誘導灯
●L	埋込ｽｲｯﾁ　片切
	埋込ｽｲｯﾁ　片切　ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ付
2	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2
□AD	自動ドア
	天井扇（機械設備・接続のみ本工事）
	天井扇（機械設備・接続のみ本工事）

※器具は既設配線に接続すること。

廊下
I ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ　× 1

男子便所
G 埋込照明　× 1
M ﾌﾞﾗｹｯﾄ　× 1

女子便所
G 埋込照明　× 1
M ﾌﾞﾗｹｯﾄ　× 1
I ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ　× 1

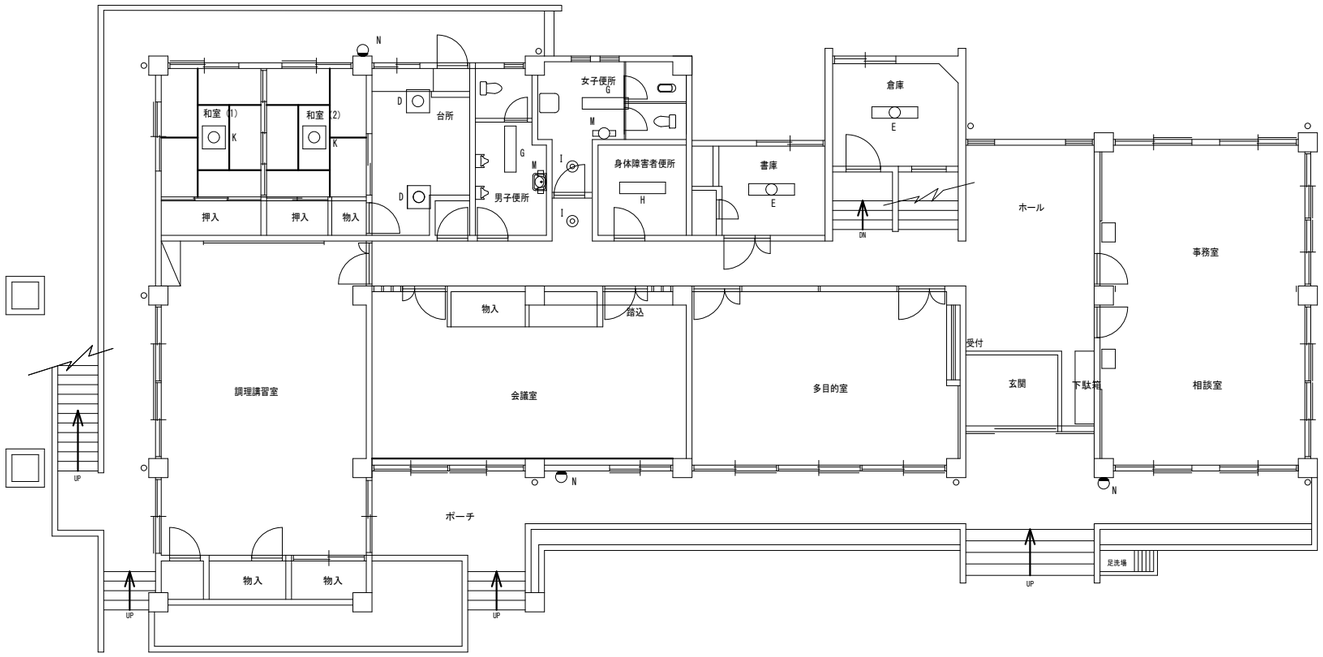
倉庫
E 直付照明　× 1

和室
K ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ　× 2

台所
D 直付照明　× 2

身障者便所
H 埋込照明　× 1

書庫
E 直付照明　× 1



外灯
N 防水型ﾌﾞﾗｹｯﾄ×3

工事名	嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名	照明改修１階平面図	図面ＮＯ
備考		福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付		縮尺　1/100(A2)	E-03

凡例	
	電灯分電盤(既設)
	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄLED照明器具
	直付LED照明器具
	埋込LED照明器具
	LEDﾌﾞﾗｹｯﾄ(防水)
○P	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ
	直付LED照明器具
	誘導灯
●L	埋込ｽｲｯﾁ　片切
	埋込ｽｲｯﾁ　片切　ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ付
2	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2
□AD	自動ドア
	天井扇（機械設備・接続のみ本工事）
	天井扇（機械設備・接続のみ本工事）

※器具は既設配線に接続すること。

女子便所
G 埋込照明　× 1

手洗い室
G 埋込照明　× 1
M ﾌﾞﾗｹｯﾄ　× 2

3階階段踊り場
B 直付照明　× 1

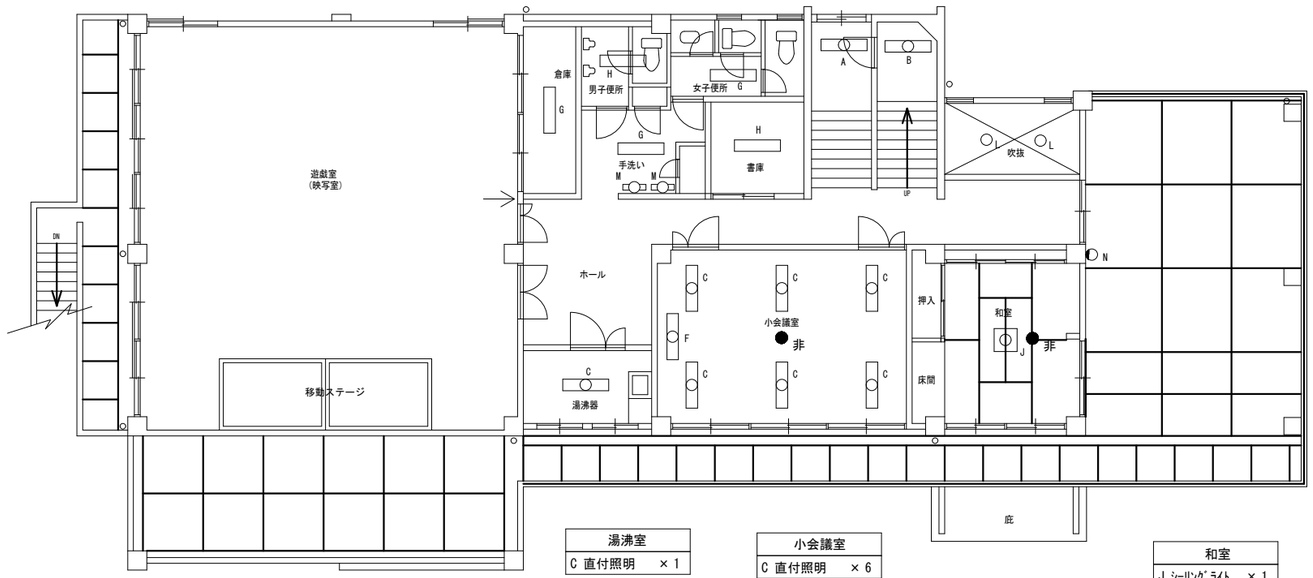
倉庫
G 埋込照明　× 1

男子便所
H 埋込照明　× 1

書庫
H 埋込照明　× 1

2階階段踊り場
A 直付照明　× 1

吹抜
L ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ　× 2



湯沸室
C 直付照明　× 1

小会議室
C 直付照明　× 6
F 直付照明　× 1
a 非常照明　× 1

和室
J ｼｰﾘﾝｸﾞﾗｲﾄ　× 1
a 非常照明　× 1

外灯
N 防水型ﾌﾞﾗｹｯﾄ×1

工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				照明改修２階平面図	E-04
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　1/100(A2)	

凡例	
	電灯分電盤(既設)
	照明器具
	照明器具
	埋込照明器具
	照明器具
	防水型ﾌﾞﾗｹｯﾄ
	照明器具
○ p	ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ

╳ ・・・撤去

※配線は既設流用とする。

廊下	
ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	× 1

男子便所	
埋込照明	× 1
ﾌﾞﾗｹｯﾄ	× 1

女子便所	
埋込照明	× 1
ﾌﾞﾗｹｯﾄ	× 1
ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	× 1

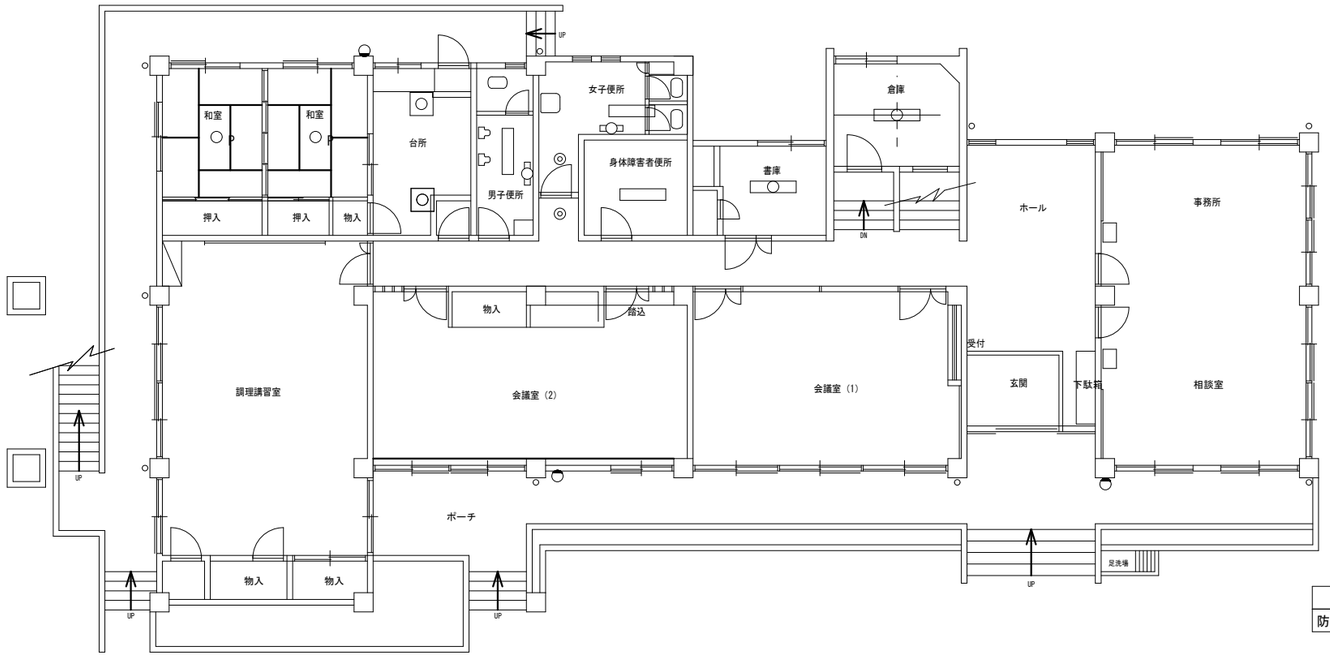
倉庫	
直付照明	× 1

和室	
ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ	× 2

台所	
直付照明	× 2

身障者便所	
埋込照明	× 1

書庫	
直付照明	× 1



外灯	
防水型ﾌﾞﾗｹｯﾄ	× 3

工事名	嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士 大臣 207655 松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名	照明撤去１階平面図	図面ＮＯ
備考		福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付		縮尺 1/100(A2)	E-05

凡例	
	電灯分電盤(既設)
	照明器具
	照明器具
	埋込照明器具
	照明器具
◎	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ
	照明器具
○ p	ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄﾗｲﾄ

╳ ・・・撤去

※配線は既設流用とする。

女子便所	
埋込照明	× 1

手洗い室	
埋込照明	× 1
ﾌﾞﾗｹｯﾄ	× 2

3階階段踊り場	
直付照明	× 1

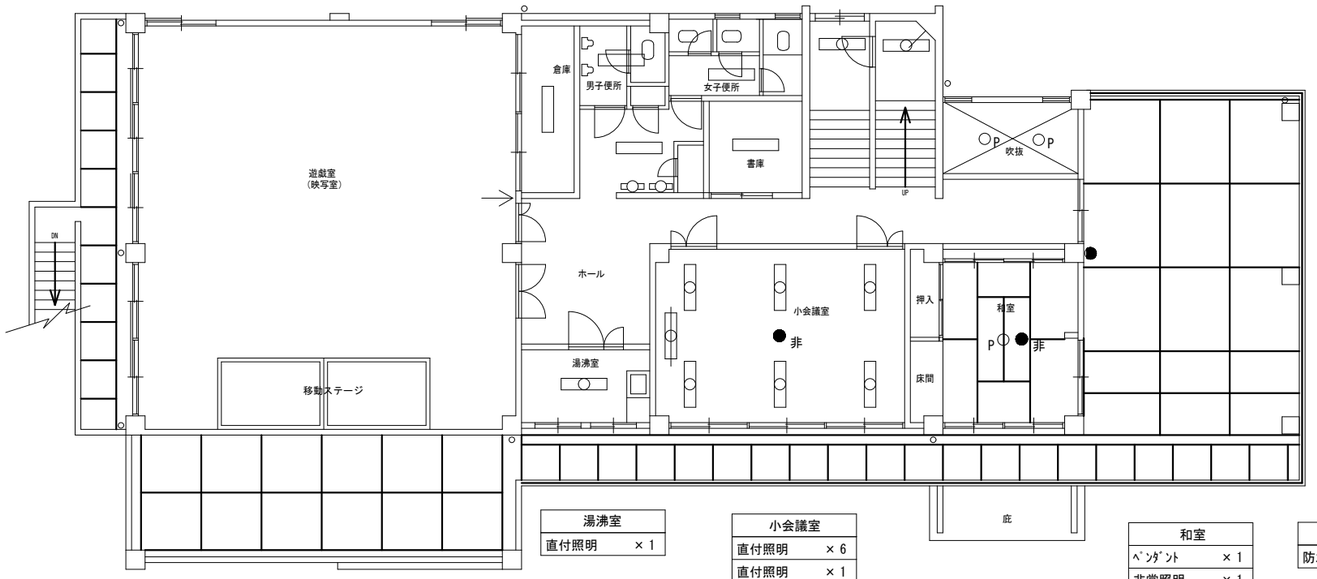
倉庫	
埋込照明	× 1

男子便所	
埋込照明	× 1

書庫	
埋込照明	× 1

2階階段踊り場	
直付照明	× 1

吹抜	
Lﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ	× 2



湯沸室	
直付照明	× 1

小会議室	
直付照明	× 6
直付照明	× 1
非常照明	× 1

和室	
ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ	× 1
非常照明	× 1

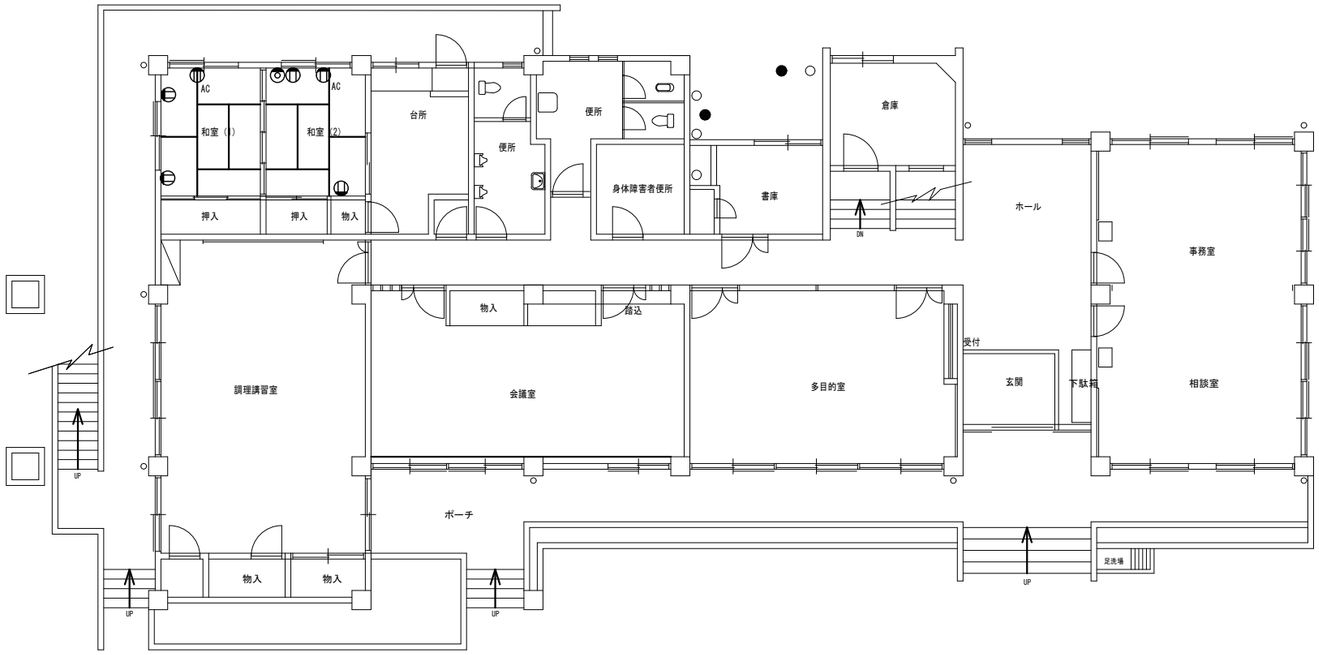
外灯	
防水型ﾌﾞﾗｹｯﾄ	× 1

工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				照明撤去２階平面図	E-06
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　1/100(A2)	

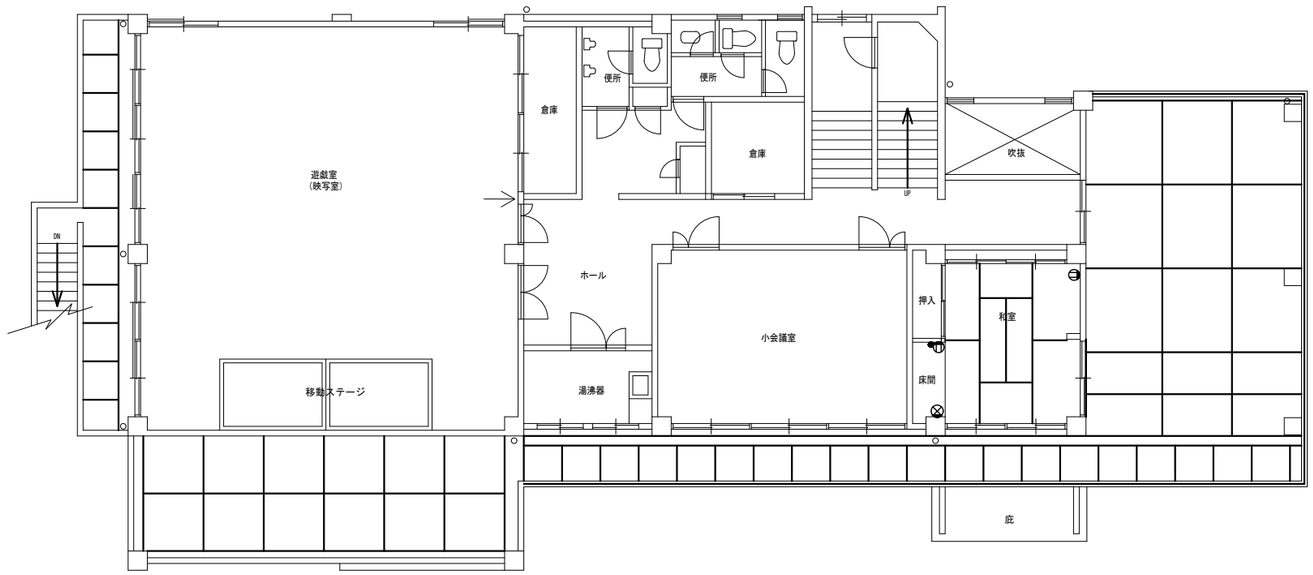
AC 天井面改修のため脱着のみ

壁面改修のため脱着のみ

壁面改修のためテレビ端子取替



工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				配線器具１階改修平面図	E-07
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　1/100（A2）	

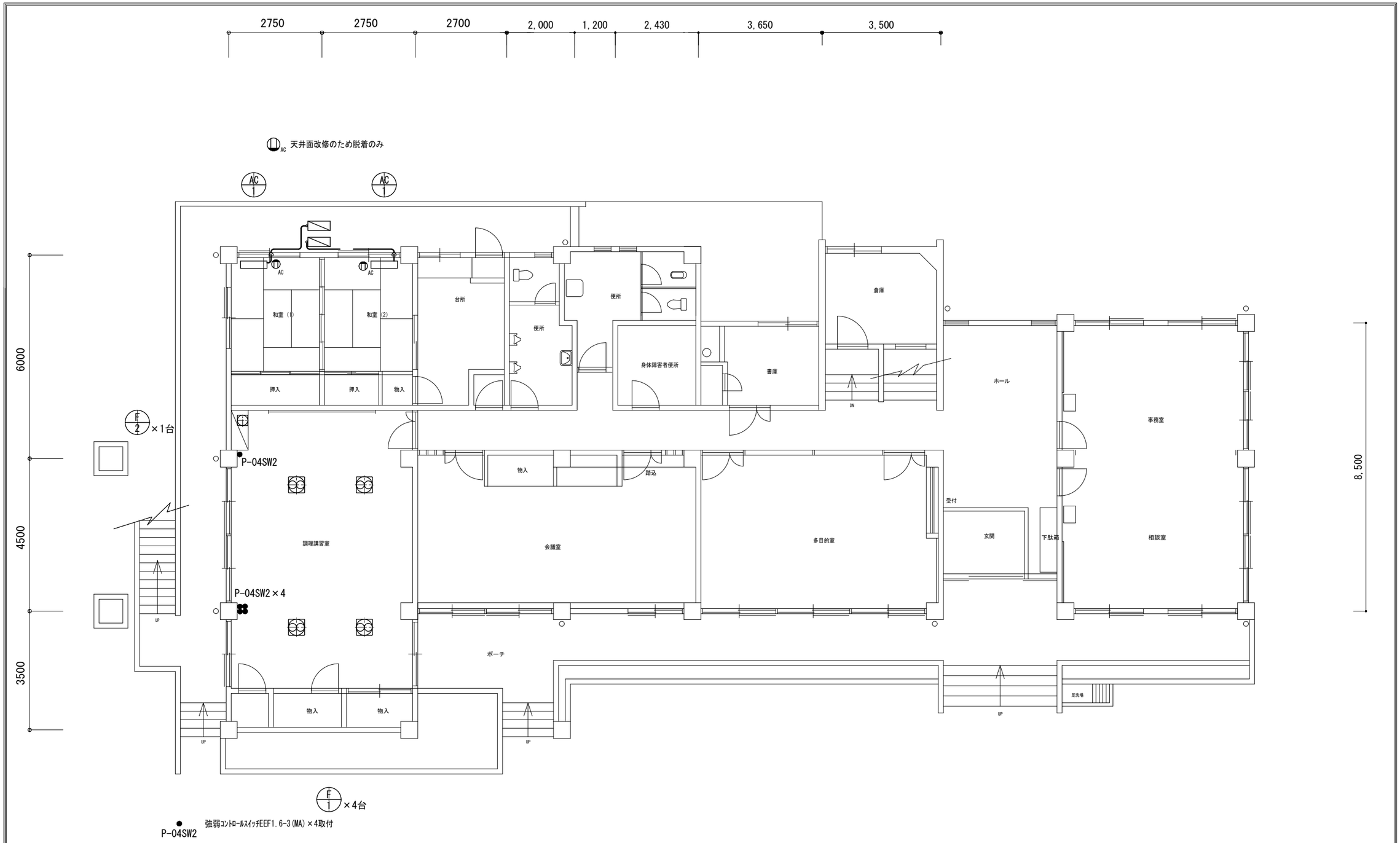


壁面改修のため脱着のみ

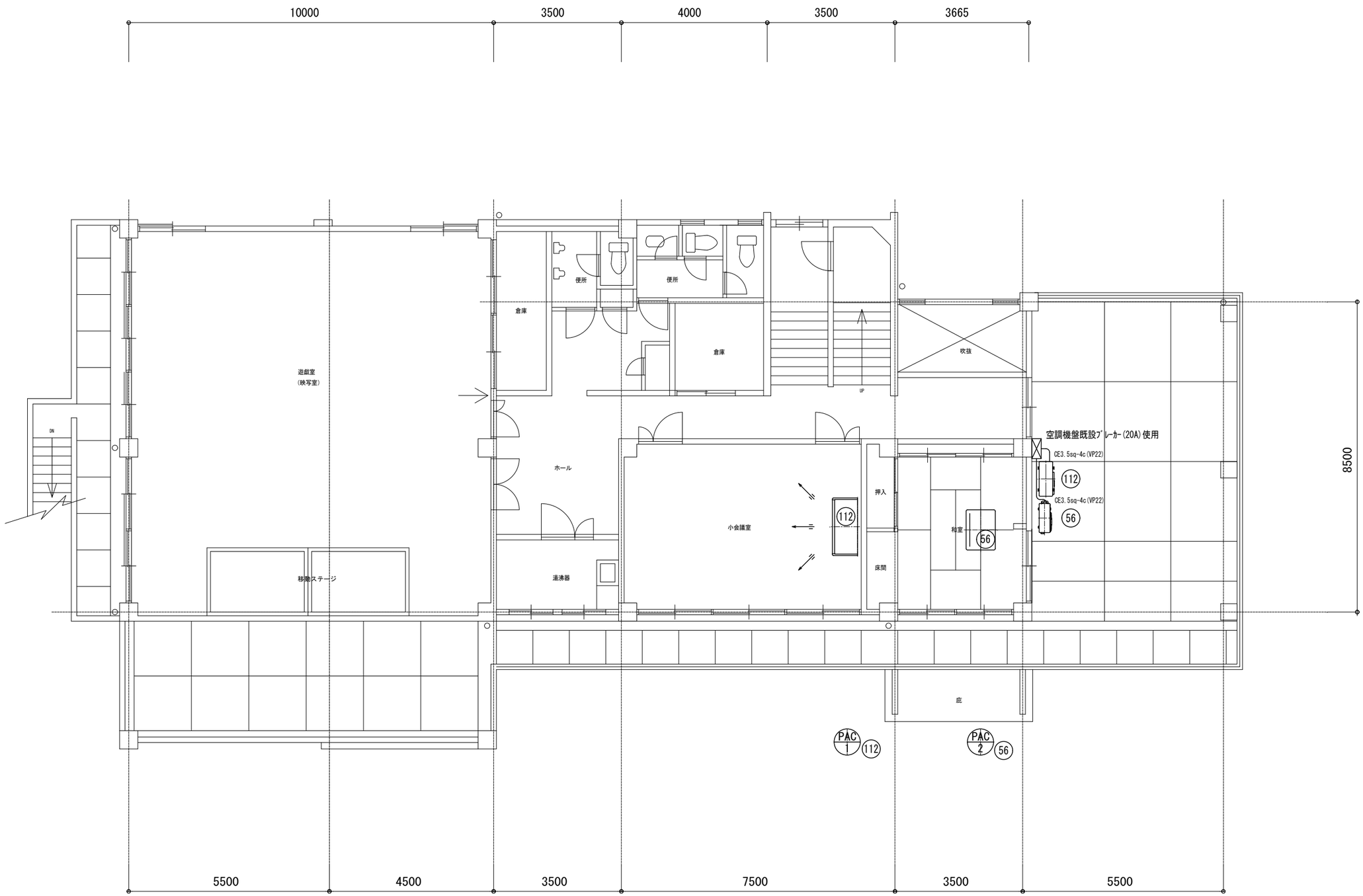
壁面改修のため脱着のみ

壁面改修のｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ取付

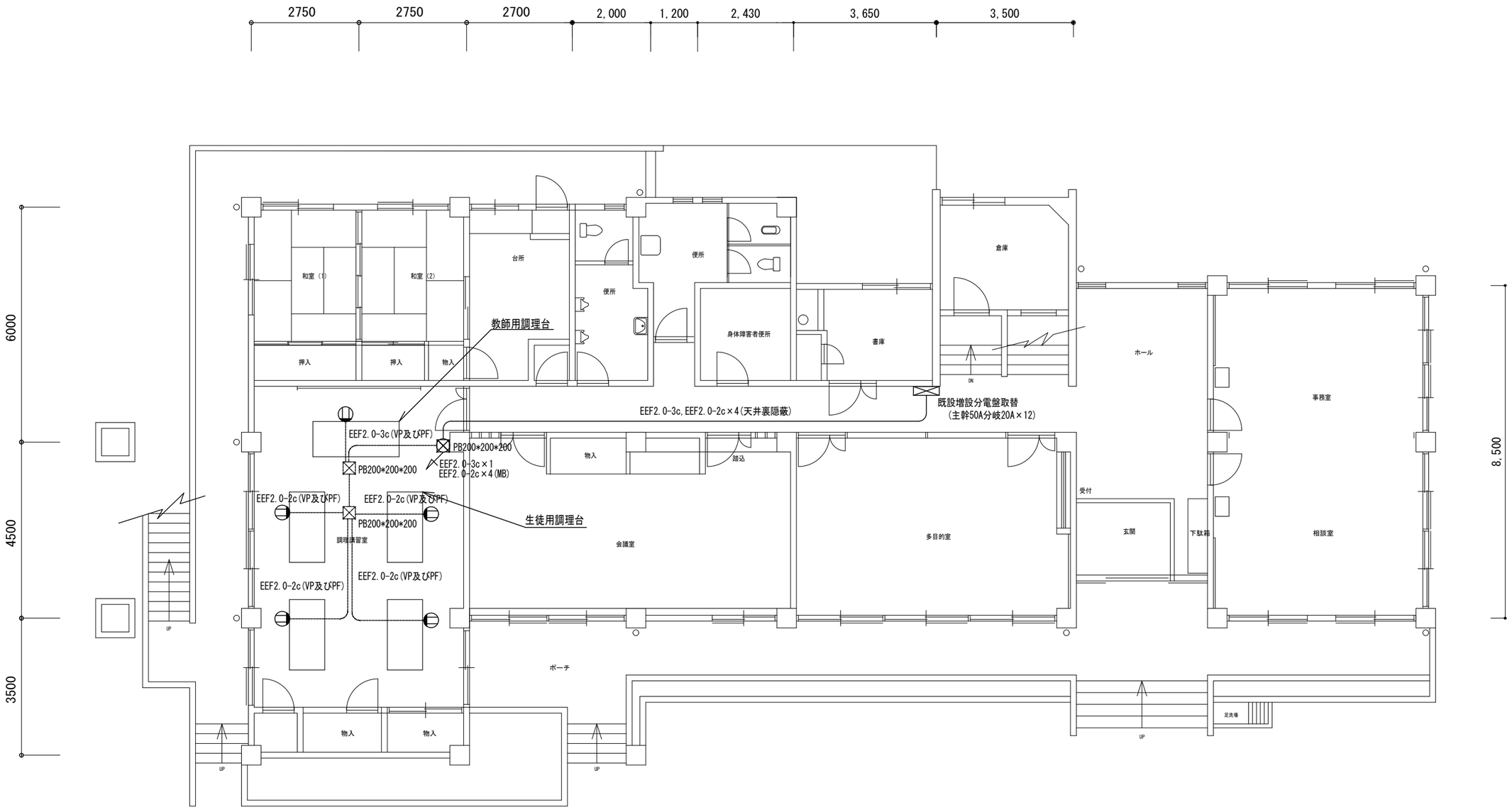
工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				配線器具２階改修平面図	E-08
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3	日付	日付	日付	縮尺　1/100（A2）	
	TEL ・FAX　0948-57-3887					



工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				空調・換気電気設備改修1階平面図	E-09
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　1/100(A3)	



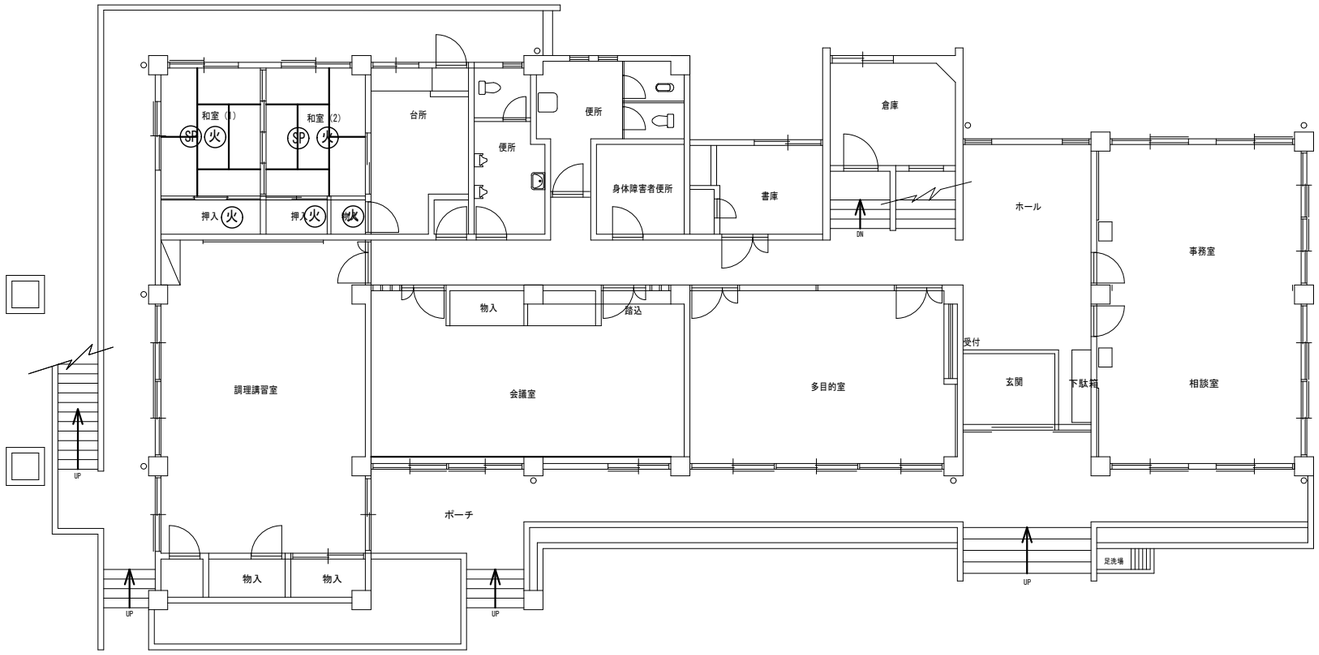
工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				空調・換気設備改修2階平面図	E-10
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3	日付	日付	日付	縮尺　1/100(Ａ3)	
	TEL ・FAX　0948-57-3887					



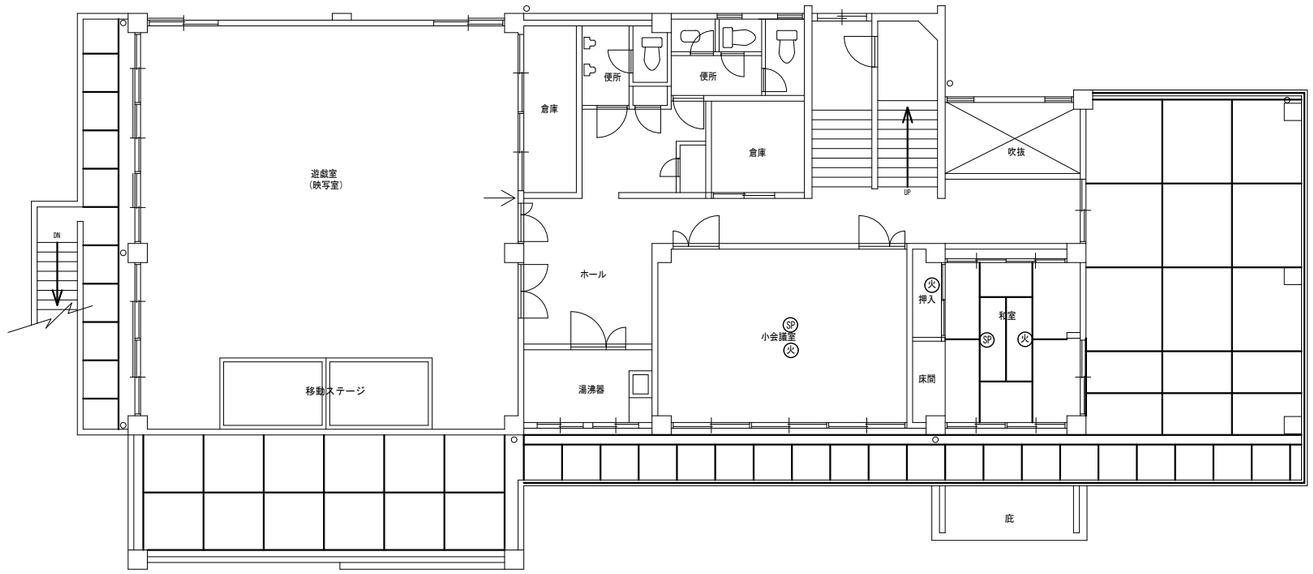
工事名	嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名	1階調理台電気改修平面図	図面ＮＯ
備考		福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付		縮尺　1/100(A3)	E-11

Ⓢ 天井改修のため脱着のみ

火 天井改修のため差動式感知器取替



工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				弱電機器１階改修平面図	E-12
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　1/100（A2）	



SP 天井改修のため脱着のみ

火 天井改修のため差動式感知器取替

工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				弱電機器２階改修平面図	E-13
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3	日付	日付	日付	縮尺　1/100（A2）	
	TEL ・FAX　0948-57-3887					

嘉　麻　市　嘉　穂　隣　保　館　改　修　工　事

機械設備　工　事

図　面　リ　ス　ト					
図面番号	図　面　名	縮　尺	図面番号	図　面　名	縮　尺
M－００	図面リスト				
M－０１	機械設備特記仕様書				
M－０２	空調・換気設備機器一覧表				
M－０３	空調・換気設備改修1階平面図				
M－０４	空調・換気設備改修2階平面図				
M－０５	1階調理室給排水設備平面図				
M－０６	2階便所便器改修平面図				
M－０７	調理実習台（指導者用）図				
M－０８	調理実習台（実習生用）図				
M－０９	ガス調理台図				
M－１０	空調・換気設備機器一覧表(撤去)				
M－１１	空調・換気設備改修1階平面図(撤去)				
M－１２	空調・換気設備改修2階平面図(撤去)				
M－１３	1階調理台改修平面図(撤去)				
M－１４	2階便器取替改修平面図(撤去)				
M－１５	１階調理室給排水設備平面図(撤去)				

工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				図面リスト	M-00
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3　TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　NoScale	

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ.工事名称　嘉麻市嘉穂隣保館改修工事

Ⅱ.工事概要

1.工事場所　嘉麻市大隈町722番地

2.建物概要

建物名称	構造	階数	延面積(m²)	防火対象物の種別	戸数・浄化槽人槽受水槽有効容量等
嘉穂隣保館	R C	2階建て	588.75㎡		

3.工事種目　(⊙印を付けたものを適用する)

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別 屋内				屋外
⊙ 衛生器具設備	改修 一式	一式	一式	一式	
⊙ 給水設備	改修 一式	一式	一式	一式	一式
⊙ 排水設備	改修 一式	一式	一式	一式	一式
⊙ 給湯設備	一式	一式	一式	一式	
・消火設備	一式	一式	一式	一式	一式
⊙ ガス設備	一式	一式	一式	一式	一式
⊙ 換気設備	一式	一式	一式	一式	
⊙ 空気調和設備	一式	一式	一式	一式	
・排煙設備	一式	一式	一式	一式	
・中水設備	一式	一式	一式	一式	一式
・浄化槽設備					一式
・さく井設備					一式
・電気設備工事 ※	一式				一式
・建築工事 ※	一式				一式

※各工事の特記仕様書を確認のこと

4.本工事設備概要　(本工事該当箇所に⊙印を付ける)

区分	項目	内容
給排水衛生設備	給水方式	上水水源（⊙市水 ・井水） 法的区分（・小規模貯水 ・簡専 ・専用水道） 給水方式（・水道直結方式（⊙直圧 ・増圧） ・高架水槽方式 ・ポンプ直送方式） 中水水源（・雑用水処理水 ・雨水 ・井水） 中水給水方式（・水道直結方式 ・高架水槽方式 ・ポンプ直送方式）
	排水方式	・建物内汚水と雑排水（⊙分流 ・合流） ⊙重力式・ポンプアップ式・敷地外放流方式 ・直放流（・合流式 ⊙分流式）・非直放流（⊙浄化槽 ・中水処理槽）
	浄化槽の形式	・ユニット型・現場施工型・放流水質BOD mg/L ・合併処理
	給湯設備	・局所式 ・中央式
	消火設備の種別	・屋内消火栓（・1号・2号・易操作性1号） ・スプリンクラー ・連結散水 ・連結送水 ・屋外消火 ・水噴霧消火 ・泡消火 ・不活性ガス ・ハロゲン化物消火 ・粉末消火
	ガスの種別	・都市ガス ⊙液化石油ガス ・簡易ガス
空気調和設備	空調方式	・ダクト方式 ・ファンコイルユニット ・ダクト併用方式 ⊙パッケージ方式（・中央式 ・各階式 ⊙個別式） ・直接暖房（・蒸気 ・温水） ・温風暖房 ・暖房専用 ・将来冷房可能 ・温風暖房機・空気調和機
	主要熱源機器	・温水・蒸気 ・鋼製ボイラ（・立てボイラ ・炉筒煙管式ボイラ）・鋳鉄製ボイラ ・温風暖房機・ヒートポンプチラー（・水冷 ・空冷） ・往復動冷凍機 ・遠心冷凍機 ・吸収冷凍機 ・直だき吸収冷温水機
	全熱交換器	・回転形 ・静止形 ・全熱交換ユニット
	換気設備	⊙機械換気（⊙有 ・無）
	排煙設備	・機械排煙（・有 ・無）・法規（・建基法 ・消防法）

5.法令による区画（本工事該当箇所に⊙印を付ける ※有の場合は、図示等による）

法令	区画	
建築基準法	防火区画	112条区画（・有 ・無）
		114条区画（・有 ・無）
	延焼のおそれがある部分（・有 ・無）※指定無	
	排煙区画（・有 ・無）	
消防法	令8区画（・有 ・無）	
	共住区画（・有 ・無）	
その他の区画		

6.その他　(本工事該当箇所に⊙印を付ける)

・週休2日促進工事　・入札時積算数量書活用方式対象工事　・快適トイレ設置対象

・情報共有システム活用　・余裕期間制度対象

※工事内容、留意事項等を必ず記載のこと。

Ⅲ.工事仕様

1.適用仕様等

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の仕様書による。

①「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編 最新版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（2）「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編 最新版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（3）「公共建築工事標準仕様書（建築工事編 最新版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
④「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編 最新版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（5）「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編 最新版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（6）「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編 最新版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（7）「公共住宅建設工事共通仕様書（最新版）」 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。
ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、監督員と協議すること。

2.補足基準等

適用仕様等、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の基準、指針、要領、標準図等による。

①「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編 最新版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
（2）「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編 最新版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
（3）「建築工事標準詳細図（建築工事編 最新版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
④「機械設備工事監理指針（最新版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（5）「電気設備工事監理指針（最新版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（6）「建築工事監理指針（最新版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（7）「建築改修工事監理指針（最新版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（8）「建築設備耐震設計・施工指針（最新版）」 独立行政法人 建築研究所監修
（9）「建築工事安全施工技術指針・同解説」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
（10）「建設廃棄物処理指針」 厚生労働省生活衛生局
（11）「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」
（厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課、環境省 水・大気環境局大気環境課）
（12）「石綿含有廃棄物等処理マニュアル（第3版）」（環境省環境再生・資源循環局）

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。
ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、監督員と協議すること。

3.現場に常備する図書等

1.適用仕様等 及び2.補足基準 のうち、当該工事に係る図書等については現場事務所に常備し、監督職員の承認を得ること。

4.特記仕様

（1）章および項目は番号に⊙印のついたものを適用する。
（2）特記事項のうち選択する事項は、原則として※印を選択するが、それ以外を適用する場合は ・印をつけて選択する。
（3）図面に明記なくも関係法規上・機能上・意匠上当然と認められるものは、本工事にて施工すること。

章	項目	特記事項
① 一般事項	①発生材の処理	※18建設副産物の処理についての項を適用すること。 フロンの処理は、19フロン処理についての項を適用のこと。
	2.残土処分	※構外搬出 ・構内敷き均し
	③官公署その他への手続き	この工事に必要な官公署その他の関係機関への諸手続等は、これに必要な資機材、労務、及び費用を請負者の負担にて速やかにおこない、その検査に合格すること。
	④機能試験	工事の内容に応じて、機能試験を行うこと。
	⑤他工事との取合い	※施工区分表による ⊙図面詳細による
	⑥技能士の適用	住宅においては20戸以上、住宅以外の建物については1,500m²以上の工事に適用する。 ・配管（建築配管作業） ・建築板金（ダクト板金作業） ・熱絶縁施工（保温保冷工事作業） ・冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業）
	7.あと施工アンカー	あと施工アンカーの施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の有資格者にて行うこと。
② 仮設工事	1.監督員事務所	・設けない ・設ける（ 10 ㎡程度） 備品については監督員の指示による。
	②工事用電力・水・その他	この工事に必要な工事用電力（仮設及び試運転調整用電力を含む）、水（機能検査、消火用水及びプールの水張りを含む）及び諸手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。
	③総合仮設計画書	⊙要する ・要しない
	④足場・構台	・他工事 ⊙本工事（詳細図による。）
	⑤仮囲い等危険防止措置	・他工事 ⊙本工事（詳細図による。）
	6.工事表示板等	監督員の指示による。
	7.工事車両の出入り口	工事用車両の出入口では、一般通行人及び一般車両の安全確保に努めること。 交通誘導員 ・配置する（ 名以上） ⊙配置しない
③ 共通事項	①機材	この工事に使用する機材は、監督職員（係員）の承諾を受けること。 なお、材料及び製品については、地域産材の使用に努めること。
	②容量等の表示	イ）機器類の能力、容量等（電動機出力は除く）は、原則として、表示された数値以上とする。 ロ）電動機出力は、原則として、表示された出力以下の容量とする。 ハ）電動機の周波数は、60Hzとする。
	③耐震施工	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」による。 （1）設計用標準震度（Ks） 機器毎の耐震安全性の分類及び設置場所により以下表より求める

設置場所	耐震安全性の分類 ・特定の施設 重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽	⊙一般の施設 重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	2.0	1.5 (2.0)	1.5	1.5 (2.0)	1.5	1.0 (1.5)	1.0
中間階	1.5 (1.5)	1.5	1.0 (1.5)	1.0	1.0 (1.5)	1.0	0.6 (1.0)	0.6
地階及び1階	1.0 (1.0)	1.5	0.6 (1.0)	1.0	0.6 (1.0)	1.0	0.4 (0.6)	0.6

（ ）書きの数値は防振機器

＊耐震安全性の分類（・特定の施設 ⊙一般の施設）
＊次に示す機器を、重要機器、重要水槽とし、それ以外の機器を一般機器、一般水槽とする。
・
＊上層階の定義は、次のとおりとする。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階
（2）地域係数（Z）
地域係数（Z）は、1.0とする。

章	項目	特記事項
③ 共通事項	4.防火区画等を貫通する配管	給水管その他の管が、建築基準法施行令第112条第15項の準耐火構造の防火区画等を貫通する場合の措置は、図1による。
	⑤給水管等の材質	飲料用の給水・給湯管,継手,弁類,水栓等については、鉛に関する浸出性能基準を満足すること。
	⑥ライニング鋼管の継手	呼び径100以下はねじ接合、125以上はフランジ接合とする。
	⑦吊り及び支持等	図2による。 ※鋼材・ボルトナットを屋外又は多湿箇所に使用する場合は、溶融亜鉛メッキ（2種35）又は、ステンレス鋼製（SUS304）とする。
	⑧埋設標識テープ	埋設深さは150mm、テープ幅は150mm以上（図3）とし、色については次による。 上水（青） ガス（緑） 消火管（赤） 中水（黄色） 油（茶） その他については、監督職員（係員）の指示による。
	9.地中埋設標	※標準仕様書による。 ・図示による。
	10.地中埋設及びコンクリート内の防食	コンクリート内の防食は、防食用ビニルテープ巻（1/2重ね1回巻）とする。 地中埋設は、ペトロラタム系ペーストを塗布のうえ、ペトロラタム系防食テープ1/2重ね1回巻きを行う。さらにプラスチックテープ1/2重ね1回巻きを行う。継手は凹部分にペトロラタム系マスチックを詰め、表面を平滑にしたうえで防食シートで包み、プラスチックテープを1/2重ね1回巻きとする。
	11.コンクリート強度	イ）無筋コンクリートの配合は、1：2：4とする。 ロ）鉄筋コンクリートの設計強度は、18N/mm² とする。
	⑫はつり	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の孔開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。事前に探査機等を使用し、コンクリート内の配筋・配線等を避けること。
	13.電気工事	※電気工事士法に定める「電気工事」「軽微な工事」を自ら行うものは、電気工事業の登録または届出及び電気工事士資格を要し、「軽微な作業」を自ら行うものは電気工事業の登録または届出を要する。 ※特記なき電線管は、薄鋼電線管又は同一外径のねじなし電線管とする。 ※可とう電線管は、2種金属可とう電線管とする。 ※特記なき電線は、600Vビニル絶縁電線とする。
	14.鍵類	この工事で設置する鍵類の仕様については、監督職員（係員）の承諾を受けること。
	15.矢板	掘削深さ（1,500 mm以上）の掘削には矢板を使用すること。
④ 衛生器具設備	①大便器	・和風大便器（※節水型 ・一般型） ・耐火カバー（防火区画貫通部） ⊙洋風大便器（※節水型 ・一般型 ・高座面形）
	2.大便器洗浄方式	・フラッシュタンク式 ⊙節水型FV（バキュームブレーカ付） ⊙タンク式
	3.小便器	・床置型 ・壁掛型
	4.小便器洗浄方式	※専用洗浄弁式 ・洗浄弁式
	5.洗面化粧台	※洗面化粧台キャビネット部材は、ホルムアルデヒト放散量が日本農林規格（JAS）で定めるF☆☆☆☆基準のものとする。
	6.水栓	※節水コマ付 ・普通コマ付
	7.鏡	・普通 ・盗難防止形 ・耐食 ・盗難防止形耐食 ・身体障害者対応
	8.水栓柱	70°□×1300（※合成樹脂製 ・人研製 ・SUS製）
	9.器具配置	トイレブース内の紙巻器、リモコン類等についてはJIS S0026に則った配置とすること。
⑤ 給水設備	1.量水器	※計量法 検定合格品とする。 ・親メーター（※貸与品 ・買取り） （・直読式 ・遠隔式） ・子メーター（・貸与品 ※買取り） （・直読式 ・遠隔式）
	2.量水器桝	・水道事業者指定品（・貸与品 ※買取り） ・国土交通省型 ・その他
	3.弁類	・水道直結部分 JIS（※10K ・ ） ・その他の部分 JIS（・5K ・10K） ・塩ビライニング鋼管及びポリ粉体鋼管の配管に取り付ける鋳鉄製の弁はライニング弁とし、青銅製弁は管端防食継手の規定に準じた管端コアを備えたものとする。 ・鋳鉄製ストレーナーはライニングを施したものとする。
	4.弁桝	・国土交通省型 図4による。
	⑤配管材料	一般配管 ・塩ビライニング鋼管（SGP－VA） ⊙塩ビライニング鋼管（SGP－VB） ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） ・鋳鉄管（ 型 種） ・ステンレス鋼管（SUS） （・圧縮接合 ・溶接接合 ・拡管接合） ・架橋ポリエチレン管またはポリブデン管（さや管工法） ・金属強化ポリエチレン管 ピット内配管 ⊙塩ビライニング鋼管（SGP－VD） ・ポリ粉体鋼管（SGP－PD） 厨房、浴室等のシンダー内配管 ・塩ビライニング鋼管（SGP－VD） 屋内地中配管 ・塩ビライニング鋼管（SGP－VD） ・ポリ粉体鋼管（SGP－PD） ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） 屋外地中配管 ・塩ビライニング鋼管（SGP－VD） ・ポリ粉体鋼管（SGP－PD） ⊙水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） ・水道用硬質塩化ビニル管（VP） ・ポリエチレン管 1種（PE） （・溶着接合 ・金属継手接合）
	6.引込納付金等	※別途
	7.ポンプ基礎	・標準基礎 ・防振基礎
	8.他の設備項目の適用	下記のものは、空気調和設備の当該項目を適用する。 イ）防振継手 ロ）フレキシブルジョイント ハ）防振吊り金物及び支持金物（ただし揚水管のみ）
	9.建物導入部配管	※標準図（・(a) ・(b) ※(c) スリークッション）による。
	10.管の埋設深さ	・一般敷地（・300 mm ・ mm） ・構内車両通路（・600 mm ・ mm）
	11.器具接続用管端防食管継手	※用いる（図5による。） 塩ビライニング鋼管と給水栓・銅合金製配管附属品等との接続
⑥ 排水設備	1.配管材料	・汚水管 ・硬質塩化ビニル管(VP) ・耐火二層管 ・排水用塩ビライニング鋼管 ・耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（FS-VP） ・硬質塩ビリサイクル管(RF-VP)：ピット内 ⊙雑排水管 ・配管用炭素鋼鋼管（白） ⊙硬質塩化ビニル管（VP） ・カラーVP ・耐火二層管 ・排水用塩ビライニング鋼管 ・耐熱硬質塩化ビニル管 ・耐火硬質塩ビ管（FS-VP） ・硬質塩ビリサイクル管(RF-VP)：ピット内 ・屋外排水管・硬質塩化ビニル管（⊙VP ・VU）※呼び径125以上は原則としてVUとする。 ・小口径桝立上り管・リサイクル硬質塩ビ三層管（・※RS-VU） ・通気管・配管用炭素鋼鋼管（白） ⊙硬質塩化ビニル管（VP） ・カラーVP ・耐火二層管 ・硬質塩ビリサイクル管(RF-VP)：ピット内
	2.管接合	・鋼管（・ねじ込み式 ・MD継手 ・ ） ・排水用塩ビライニング鋼管（・MD継手 ・ ）
	3.可燃材の区画処理	図1による。
	4.弁類	特記以外JIS 5K とする。
	5.床上掃除口直下の曲管	排水鋳鉄管系統の床上掃除口直下に取付ける管は45°2回曲りとする。
	6.コンクリート桝ふた	図面詳細による。
	7.小口径桝ふた	図面詳細による他、下記による。 ミカゲ（未舗装部） 鋳鉄（歩道部） 保護鋳鉄（車道部）（・T-8 ・T-14 ・T-25）
	8.伸縮継手	ビニル製伸縮継手
	9.グリーストラップ	空気調和・衛生工学会規格SHASE-S 217（グリース阻集器）によるものとする。
	10.差込ソケット（VV）	排水流し下のビニル製排水管には差込（VV）ソケットを使用すること。
	11.満水試験継手	図示による。
⑦ 給湯設備	1.管類	イ）⊙ステンレス鋼管 ⊙圧縮接合 ・溶接接合） ・保温付ステンレス鋼管 ・耐熱塩ビライニング鋼管 ・銅管 ・保温付被覆銅管 ・被覆断熱銅管 ・架橋ポリエチレン管またはポリブデン管（さや管工法） ・金属強化ポリエチレン管 ロ）銅管使用の場合はM管とし、電食防止継手を取付ける。
	2.器具接続用管端防食管継手	※用いる（図5による。）
	3.弁類	JIS 5K とする。ただし、特記部分はJIS 10K とする。
	④排気筒及び煙突	ガス湯沸器用排気筒は、JIS S 3025によるSUS304(厚さ0.3mm以上)とする。 ・排気筒の断熱（※要（隠ぺいの箇所のみ） ・不要）
	5.保温	イ）膨張水槽の保温（・要 ・不要） ロ）コンクリート埋設部（・防水麻布巻 ・保温施工）
	⑥湯沸器	⊙瞬間式 ・貯湯式 ・風呂給湯器（オートタイプ）
	⑦燃料	⊙ガス ・灯油 ・電気
8 消火設備	1.消火ポンプの基礎	・標準基礎 ・防振基礎
	2.フート弁・呼水槽及びサクションカバー	・要 ・不要
	3.屋内消火栓弁	※減圧弁付
	4.保温	・屋内消火管 （・要 ・不要） ・屋外露出消火管 （・要 ・不要）
	5.管類	・配管用炭素鋼鋼管(白)(屋内) ・外面被覆鋼管（・SGP－VS ・SGP－PS）
	6.消防設備士	※要
⑨ ガス設備	1.種類	・都市ガス（ガス種 ・13A ・12A ） ⊙液化石油ガス
	2.管類	一般配管 ⊙配管用炭素鋼鋼管（白） ・ガス用ステンレス製フレキシブル管 ・硬質塩ビ外面被覆鋼管 ・ポリエチレン被覆鋼管 ピット内配管 ⊙硬質塩ビ外面被覆鋼管 ・ポリエチレン被覆鋼管 屋外埋設配管 ・ポリエチレン管JIS K 6774
	3.都市ガス	イ）ガスメーター 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。
	4.液化石油ガス	イ）ガスメーター（・買取り ・借用） ロ）集合装置（・別途工事 ※本工事） ハ）転倒防止用の鎖（・別途工事 ・本工事） ニ）ボンベ置場のコンクリート基礎（・別途工事 ・本工事）
	5.ガス湯沸器の付属品	連動スイッチ（・要 ・不要）
	6.ガス漏れ警報器	・本工事 ⊙別途工事 ・ガス漏れ警報器工事は、住宅工事においては原則として行わない。
	7.施工資格	液化石油ガス設備士による施工とする。
	8.ガス栓	（財）日本エルピーガス機器検査協会、検査合格品とする。
	9.絶縁継手	・要 ・不要
	10.建物導入部配管	・標準図（・(a) ・(b) ※(c) スリークッション）による。
⑩ 換気設備	1.ダクトの種別	※低圧ダクト ・高圧ダクト
	2.厨房ダクトの板厚	厨房排気ダクト（矩形ダクトに限る）の板厚は、表1による
	3.ダクトの工法・種類	イ）給気用ダクト ・アングル工法 ・コーナーボルト工法（・共板 ・スライドオン） ・スパイラルダクト ・耐火二層管工法 ・VP管工法 ロ）排気用ダクト ・アングル工法 ・コーナーボルト工法（・共板 ・スライドオン） ・スパイラルダクト ・耐火二層管工法 ・VP管工法 ・厨房排気は原則としてアングル工法とすること
	4.ダクトの分岐方法	イ）給気用ダクト ・割込み方式 ・直付け方式 ロ）排気用ダクト ・割込み方式 ・直付け方式
	5.換気フード	※指定色仕上げ ・指定なし
	6.厨房排気フード	イ）排気フードの補強及び支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製風道の当該事項による。 ロ）材質 ※ステンレス製 ・亜鉛鉄板製
	7.多湿箇所の範囲	※厨房 ※浴室（シール有）
	8.他の設備項目の適用	下記のものは、空気調和設備の当該項目を適用する。 イ）風量測定口 ロ）チャンバー等 ハ）吹出口及び吸込口の材質 ニ）防煙ダンパー ホ）消音内貼り ヘ）防振つり金物
	9.送風機の基礎	・床置（・標準基礎 ・防振基礎） ・天吊（標準図による。）
11 排煙設備	1.ダクトの材質	・亜鉛鉄板製 ・普通鋼板製
	2.排煙口	イ）形状 ・スリット形 ・パネル形 ・ダンパー形 ロ）開放装置 ・手動 ・手動及び遠隔操作可能なもの
12 自動制御設備	1.中央監視制御	・要 ・不要
	2.中央監視制御装置の構成・機能	集中リモコン(日立製)・・・2工区工事
	3.電源装置	・要（・本工事 ・別途電気工事） ・不要

⑬ 空気調和設備

	外気 温度(DB)	外気 湿球温度(WB)	外気 湿度(RH)	室内 ・○（事務・集会室） 温度(DB)	湿球温度(WB)	湿度(RH)	・学校（一般系統） 温度(DB)	湿度(RH)	・学校（厨房） 温度(DB)	湿度(RH)
夏季	34.8℃	27.5℃	57.1%	26℃	18.7℃	%	28.0℃	%	25.0℃	80 %
冬季	1.8℃	-0.7℃	59.2%	22℃	13.9℃	%	19.0℃	%	℃	%

項目	特記事項
2.電気工事の範囲	※施工区分表による。 ・図面詳細による。
③パッケージエアコン	イ）冷媒 ※HFC系（R407C, R410A, R134a, ㉜R32等） ロ）冷媒管（※断熱材被覆銅管（断熱厚さ：液管10mm(液管の管径9.52mm以下は厚さ8mm)、ガス管20mm）） ハ）冷媒管及びドレン管の区画処理（⊙有（※国土交通大臣認定工法 ・その他）・無） ニ）ドレン管の材質 ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・カラーVP ・結露防止層付塩化ビニル管 ⊙硬質塩ビリサイクル管（RF-VP） ホ）室外機の基礎（⊙標準架台 ・防振架台）本工事 ヘ）※2015年省エネ基準値対応品とする。
④配管材料（パッケージエアコンを除く）	イ）給水管 ・塩ビライニング鋼管（・SGP-VB ・SGP-VA） ロ）冷温水管 ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・耐熱塩ビライニング鋼管 ・一般配管用ステンレス鋼鋼管 ハ）排水管 ・配管用炭素鋼鋼管（白）⊙硬質塩化ビニル管（VP） ・カラーVP ・結露防止層付塩化ビニル管 ・硬質塩ビリサイクル管（RF-VP） ニ）冷却水管 ※塩ビライニング鋼管（※SGP-VB ・ ） ホ）蒸気及び油配管は配管用炭素鋼鋼管（黒）とする。 ヘ）冷媒管（・銅管 ⊙断熱材被覆銅管（製造者標準品）） ト）冷媒管の区画処理（・有（※国土交通大臣認定工法 ・その他） ・無） チ）膨張管、安全管及び膨張水槽よりボイラへの給水管の配管材料は、水道用亜鉛メッキ鋼管とする。
5.冷媒	※HFC系（R407C, R410A, R134a, ㉜R32等） ・自然冷媒（CO2, NH3）
6.弁類	JIS 5K とする。ただし特記部分はJIS 10K とする。
7.防振継手	・ベローズ形 ・合成ゴム製（・合成ゴム製 ・3山ベローズ形） ※長さは標準仕様書による。
8.フレキシブルジョイント	・ベローズ形ステンレス製 ・合成ゴム製
9.ダクト	イ）種別（※低圧ダクト ・高圧ダクト） ロ）工法・種類（・アングル工法 ⊙コーナーボルト工法（・共板 ・スライドオン） ・スパイラルダクト ・ステンレスダクト） ハ）分岐方法（※割込み方式 ・直付け方式）
10.風量測定口	標準仕様書によるほか、取付を図示された部分に取付ける。
11.チャンバー等	イ）シーリングディフューザーには、下記の接続チャンバーを設ける。 a)ネック径が200φ以下 400×400×250H b)ネック径が200φをこえるもの 500×500×300H ロ）ブリーズライン形吹出口には、下記の接続チャンバーを設ける。 a)シングル形 200×（L＋100）×300H b)ダブル形 250×（L＋100）×300H ハ）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー、ホッパーには排水弁を設ける。
12.吹出口・吸込口の材質（シャッター共）	イ）ユニバーサル形吹出口 ・鋼板製 ・アルミ製 ロ）シーリングディフューザー ・鋼板製 ・アルミ製 ハ）吸込口 ・鋼板製 ・アルミ製（外気吸込口には防虫網付とする。）
13.防煙ダンパー	下記のものは本仕様による。 イ）操作方式 ・電気式 ・空気式 ロ）復帰方式 ※遠隔式（※電気式 ・空気式） ・手動式 ハ）温度ヒューズ（・取り付ける ・取り付けない） ニ）表示用端子（・設ける ・設けない）
14.煙道	鋼板厚（・4.5mm ※3.2mm）
15.保温	下記のものは本仕様による。 イ）建物内の空気抜き管の保温は、空気抜き弁までとし、仕様は温水管の項による。 ロ）空気調和機・ファンコイルユニット等の排水管の保温は、給排水衛生設備の排水管の項による。 ハ）還り風道の保温（・要 ・不要） ニ）膨張水槽の保温（・要 ・不要） ホ）内貼りチャンバー等の保温（・要 ・不要） ヘ）隠ぺい風道の保温でフランジ部は保温材2枚重ねとする。
16.消音内貼り	イ）内貼りの材料及び施工法は、標準仕様書の当該事項による。 ロ）施工箇所は、図示した風道並びにチャンバー類とする。 ハ）内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。
⑰機器類の架台	イ）パッケージ形空気調和機（⊙防振パット ※木台 ※転倒防止処理） ロ）ユニット形空気調和機（・標準架台 ・防振架台） ニ）ポンプ（・標準架台 ・防振架台） ハ）送風機（・標準架台 ・防振架台） ホ）冷凍機（・標準架台 ・防振架台） ヘ）チラーユニット（・標準架台 ・防振架台）
18.機械室(配管・風道)のつり金物	・防振つり金物（・シングル ・ダブル）（・中央機械室 ・各階機械室）
19.温度計	※標準仕様書による。
20.圧力計及び連成計	※標準仕様書による。
21.瞬間流量計	※要（※標準仕様書による。 ・図示による。） ・不要
22.ファンコイルユニット用調節弁	・流量調節弁 ・定流量弁（流量設定が可能なもの）
23.油サービスタンク	イ）防油堤（コンクリート製） ※別途工事 ・本工事 ロ）フロートスイッチの機能は、下記による。 ・給油ポンプの起動、停止 ・満油警報 ・減油警報 ハ）油面計（・フロート式 ・ゲージ式）
24.地下貯油槽	イ）タンク室 ・設けない ・設ける（・別途工事 ・本工事） ロ）計量器（・計量尺 ・直読式（防水蓋スプリング付、プロテクター共） ・遠隔式） ハ）土工事 ・オープンカット ・矢板（・有 ・無） ・特殊基礎（・有 ・無）
	※ 1. 冷媒配管，窒素ガスによる24時間ガス漏洩試験をする事 ※ 2. 既存空調機撤去は、冷媒回収及び破壊処理を含む ※ 3. 空調室内機の耐震補強する事 ※ 4. ダイヤモンドカッターによる穴あけ工事前にコンクリート内の鉄筋探査を行う事 ※ 5. 空調機器配管撤去及び産廃処分を含む ※ 6. 屋外冷媒配管の外装はスリムダクトとする ※ 7. 屋内ドレン配管(VP)は防露工事(GW20t巻き)とする

工事名	嘉麻市嘉穂隣保館改修工事
備考	

松村一級建築士事務所
1級建築士 大臣 207655 松村一弘
福岡県嘉麻市上西郷244-3
TEL・FAX 0948-57-3887

管理者	設計者	担当者
日付	日付	日付

図面名　特記仕様書
図面NO　M-01
縮尺 NoScale

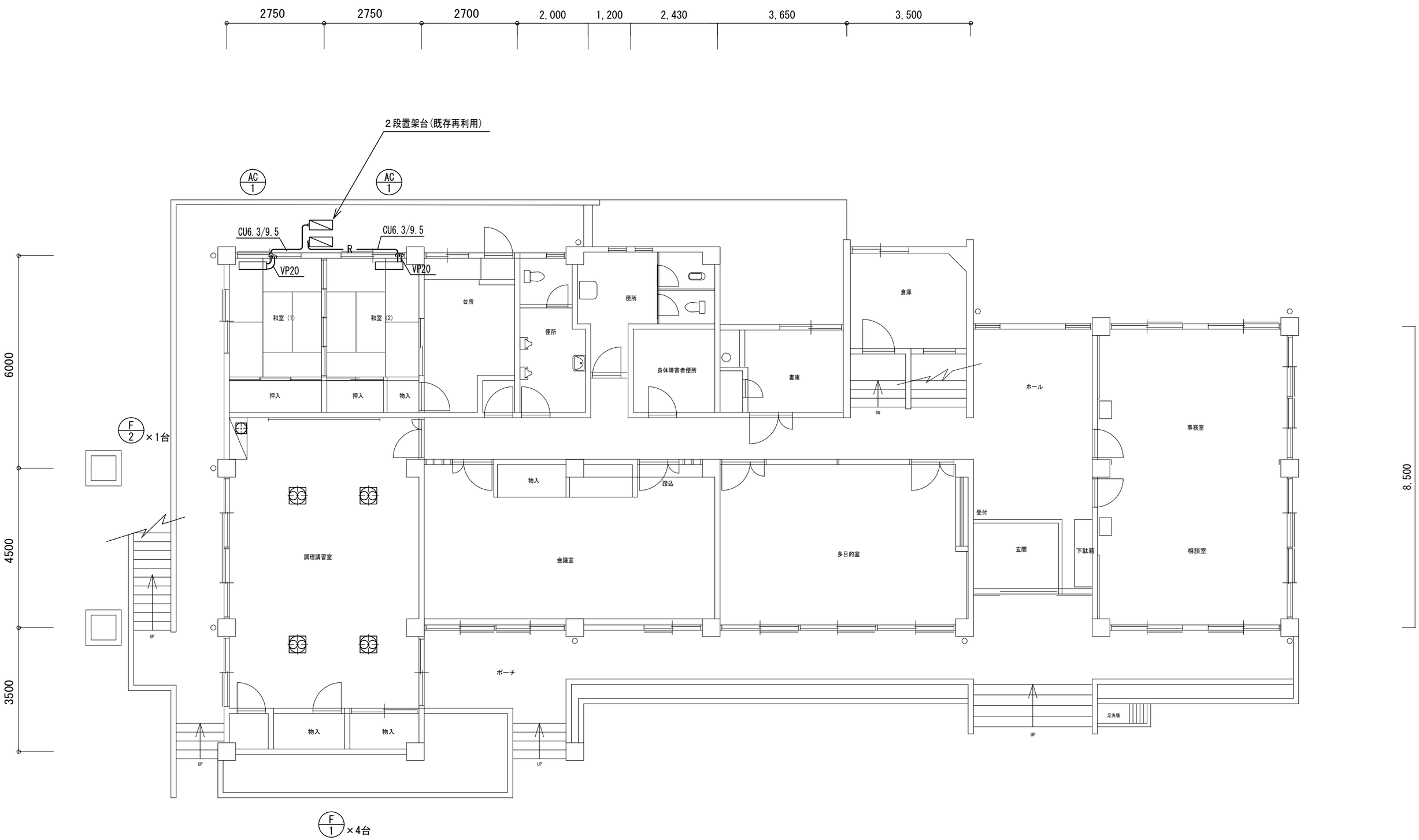
〔 空 調 機 器 表〕

記 号	名 称	仕 様	電 源	台数	備 考
PAC-1	空冷パッケージエアコン	天吊形(4馬力) 冷房能力 10.0KW, 消費電力 2.77KW 暖房能力 11.2KW, 消費電力 2.70KW 送風機出力(内 ー 0.16KW 外 ー 0.17KW) 圧縮機出力 2.0KW 冷媒配管 9.52/15.88 (RPC-GP112RSH9)	3φ×200V	1	
PAC-2	空冷パッケージエアコン	天井カセット形 冷房能力 5.0KW, 消費電力 1.26KW 暖房能力 5.0KW, 消費電力 1.48KW 送風機出力(内 ー 0.05KW 外 ー 0.05KW) 圧縮機出力 0.95KW 冷媒配管 6.35/12.7 (RCIS-GP56RSH9)	3φ×200V	1	
AC-1	エアコン	壁掛型 冷房能力 2.5KW, 消費電力 710W 暖房能力 2.8KW, 消費電力 650W 圧縮機出力 650W 冷媒配管 6.35/9.52 (RAS-AJ25R)	100V	2	

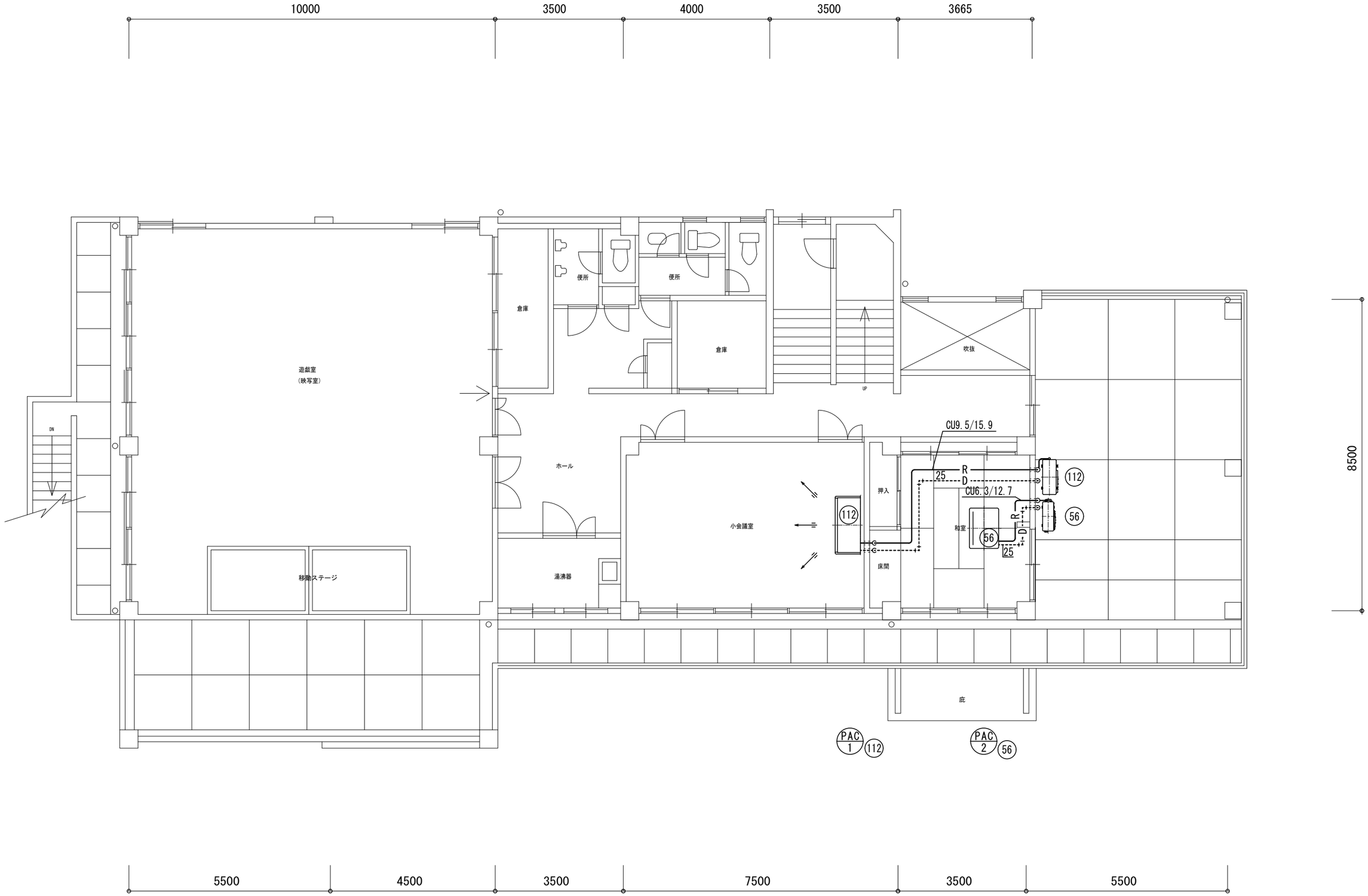
〔 換 気 機 器 表〕

記 号	名 称	仕 様	電 力	設 置 場 所	台数	備 考
F/1	天井扇	風量 : 560m³/h, 40Pa 台所用天井扇, 低騒音形 強・弱コントロールスイッチ(P-04SW2) グリル・ボディファン(金属) (VD-23ZP13)	100V×88W(強) ×43W(弱)	1階 調理室	4	※スイッチボックス及び 配線工事は電気工事
F/2	天井扇	風量 : 450m³/h, 40Pa 台所用天井扇, 低騒音形 強・弱コントロールスイッチ(P-04SW2) グリル・ボディファン(金属) (VD-23Z13)	100V×64W(強) ×30W(弱)	1階 調理室 炊飯器設置部分天井	1	

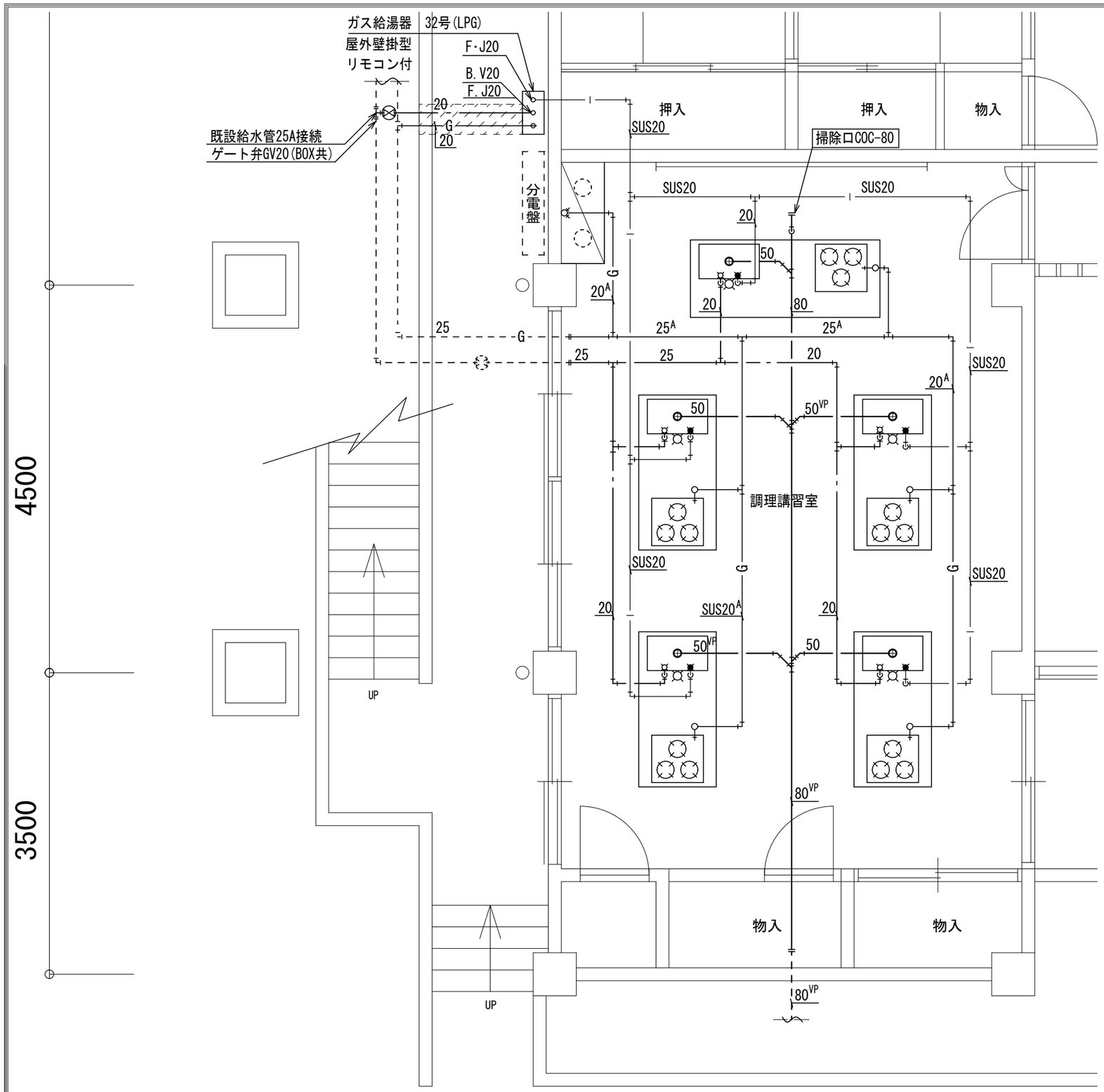
工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士 大臣 207655 松村一弘				空調・換気設備機器一覧表	M-02
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺 NoScale	



工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面NO
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				空調・換気設備改修1階平面図	M-03
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3	日付	日付	日付	縮尺　1/100(A3)	
	TEL ・FAX　0948-57-3887					



工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				空調換気設備改修2階平面図	M-04
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3	日付	日付	日付	縮尺　1/100(A3)	
	TEL ・FAX　0948-57-3887					



（調理台）

1.指導者用 ― 1台　2200×900×800H, LPG　3口ガスコンロ, ガスコンベンションオーブン
100V×1.35KW, 2口コンセント　15A附属

特注ステンカウンタートップ	ｶDDABE220ADQNXR	1	
特注シンク用フロアキャビネット	ｶ1SDK093DAW109R	1	
特注シンク用フロアキャビネット	ｶ1SDK045DAW109R	1	
調理台用フロアキャビネット	E1FHC015DAW109N	1	
裏面収納キャビネット	E1DER060NEW109N	1	
シングルレバー混合栓	SF-WL420SYXJG	1	
3口ガスコンロ・ホーロー/600トップ	R1633DOWHKX	1	
コンベンションオーブン/W600	ROG-85BSE1KX	1	
ブラック連動			
排水カップフタ	SHF-1	1	
		1	セット

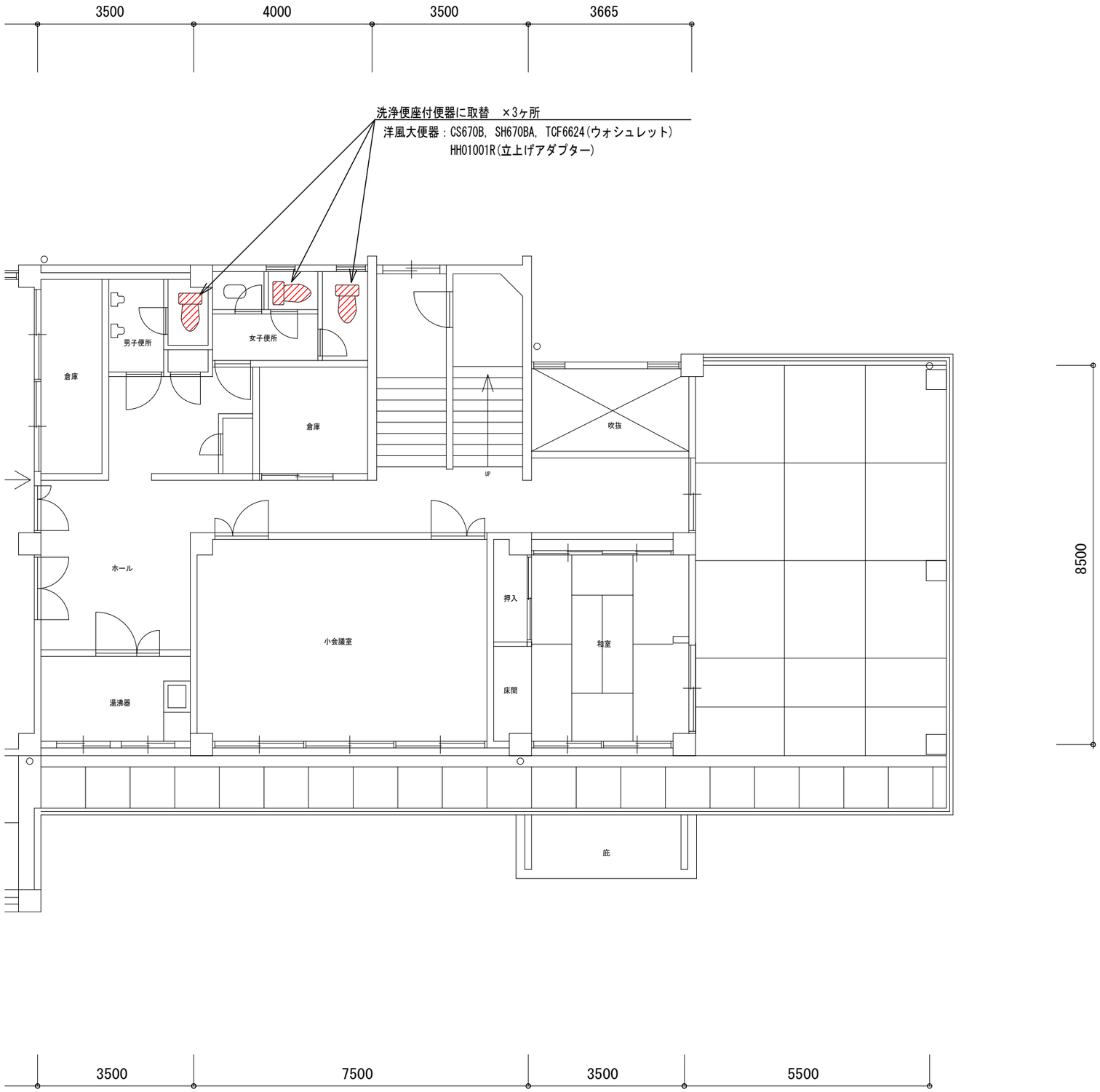
2.実習生用 ― 3台　1800×900×800H　LPG　3口ガスコンロ
100V×1.35KW, 2口コンセント　15A附属

特注ステンカウンタートップ	ｶDDABE180ADQNXN	1	
シンク用フロアキャビネット	E1SDN068DAW109N	1	
特注調理台用フロアキャビネット	ｶ1THF045DAW109N	1	
加熱機器用フロアキャビネット	E1GMG060DAW109N	1	
シングルレバー混合栓	SF-WL420SYXJG	1	
3口ガスコンロ・ホーロー/600トップ	R1633DOWHKX	1	
排水カップフタ	SHF-1	1	
		4	セット

3.ガス調理台ー1台　1300×500×650H　ステンレス製
バックガード　1300×300H　ステンレス製

斜線部研り補修

工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				1階　調理室給排水設備平面図	M-05
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　1/50(A3)	



工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				２階便所便器改修平面図	M-06
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3	日付	日付	日付	縮尺　1/100(Ａ3)	
	TEL ・FAX　0948-57-3887					

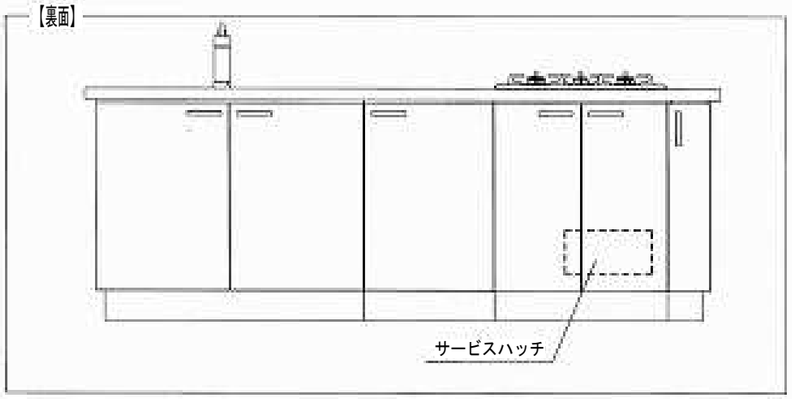
①

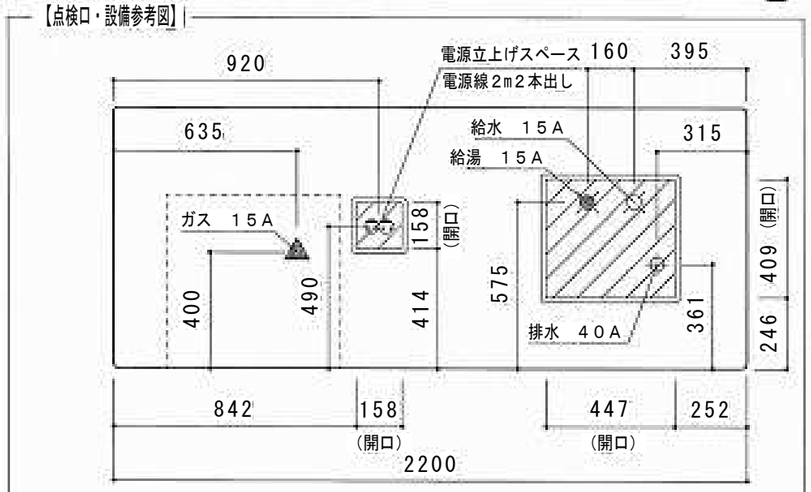
名　称	仕　様
上板	SUS304　t0．8　ヘアライン仕上げ
シンク	SUS304　t0．6　フランジシンク(ミドル)
扉･鏡板･幕板	特殊樹脂両面化粧パーチクルボード（EBコート）
側板	パーチクルボード
底板	化粧合板（片面フラッシュ）
引き出し	ポリプロピレン
排水金具	大型排水トラップ　40A(浅型ゴミカゴ付)
コンセント	125V　15A　二口　1ケ　ケーブル無
加熱機器	ドロップインガスコンロ　R1633DOWHK ガス消費量：10．1KW（13A）/10．0KW（LP）
	コンビネーションレンジ　ROG-85BSE1K ガス消費量：3．55KW（13A）/3．55KW（LP） 電力消費量：1350W（AC100V）
水栓	シングルレバー水栓　SF-WL420SYXJG

注）オーブン専用コンセント（125V15A，露出アース端子付接地コンセント）は、別途手配。

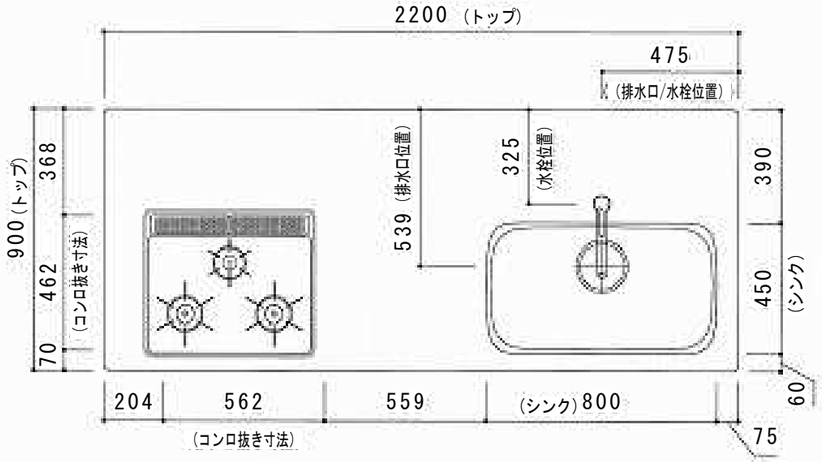
付属品

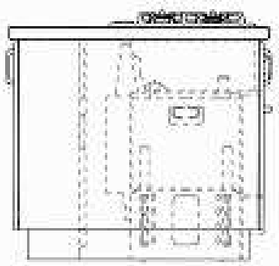
排水トラップ（浅型ゴミカゴ付）	1
排水ホース（フクロナット，スベリワッシャー，三角パッキン付）	1
排水円板	1
コンセント（125V　15A）	1
排水カップフタ　SHF-1	1

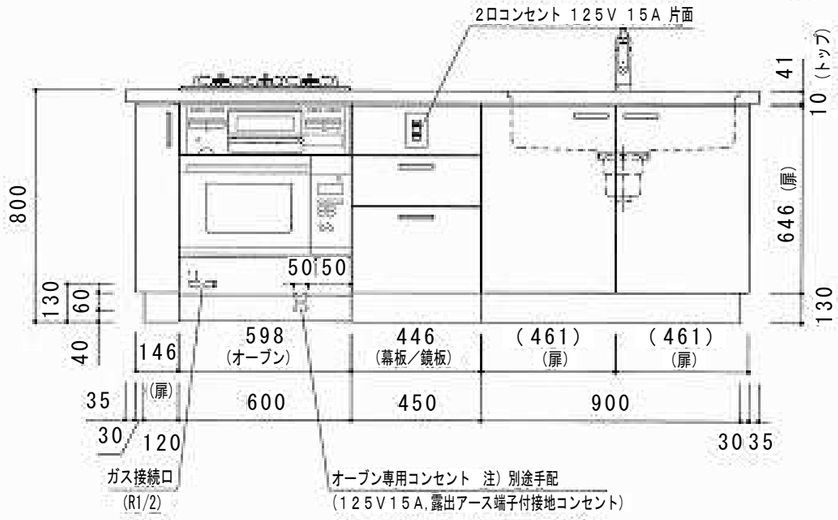


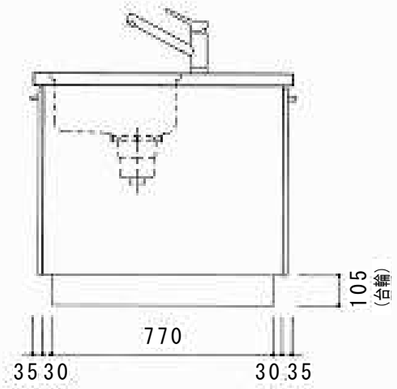


注）点検口フタに配管、配線用の穴は開いてません。現場で開口してください。









注記：本製品は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				調理実習台(指導者用)	M-07
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺　NoScale	

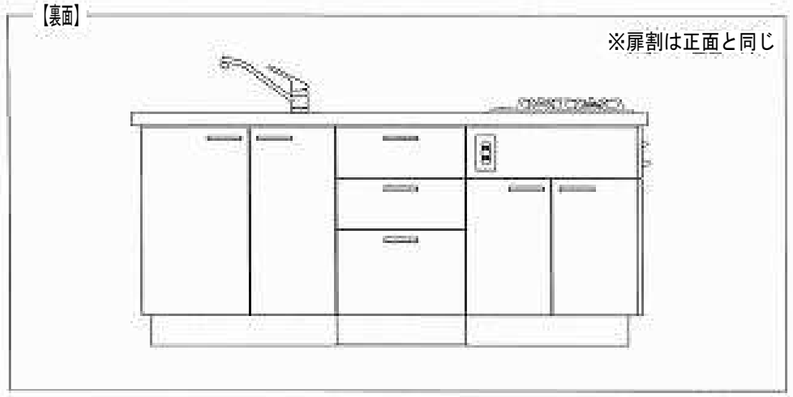
②

名　称	仕　様
上板	SUS304　t0.8　ヘアライン仕上げ
シンク	SUS304　t0.6　フランジシンク(ミドル)
扉･鏡板･幕板	特殊樹脂両面化粧パーチクルボード（EBコート）
側板	化粧パーチクルボード
底板	化粧合板（片面フラッシュ）
引き出し	ポリプロピレン
排水金具	大型排水トラップ　40A(浅型ゴミカゴ付)
コンセント	125V　15A　二口　2ケ　ケーブル無
加熱機器	ドロップインガスコンロ　R1633DOWHK ガス消費量：10.1KW（13A）/10.0KW(LP)
水栓	シングルレバー水栓　SF-WL420SYXJG

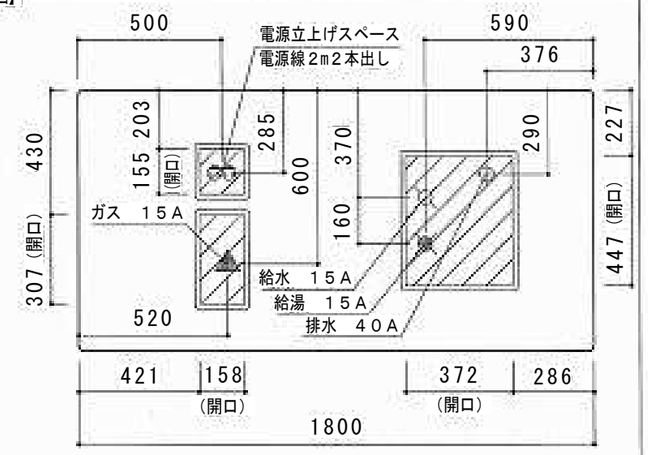
付属品

排水トラップ（浅型ゴミカゴ付）	1
排水ホース（フクロナット，スベリワッシャー,三角パッキン付）	1
排水円板	1
コンセント（125V　15A）	1
排水カップフタ　SHF-1	1

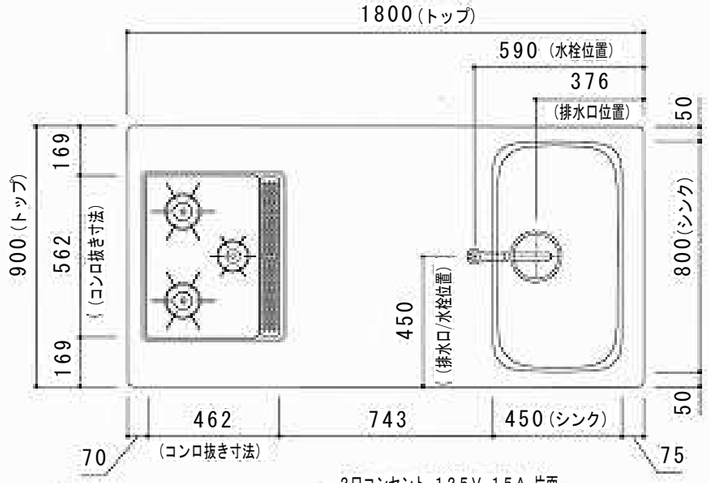
【裏面】

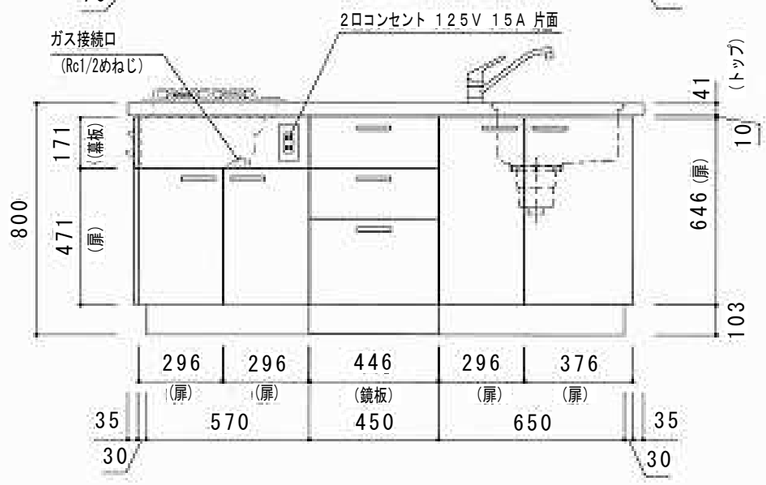


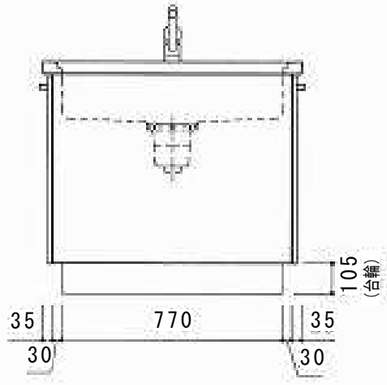
【点検口・設備参考図】



注）点検口フタに配管、配線用の穴は開いてません。現場で開口してください。

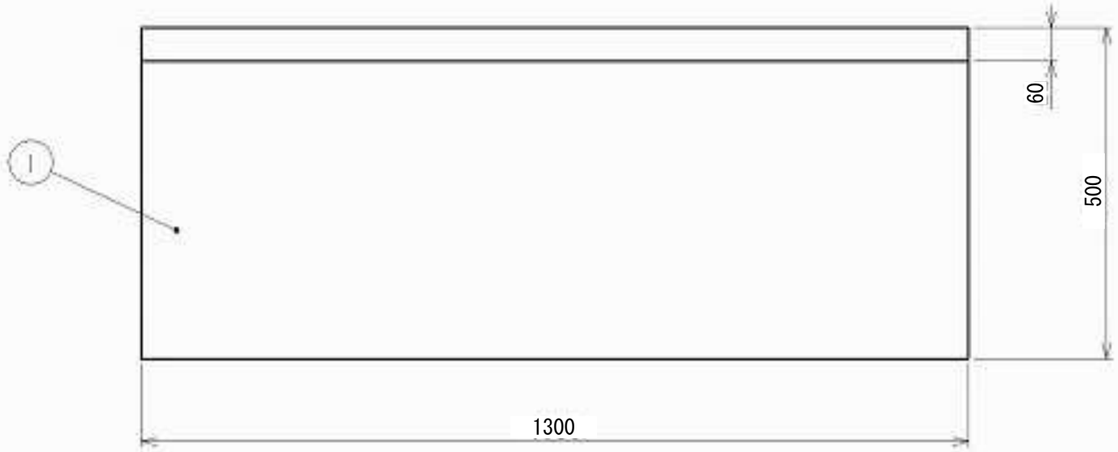






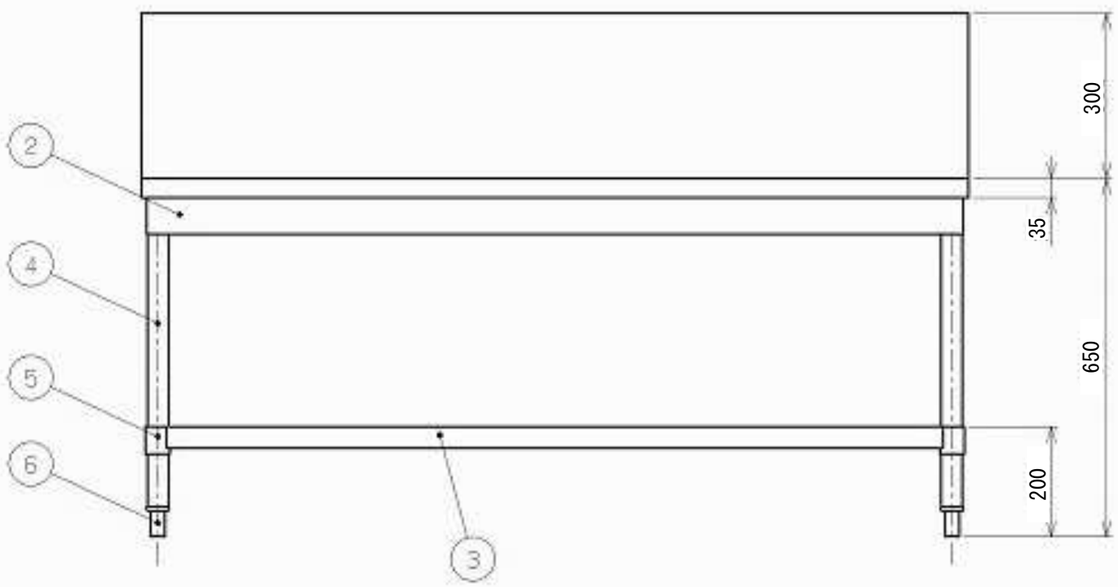
注記：本製品は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

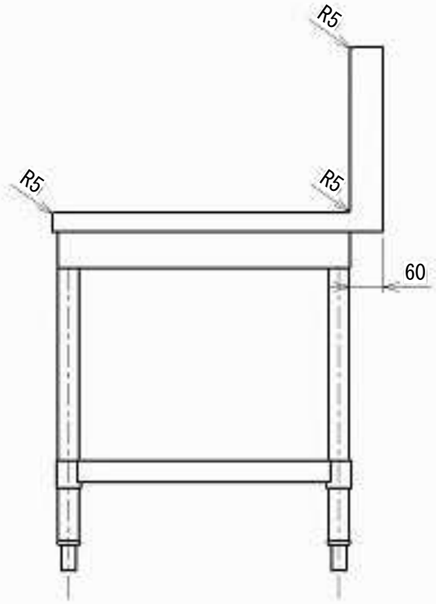
工事名	嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名	調理実習台(実習生用)	図面NO
備考		福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺	NoScale	M-08



仕様表

品名		コンロ台	
型式			
外形寸法		W1500×D500×H650(mm)	
品番	部　品　名	材　　質	個数
1	甲板	ＳＵＳ４３０　No.4　ｔ１．２	
2	外装	ＳＵＳ４３０　No.4　ｔ１．０	
3	スノコ板	ＳＵＳ４３０　No.4　ｔ１．０	
4	脚部	ＳＵＳ３０４　φ３０	4
5	スノココーナー	ＳＵＳ４３０　ｔ３．０	4
6	アジャスト	ＳＵＳ３０４	4
備考			





工事名 嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名 ガス調理台	図面ＮＯ M-09
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺 NoScale	

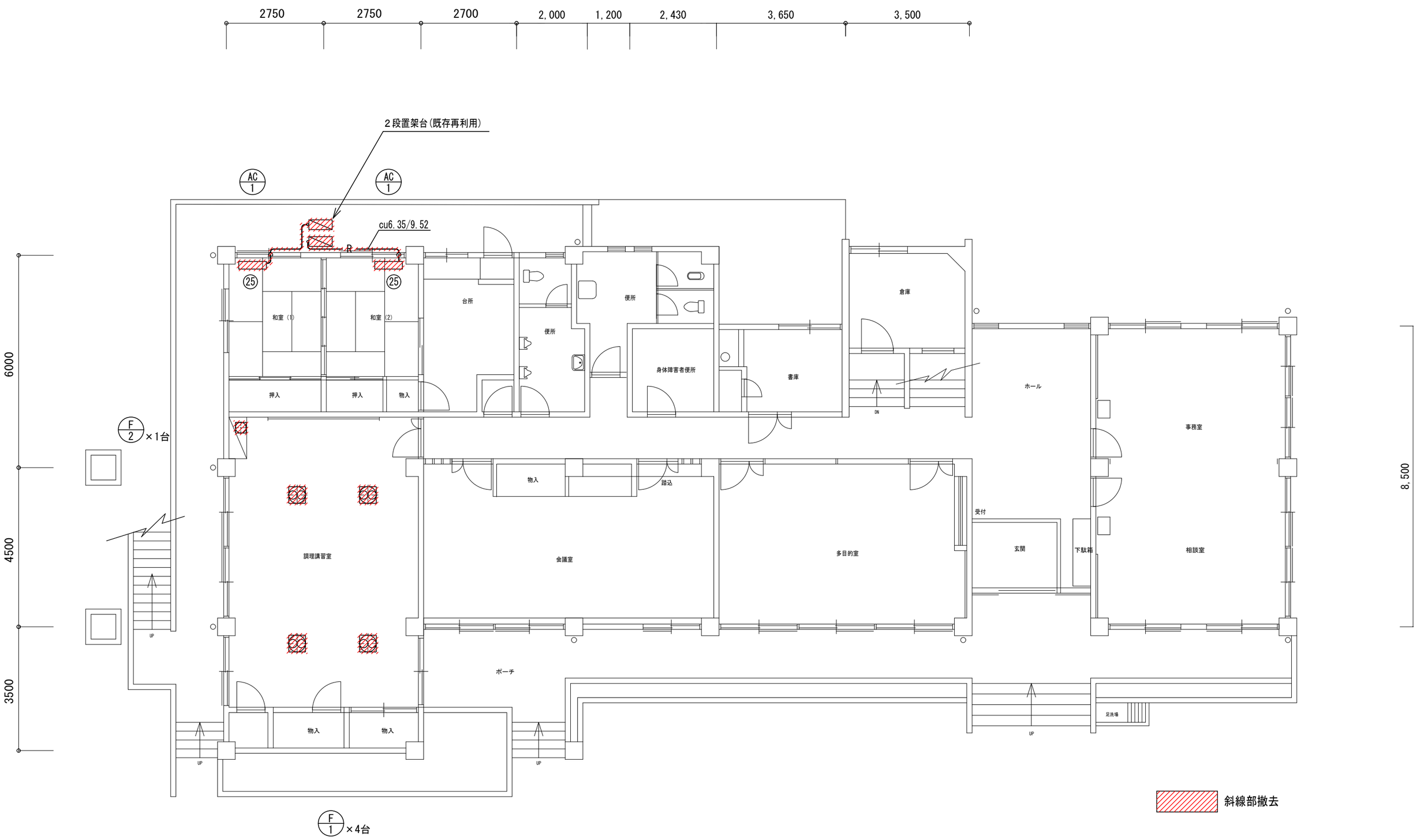
〔 空 調 機 器 表〕(撤去)

記 号	名 称	仕 様			電 源	台数	備 考
PAC-1	空冷パッケージエアコン	天吊形(4馬力)	冷房能力 10.0KW 暖房能力 11.2KW 冷媒配管 9.52/15.88	(112型)	3φ×200V	1	
PAC-2	空冷パッケージエアコン	床置形 (2.3馬力)	冷房能力 5.0KW 暖房能力 5.0KW 冷媒配管 6.35/12.7	(56型)	3φ×200V	1	
AC-1	エアコン	壁掛型	冷房能力 2.5KW 暖房能力 2.8KW 冷媒配管 6.35/9.52	(25型)	100V	2	

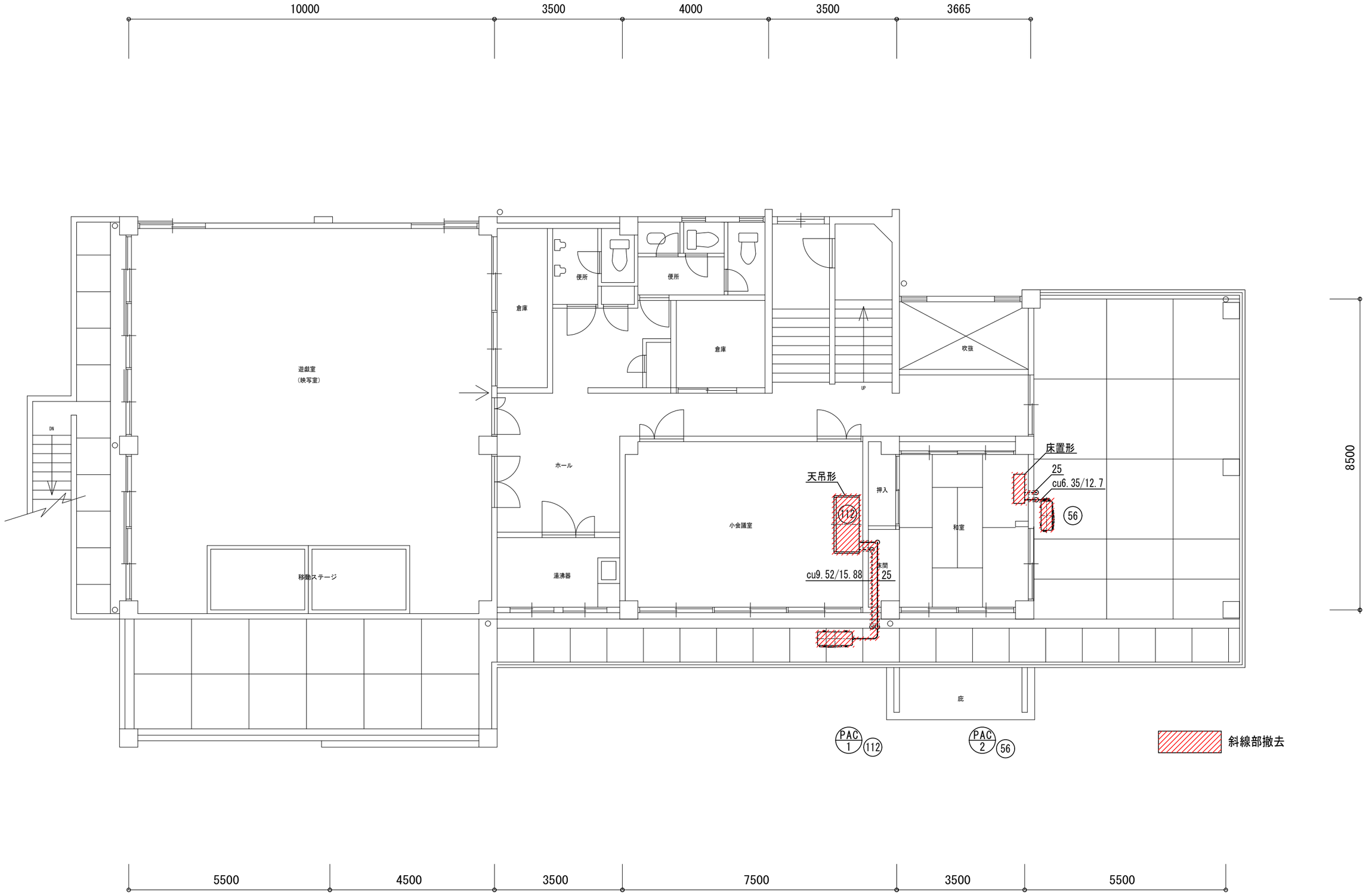
〔 換 気 機 器 表〕(撤去)

記 号	名 称	仕 様	電 力	設 置 場 所	台数	備 考
F/1	天井扇	風量 : 560m³/h, 40Pa 台所用天井扇, 低騒音形 強・弱コントロールスイッチ(P-04SW2) グリル・ボディファン(金属) (VD-23Z13)	100V×88W(強) ×43W(弱)	1階 調理室	4	※スイッチボックス及び 配線工事は電気工事
F/2	天井扇	風量 : 450m³/h, 40Pa 台所用天井扇, 低騒音形 強・弱コントロールスイッチ(P-04SW2) グリル・ボディファン(金属) (VD-20Z13)	100V×64W(強) ×30W(弱)	1階 調理室 炊飯器設置部分天井	1	※スイッチボックス及び 配線工事は電気工事

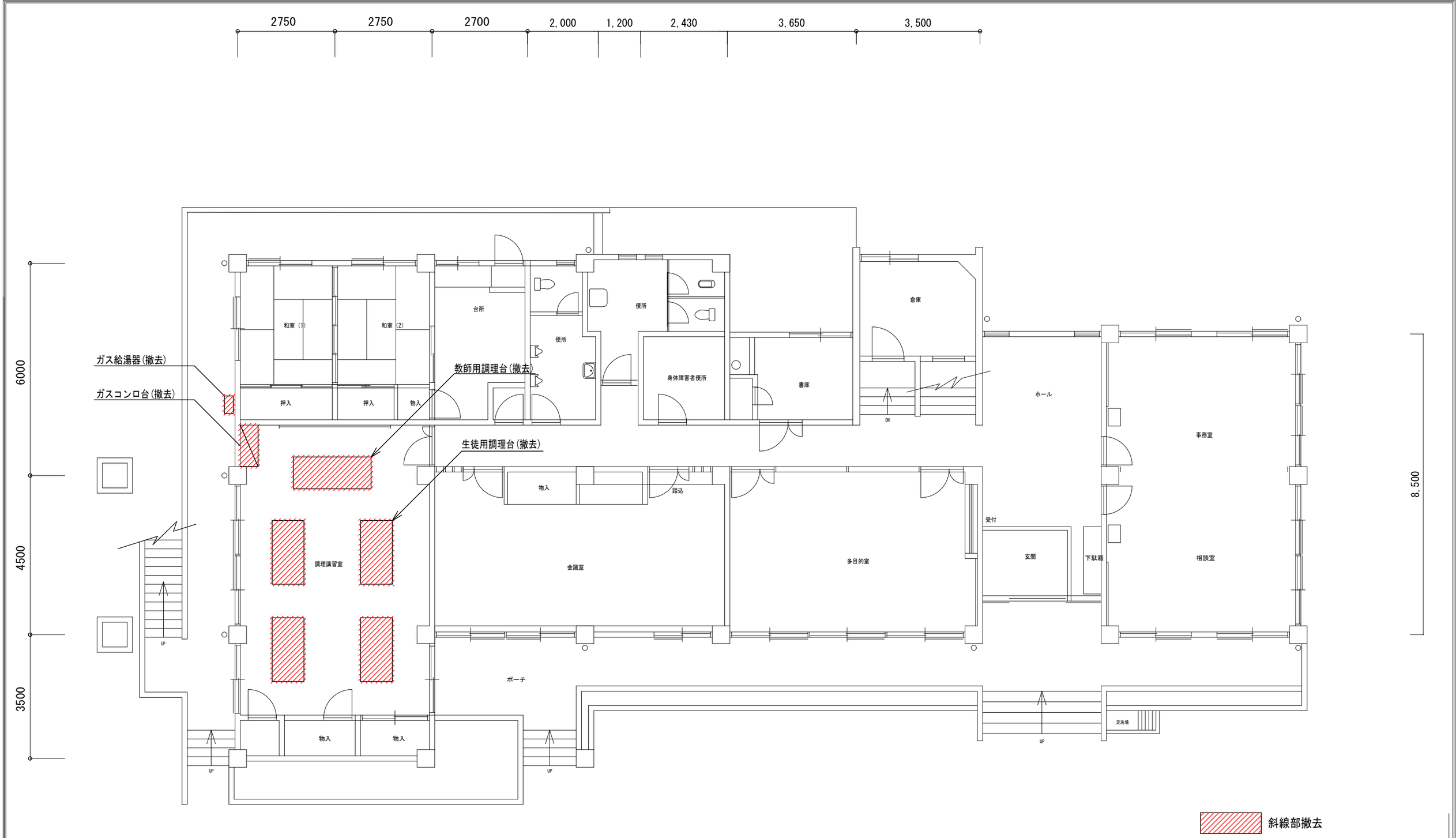
工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士 大臣 207655 松村一弘				空調・換気設備機器一覧表(撤去)	M-10
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺 NoScale	



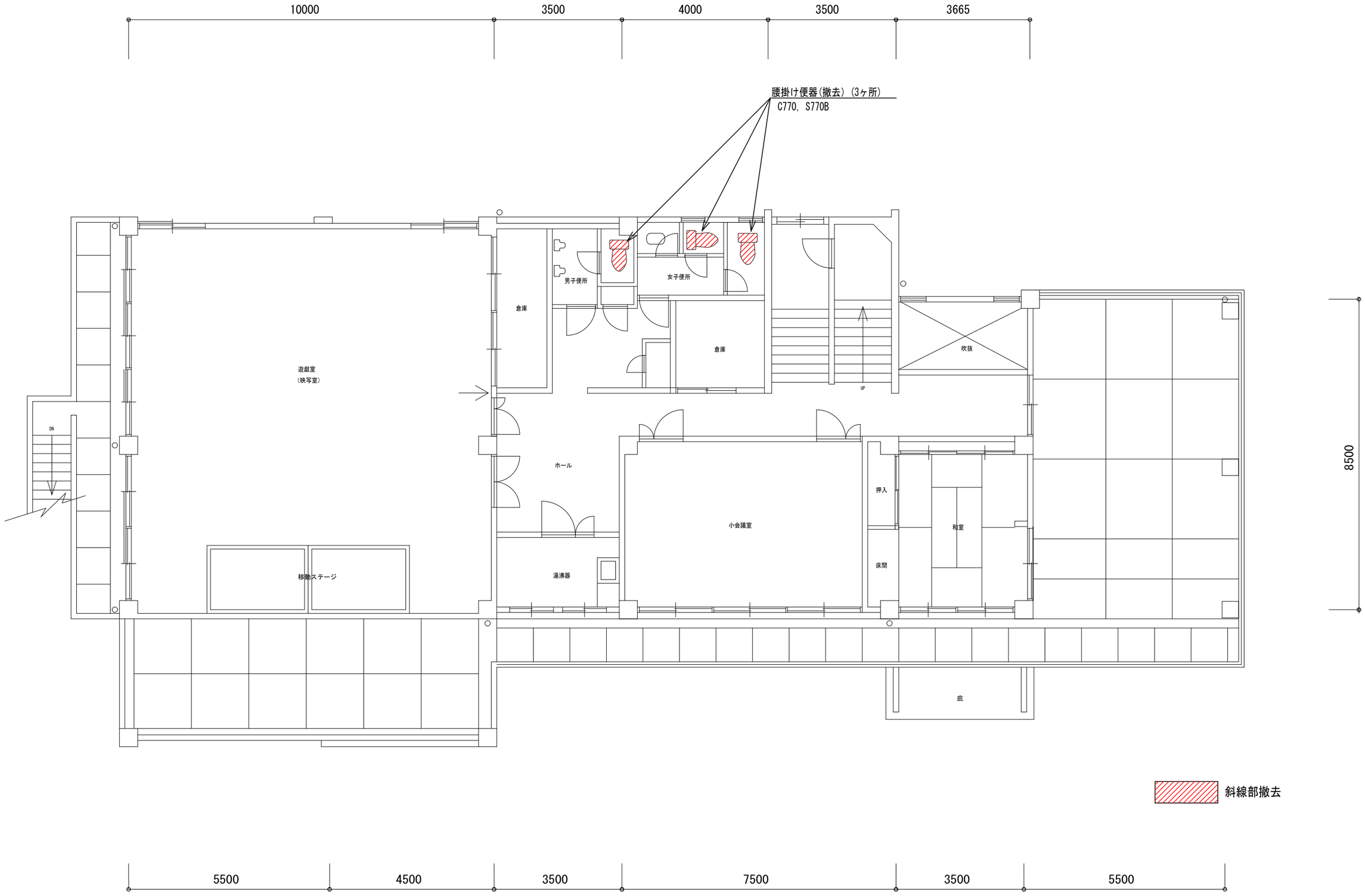
工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面NO
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				空調・換気設備改修1階平面図(撤去)	M-11
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3	日付	日付	日付	縮尺　1/100(A3)	
	TEL ・FAX　0948-57-3887					



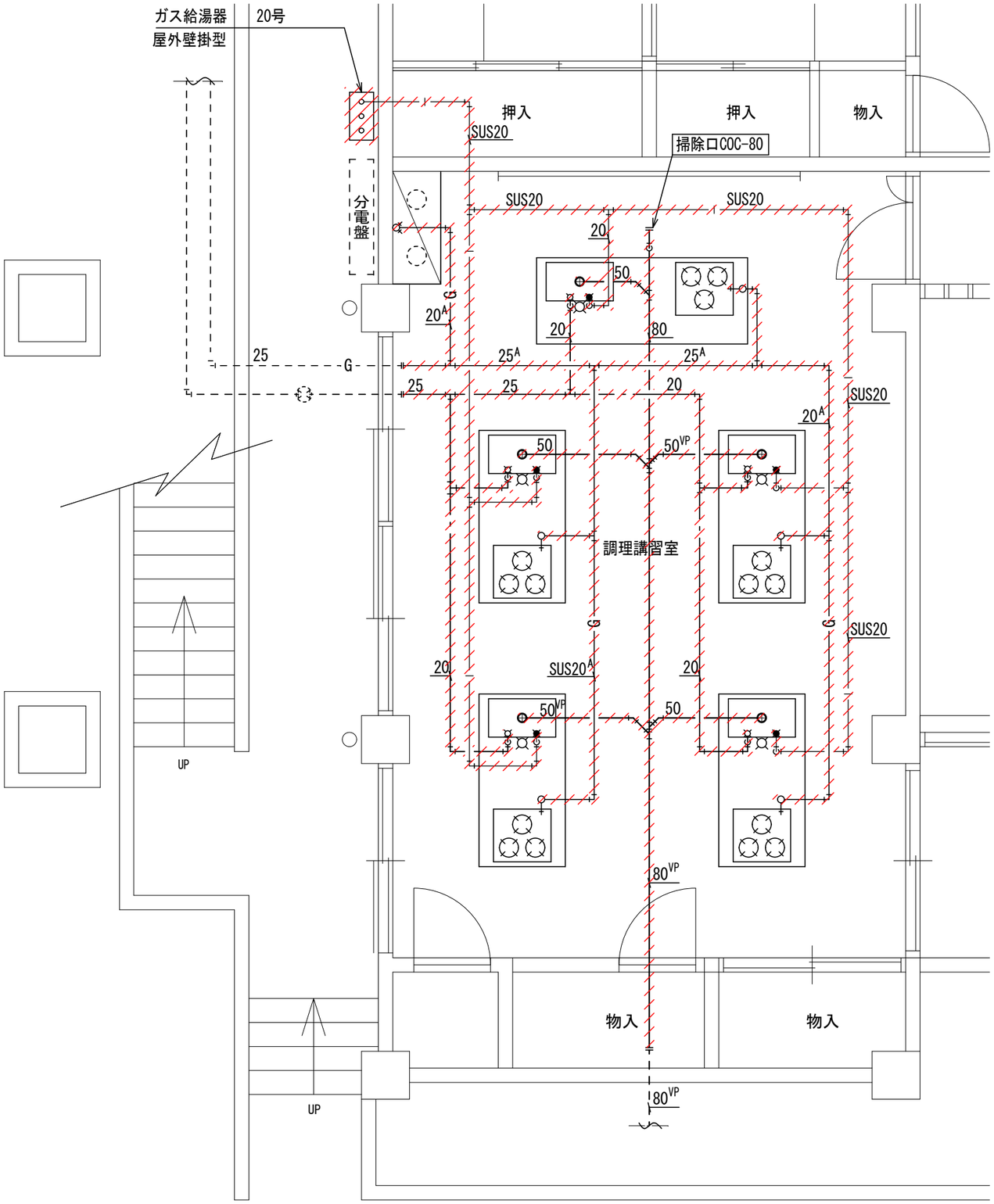
工事名	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面NO
嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	1級建築士　大臣　207655　松村一弘				空調設備改修2階平面図(撤去)	M-12
備考	福岡県嘉麻市上西郷244-3	日付	日付	日付	縮尺　1/100(A3)	
	TEL ・FAX　0948-57-3887					



工事名	嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名	1階調理台改修平面図(撤去)	図面ＮＯ
備考		福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付		縮尺　1/100(A3)	M-13



工事名	嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘	管理者	設計者	担当者	図面名	図面ＮＯ
備考		福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	日付	日付	日付	2階便所取替改修平面図(撤去) 縮尺　1/100(Ａ3)	M-14



斜線部撤去

工事名	嘉麻市嘉穂隣保館改修工事	松村一級建築士事務所 1級建築士　大臣　207655　松村一弘 福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL ・FAX　0948-57-3887	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名	1階　調理室給排水設備平面図（撤去）	図面ＮＯ
備考							縮尺　1/50(A3)	M-15